事業用自動車の交通事故統計（令和４年版）
［第１分冊］

令和６年３月

国土交通省　物流・自動車局

目　　次

１．事故全体の傾向 1
１－１．交通事故全体の推移 1
１－２．自動車事故件数の推移 4
１－３．自動車事故死者数の推移 8
１－４．自動車死亡事故件数の推移 13
１－５．飲酒運転による事業用自動車の交通事故の推移 17
１－６．業態別運転者年齢層別の交通事故 18
１－７．業態別危険認知速度別の交通事故 20
１－８．業態別時間帯別の交通事故 22
１－９．交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数 24

２．バスの事故 26
２－１．乗合バスの交通事故 30
２－２．貸切バスの交通事故 46

３．タクシーの交通事故 58

４．トラックの交通事故 73

５．まとめ 94

附録．事業用自動車の交通事故統計（令和４年版）

【凡 例】

１.「交通事故」とは、道路交通法第２条第１項第１号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）をいう。物損事故については計上していない。

２.「自動車事故」とは、交通事故のうち、自動車及び軽自動車の交通によって起された事故をいう。

３.「自動車事故」は、「事業用自動車」の事故と、「自家用自動車」の事故に分けられる。うち、「自家用自動車」とは、乗用車（バス、マイクロ、普通乗用車、軽乗用車）及び、貨物車（大型貨物、中型貨物、準中型貨物、普通貨物、軽貨物、トレーラー）を合わせたものをいう。

４.「死亡」(「死者」) とは、交通事故によって、発生から 24 時間以内に亡くなった場合（人）をいう。

５.「重傷」(「重傷者」) とは、交通事故によって負傷し、１ヶ月（30日）以上の治療を要する場合（人）をいう。

６.「軽傷」(「軽傷者」) とは、交通事故によって負傷し、１ヶ月（30日）未満の治療を要する場合（人）をいう。

７.「負傷」(「負傷者」) とは、「重傷」(「重傷者」) と「軽傷」(「軽傷者」) の合計をいう。

８.「貨物自動車」の分類は道路交通法に基づくものとする。

大型　：車両総重量11トン以上、または最大積載量6.5トン以上
中型　：車両総重量7.5トン以上11トン未満、または最大積載量4.5トン以上6.5トン未満
準中型：車両総重量3.5トン以上7.5トン未満、または最大積載量２トン以上4.5トン未満
普通　：車両総重量3.5トン未満、または最大積載量２トン未満
軽　　：貨物自動車のうち、軽自動車であるもの

１．事故全体の傾向

１－１．交通事故全体の推移

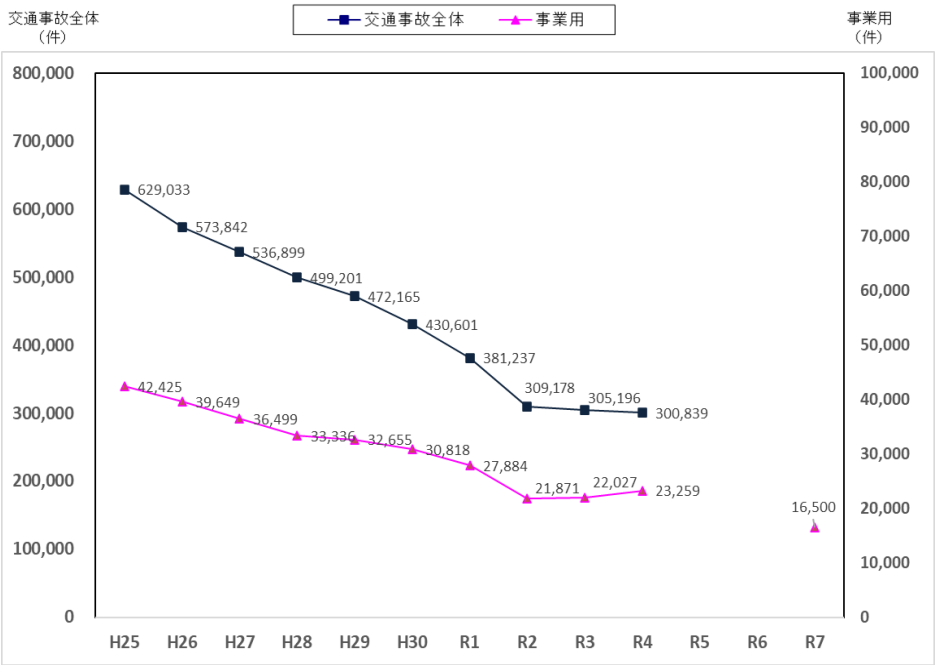
自動車に加え、二輪車や自転車等を含む「交通事故全体」と、「事業用自動車」の交通事故の推移を、「交通事故件数」、「交通事故死者数」、「交通死亡事故件数」の３つを比較した。

（１） 交通事故件数の推移

令和４年中に全国で発生した交通事故全体の件数は 300,839件であり、そのうち、事業用自動車は 23,259件であった。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025（令和３年３月）」において、令和７年までに人身事故件数を16,500件以下とする削減目標が示されている。

〔図 1〕　交通事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 1〕　交通事故件数の推移（件）

区分 / 年	交通事故件数	
	交通事故全体	事業用
H25	629,033	42,425
H26	573,842	39,649
H27	536,899	36,499
H28	499,201	33,336
H29	472,165	32,655
H30	430,601	30,818
R1	381,237	27,884
R2	309,178	21,871
R3	305,196	22,027
R4	300,839	23,259

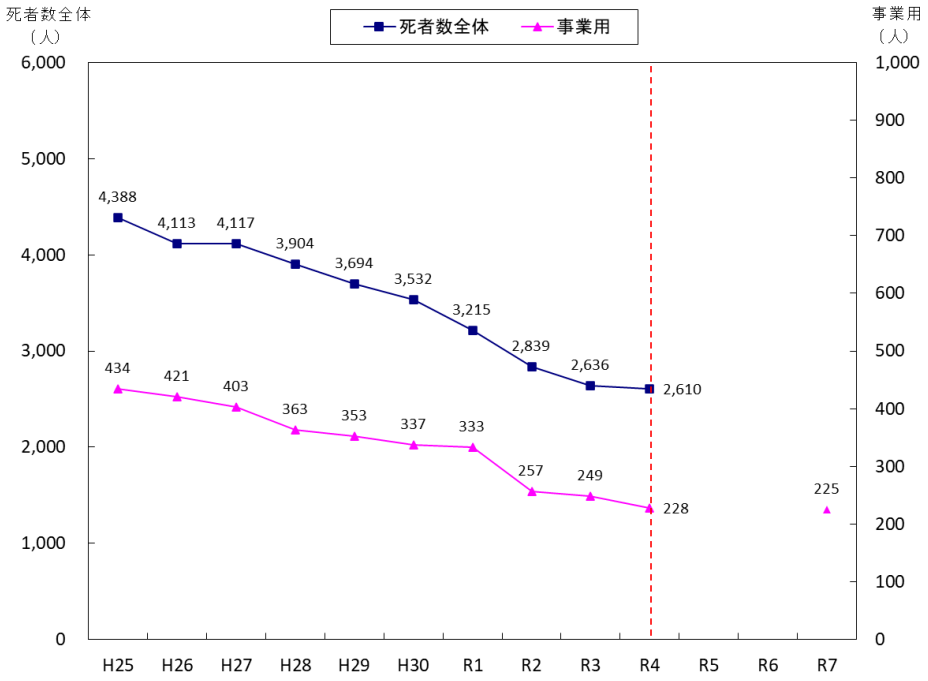
出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 交通事故死者数の推移

令和４年中に全国で発生した交通事故全体における死者数は2,610人であり、そのうち、事業用自動車での交通事故死者数は 228人となっている。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025」において、令和７年までに事業用自動車での死者数を225人以下とする削減目標が示されている。

〔図 2〕　交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 2〕　交通事故死者数の推移（人）

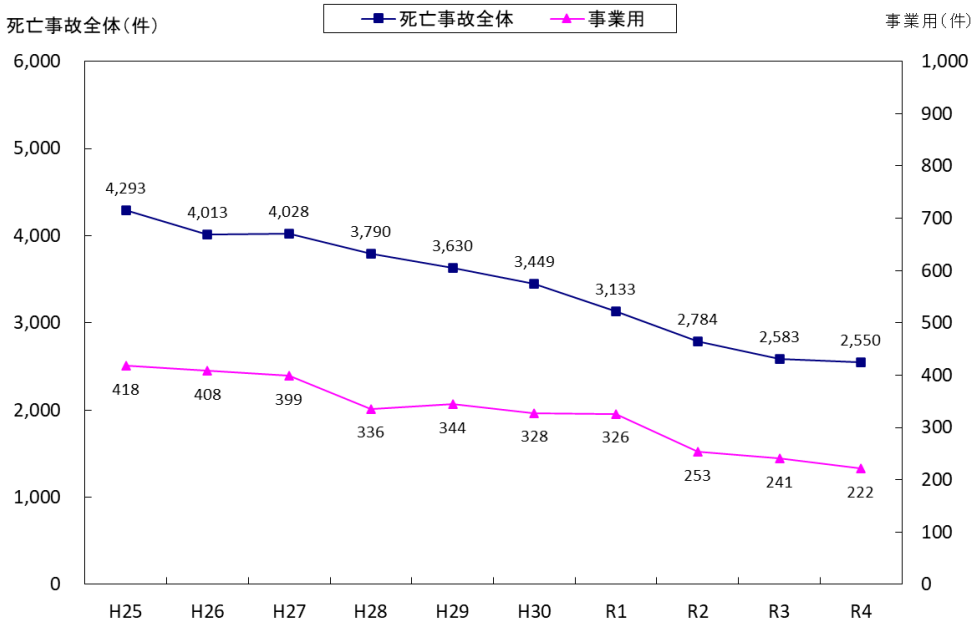
区分 / 年	死者数	
	死者数全体	事業用
H25	4,388	434
H26	4,113	421
H27	4,117	403
H28	3,904	363
H29	3,694	353
H30	3,532	337
R1	3,215	333
R2	2,839	257
R3	2,636	249
R4	2,610	228

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） 交通死亡事故件数の推移

令和４年中に全国で発生した交通死亡事故全体の件数は 2,550件であり、前年と比べて33件減少している。そのうち、事業用自動車は222件であり、前年と比べて19件減少している。

〔図 3〕　交通死亡事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 3〕　交通死亡事故件数の推移（件）

区分 / 年	死亡事故件数	
	死亡事故全体	事業用
H25	4,293	418
H26	4,013	408
H27	4,028	399
H28	3,790	336
H29	3,630	344
H30	3,449	328
R1	3,133	326
R2	2,784	253
R3	2,583	241
R4	2,550	222

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

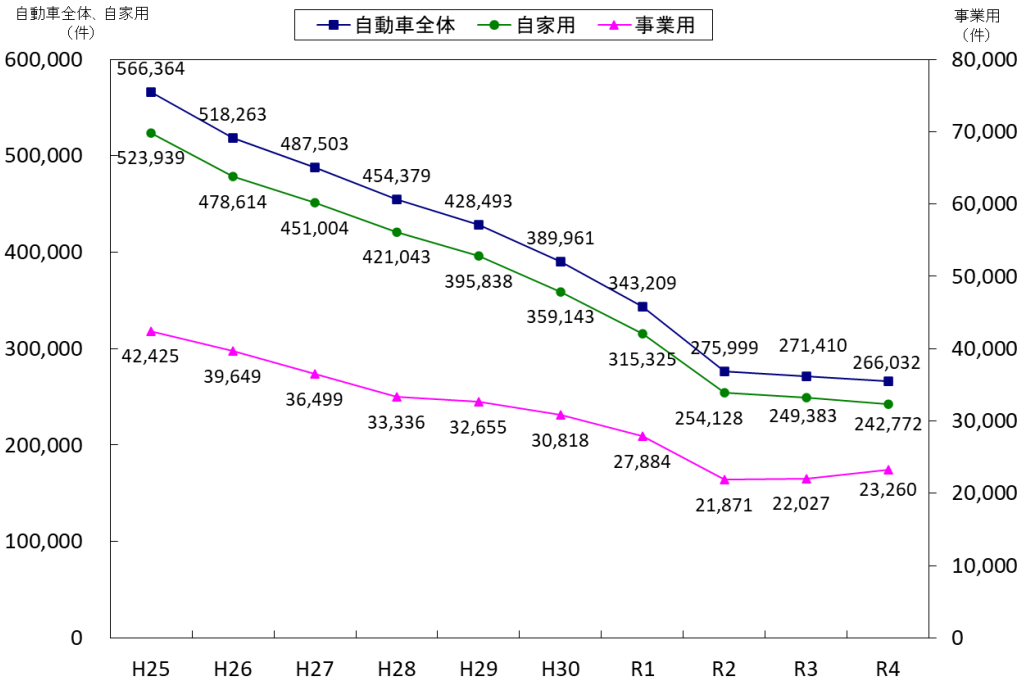
１－２．自動車事故件数の推移

「事業用自動車」「自家用自動車（自家用のバス、乗用車及びトラックをいう。以下同じ）」及び「自動車全体（事業用自動車と自家用自動車を合わせたものをいう。以下同じ）」について、「交通事故件数」「交通事故死者数」「交通死亡事故件数」の３つを比較した。

（１） 自動車事故件数の推移

令和４年中に全国で発生した自動車全体の交通事故件数は 266,032件であり、そのうち、自家用自動車は 242,772件、事業用自動車は 23,260件となっている。

〔図 4〕 自動車事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 4〕 自動車事故件数の推移（件）

区分 / 年	自動車全体	自家用	事業用
H25	566,364	523,939	42,425
H26	518,263	478,614	39,649
H27	487,503	451,004	36,499
H28	454,379	421,043	33,336
H29	428,493	395,838	32,655
H30	389,961	359,143	30,818
R1	343,209	315,325	27,884
R2	275,999	254,128	21,871
R3	271,410	249,383	22,027
R4	266,032	242,772	23,260

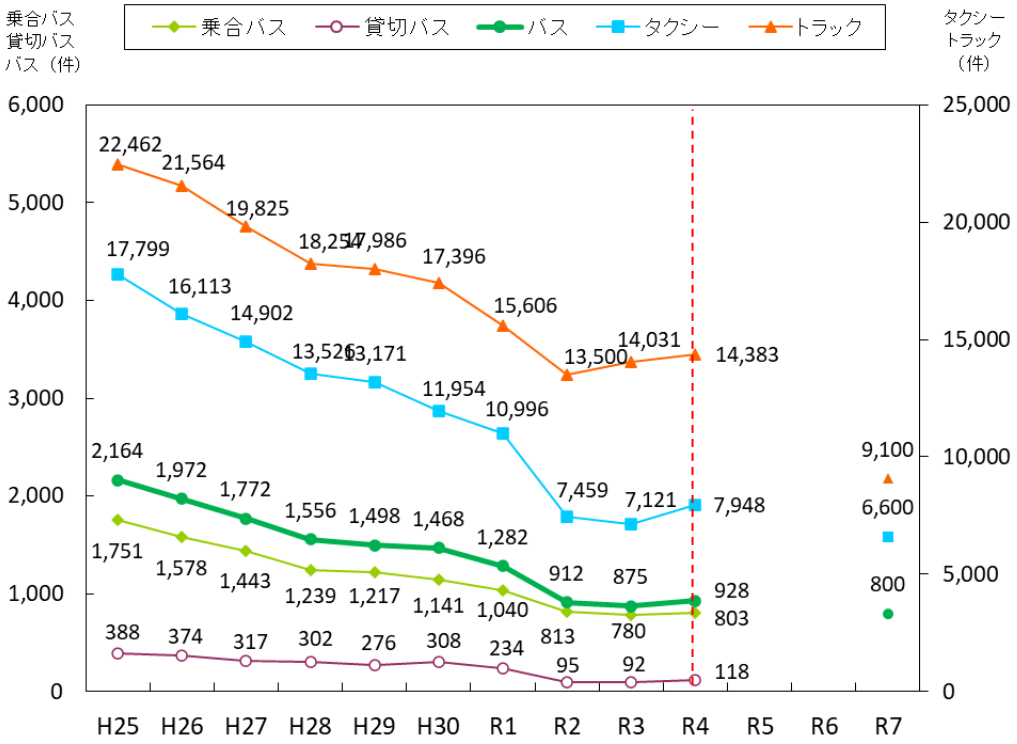
出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移

事業用自動車の交通事故件数を業態別にみると、令和４年は前年と比べて全ての業態で増加している。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025」において、令和７年までに、バスの事故件数を800件以下、タクシーの事故件数を6,600件以下、トラックの事故件数を9,100件以下とする削減目標が示されている。

〔図 5〕 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 5〕 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移（件）

区分 / 年	バス				タクシー	トラック
		乗合バス	貸切バス	その他		
H25	2,164	1,751	388	25	17,799	22,462
H26	1,972	1,578	374	20	16,113	21,564
H27	1,772	1,443	317	12	14,902	19,825
H28	1,556	1,239	302	15	13,526	18,254
H29	1,498	1,217	276	5	13,171	17,986
H30	1,468	1,141	308	19	11,954	17,396
R1	1,282	1,040	234	8	10,996	15,606
R2	912	813	95	4	7,459	13,500
R3	875	780	92	3	7,121	14,031
R4	928	803	118	7	7,948	14,383

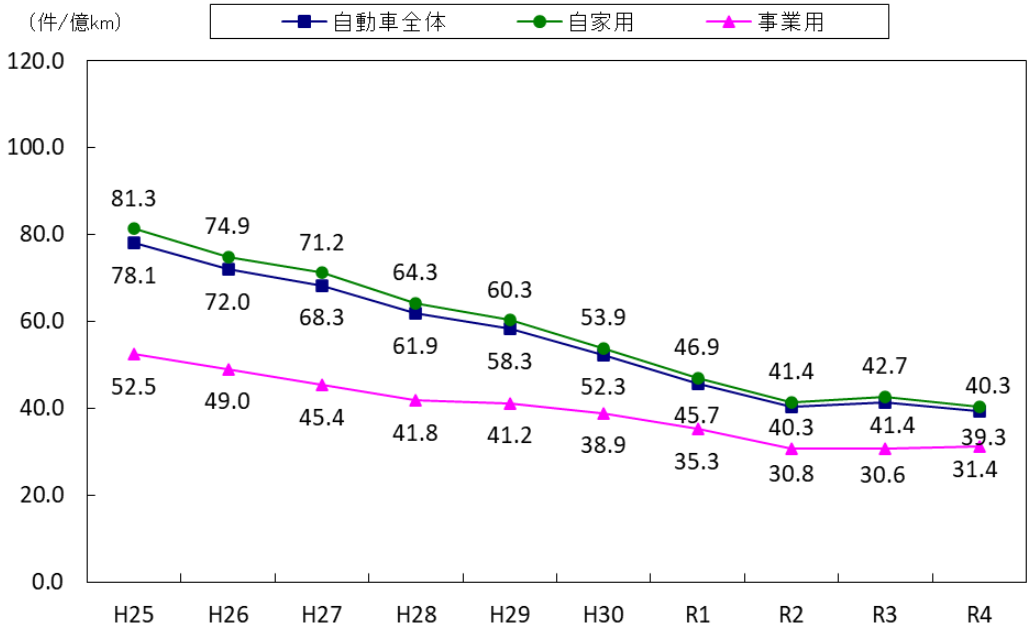
※平成29年以降、乗車定員11人未満であり路線定期運行を行う業態は、乗合バスとして計上している。
（業態別の統計については、以下同様）

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） 走行距離１億キロあたり自動車事故件数の推移

走行距離あたりの自動車事故件数は、自動車全体、自家用自動車、事業用自動車のいずれも近年減少傾向となっており、10年間で半分程度となっているが、令和４年は前年と比べて事業用自動車が増加した。

〔図 6〕　走行距離１億キロあたり自動車事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 6〕　走行距離と自動車事故件数の推移

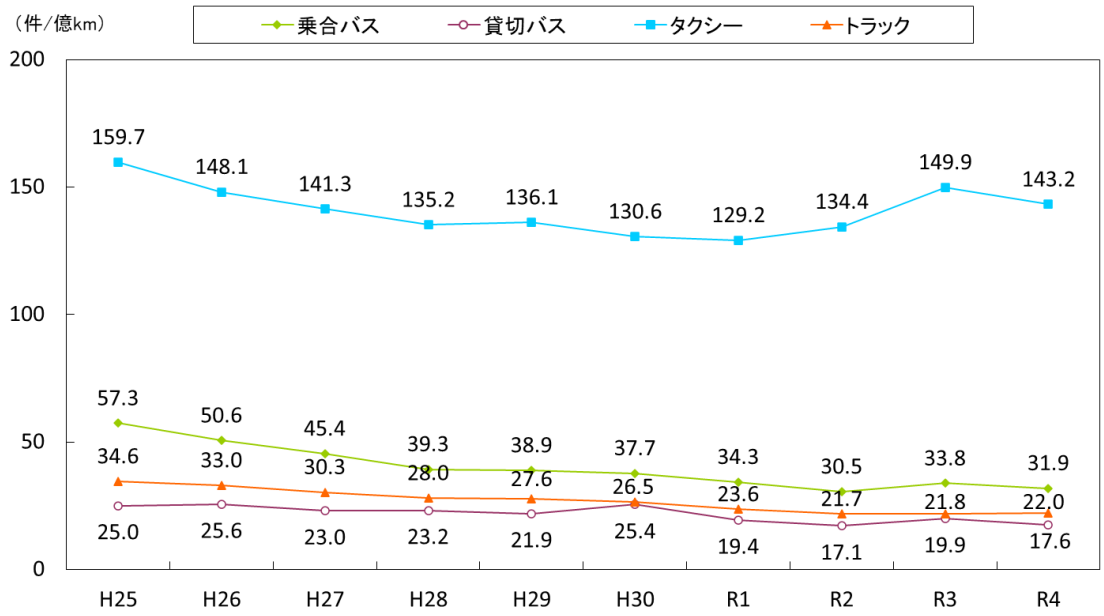
区分 / 年	事故件数(件)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H25	566,364	523,939	42,425	7,249.1	6,441.5	807.6
H26	518,263	478,614	39,649	7,200.8	6,392.3	808.5
H27	487,503	451,004	36,499	7,137.1	6,332.5	804.7
H28	454,379	421,043	33,336	7,345.8	6,548.7	797.1
H29	428,493	395,838	32,655	7,354.2	6,560.7	793.5
H30	389,961	359,143	30,818	7,451.7	6,660.2	791.5
R1	343,209	315,325	27,884	7,506.4	6,716.3	790.1
R2	275,999	254,128	21,871	6,846.8	6,137.2	709.7
R3	271,410	249,383	22,027	6,563.5	5,844.5	719.0
R4	266,032	242,773	23,259	6,767.2	6,025.7	741.5

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

（４） 走行距離１億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故件数の推移

走行距離あたりの事業用自動車の交通事故件数は令和３年は全ての業態で前年と比べて増加したが、令和４年はトラックのみ前年と比べて増加した。そのうち、タクシーが突出して多いが、前年からは減少した。

〔図 7〕 走行距離１億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 7〕 事業用自動車の業態別走行距離と交通事故件数の推移

区分	事故件数（件）							走行距離（億km）					
年	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	自動車全体	バス	乗合	貸切	タクシー	トラック	自動車全体
H25	2,164	1,751	388	25	17,799	22,462	566,364	46.0	30.5	15.5	111.4	650.1	7,249.1
H26	1,972	1,578	374	20	16,113	21,564	518,263	45.8	31.2	14.6	108.8	653.9	7,200.8
H27	1,772	1,443	317	12	14,902	19,825	487,503	45.5	31.8	13.8	105.4	653.7	7,137.1
H28	1,556	1,239	302	15	13,526	18,254	454,379	44.5	31.5	13.0	100.1	652.5	7,345.8
H29	1,498	1,217	276	5	13,171	17,986	428,493	43.9	31.3	12.6	96.7	652.8	7,354.2
H30	1,468	1,141	308	19	11,954	17,396	389,961	42.4	30.2	12.1	91.5	657.6	7,451.7
R1	1,282	1,040	234	8	10,996	15,606	343,209	42.4	30.3	12.1	85.1	662.5	7,506.4
R2	912	813	95	4	7,459	13,500	275,999	32.2	26.6	5.6	55.5	622.0	6,846.8
R3	875	780	92	3	7,121	14,031	271,410	27.7	23.1	4.6	47.5	643.8	6,563.5
R4	928	803	118	7	7,948	14,383	266,032	31.9	25.2	6.7	55.5	654.1	6,767.2

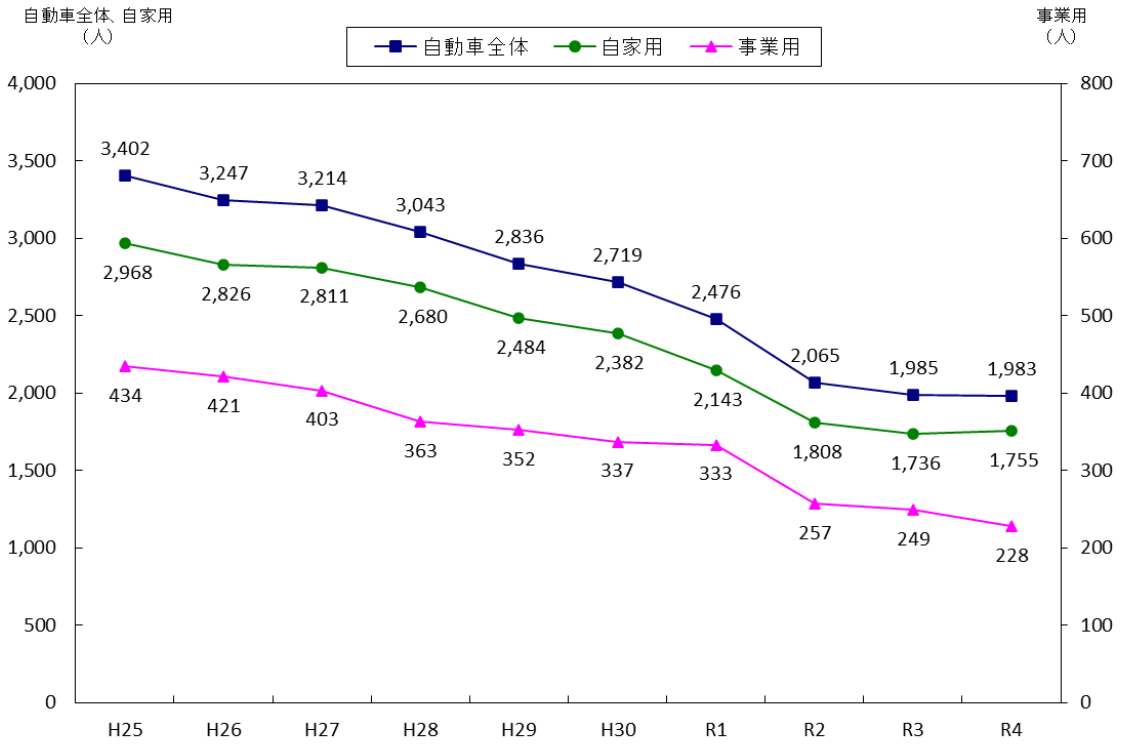
出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

１－３．自動車事故死者数の推移

（１） 自動車事故死者数の推移

令和４年中に全国で発生した自動車全体の交通事故死者数は1,983人である。そのうち、事業用自動車は228人であり、令和４年は前年より21人減少している。

〔図 8〕 自動車事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 8〕 自動車事故死者数の推移（人）

区分 / 年	自動車全体	自家用	事業用
H25	3,402	2,968	434
H26	3,247	2,826	421
H27	3,214	2,811	403
H28	3,043	2,680	363
H29	2,836	2,484	352
H30	2,719	2,382	337
R1	2,476	2,143	333
R2	2,065	1,808	257
R3	1,985	1,736	249
R4	1,983	1,755	228

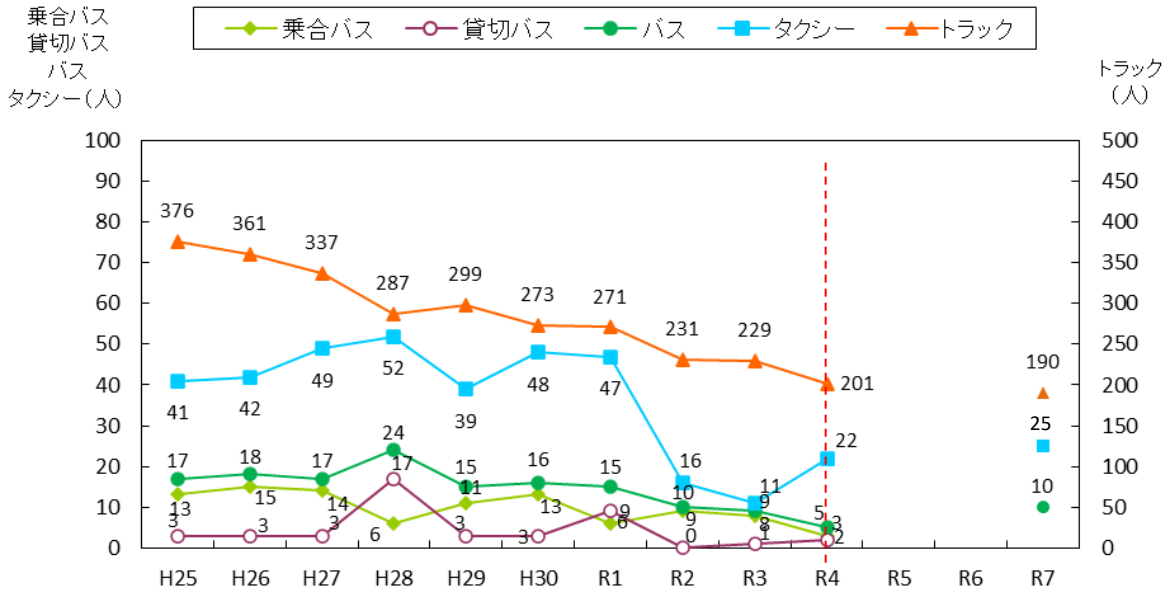
出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移

事業用自動車の交通事故死者数を業態別にみると、トラックが大半を占めている。令和４年は前年と比べて、タクシーと貸切バスが増加している。貸切バスは、軽井沢スキーバス事故があった平成28年に増加したものの、近年は横ばい傾向となっている。タクシーは11人増加している。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025」において、令和７年までに、バスの交通事故死者数を10人以下、タクシーの交通事故死者数を25人以下、トラックの交通事故死者数を190人以下とする削減目標が示されている。

〔図 9〕 事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 9〕 事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移（人）

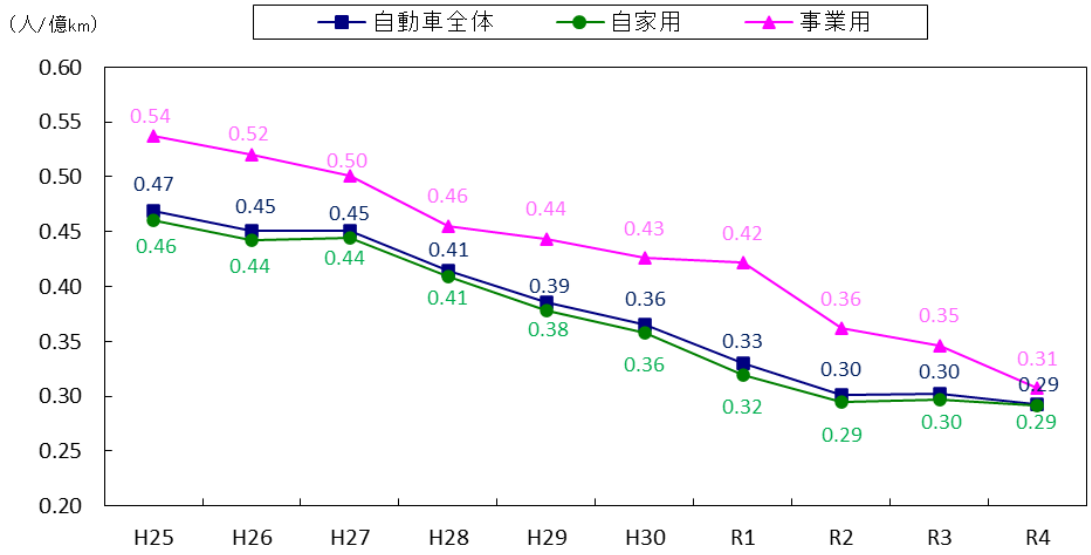
区分 / 年	バス	乗合バス	貸切バス	その他	タクシー	トラック
H25	17	13	3	1	41	376
H26	18	15	3	0	42	361
H27	17	14	3	0	49	337
H28	24	6	17	1	52	287
H29	15	11	3	1	39	299
H30	16	13	3	0	48	273
R1	15	6	9	0	47	271
R2	10	9	0	1	16	231
R3	9	8	1	0	11	229
R4	5	3	2	0	22	201

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） 走行距離１億キロあたり自動車事故死者数の推移

走行距離あたりの自動車事故死者数は、近年減少傾向となっているが、令和４年は前年と比べて自動車全体、自家用、事業用すべてが減少している。

〔図 10〕 走行距離１億キロあたり自動車事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 10〕 自動車事故死者数と走行距離の推移

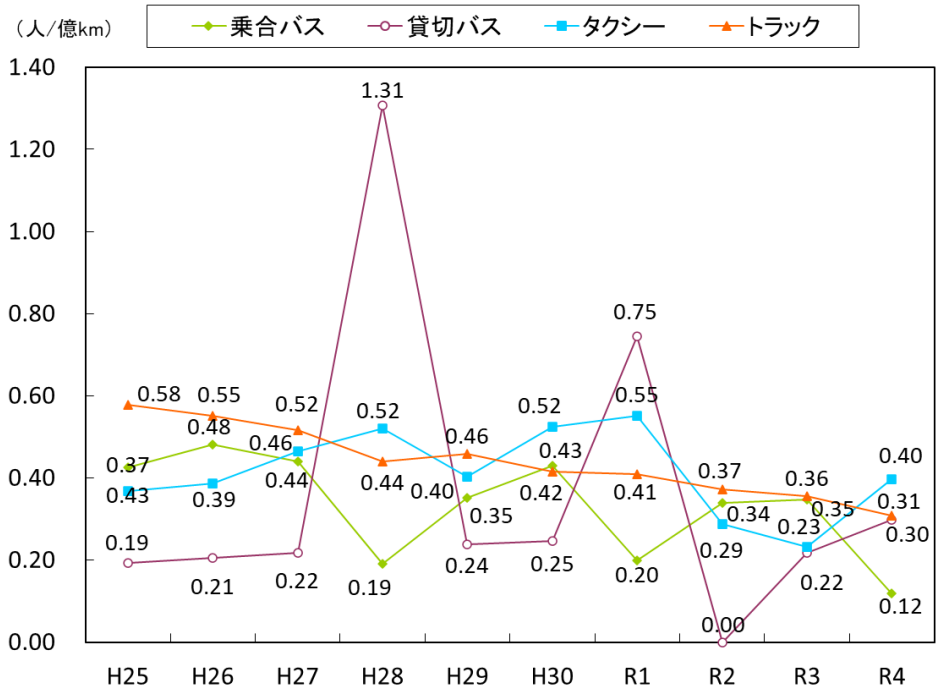
区分 / 年	死者数(人)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H25	3,402	2,968	434	7,249.1	6,441.5	807.6
H26	3,247	2,826	421	7,200.8	6,392.3	808.5
H27	3,214	2,811	403	7,137.1	6,332.5	804.7
H28	3,043	2,680	363	7,345.8	6,548.7	797.1
H29	2,836	2,484	352	7,354.2	6,560.7	793.5
H30	2,719	2,382	337	7,451.7	6,660.2	791.5
R1	2,476	2,143	333	7,506.4	6,716.3	790.1
R2	2,065	1,808	257	6,846.8	6,137.2	709.7
R3	1,985	1,736	249	6,563.5	5,844.5	719.0
R4	1,983	1,755	228	6,767.2	6,025.7	741.5

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

（４） 走行距離１億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移

走行距離あたりの事業用自動車の業態別交通事故死者数は、令和４年は前年と比べて、タクシーと貸切バスは増加し、トラックと乗合バスは減少している。貸切バスが増加している平成28年は、軽井沢スキーバス事故の影響によるものである。

〔図 11〕 走行距離１億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 11〕 事業用自動車の業態別交通事故死者数と走行距離の推移

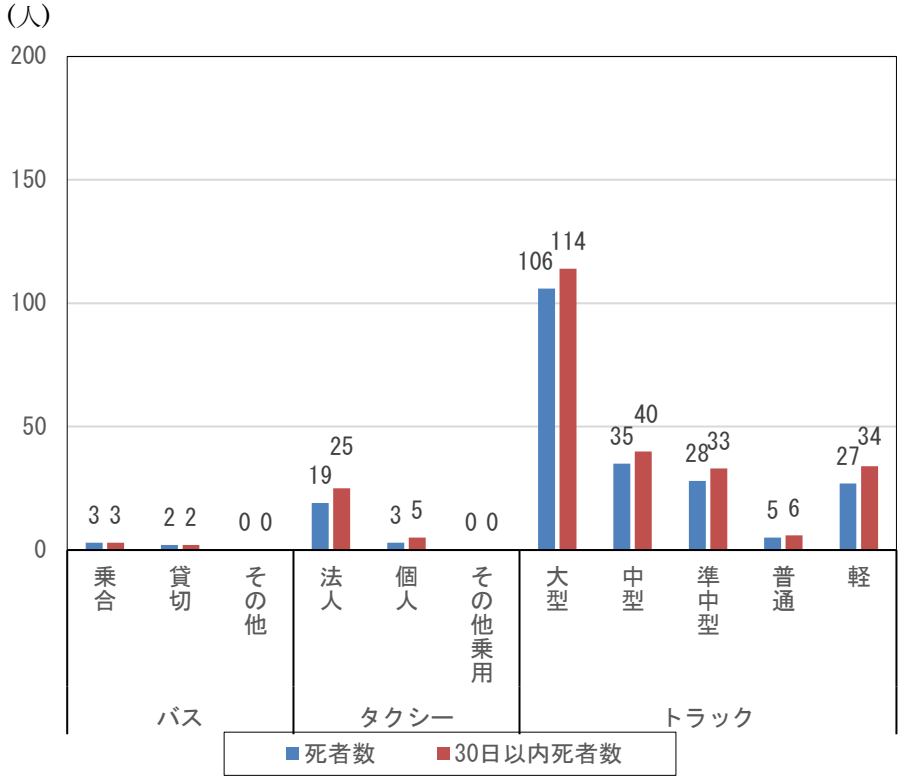
区分 / 年	死者数（人）						走行距離（億km）				
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	バス	乗合	貸切	タクシー	トラック
H25	17	13	3	1	41	376	46.0	30.5	15.5	111.4	650.1
H26	18	15	3	0	42	361	45.8	31.2	14.6	108.8	653.9
H27	17	14	3	0	49	337	45.5	31.8	13.8	105.4	653.7
H28	24	6	17	1	52	287	44.5	31.5	13.0	100.1	652.5
H29	15	11	3	1	39	299	43.9	31.3	12.6	96.7	652.8
H30	16	13	3	0	48	273	42.4	30.2	12.1	91.5	657.6
R1	15	6	9	0	47	271	42.4	30.3	12.1	85.1	662.5
R2	10	9	0	1	16	231	32.2	26.6	5.6	55.5	622.0
R3	9	8	1	0	11	229	27.7	23.1	4.6	47.5	643.8
R4	15	3	2	0	22	201	31.9	25.2	6.7	55.5	654.1

（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

（５） 事業用自動車の業態別交通事故死者数と30日以内死者数

死者数に対する30日以内死者数（交通事故によって、発生から30日以内に亡くなった人数）の増加率は、タクシーが36.4%、トラックが12.9%、バスは同数となっている。

〔図 12〕 事業用自動車の業態別交通事故死者数と 30 日以内死者数（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 12〕事業用自動車の業態別交通事故死者数（人）と 30 日以内死者数（人）（令和４年）

		死者数	30日以内死者数
バス	乗合	3	3
	貸切	2	2
	その他	0	0
	計	5	5
タクシー	法人	19	25
	個人	3	5
	その他乗用	0	0
	計	22	30
トラック	大型	106	114
	中型	35	40
	準中型	28	33
	普通	5	6
	軽	27	34
	計	201	227

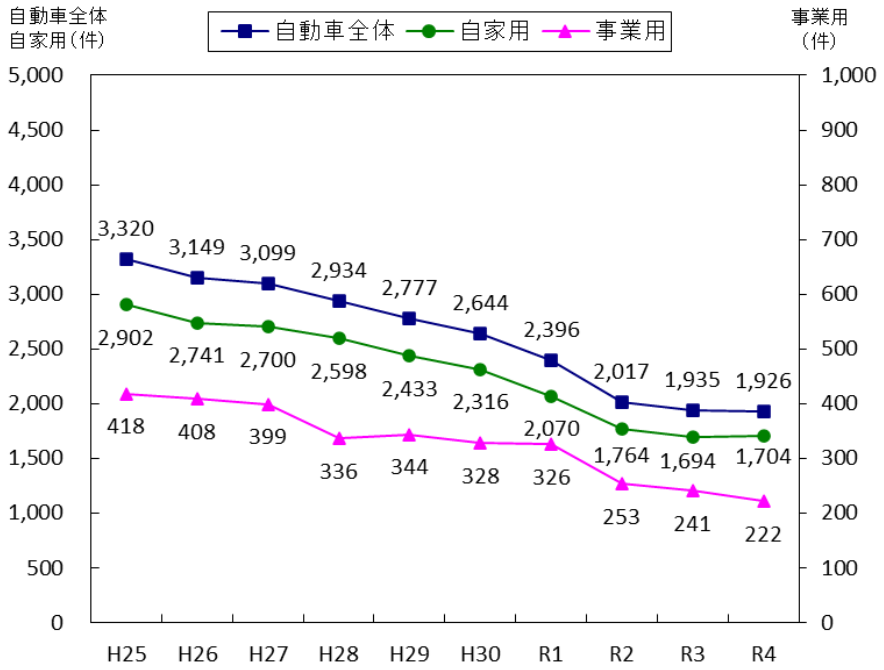
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

１－４．自動車死亡事故件数の推移

（１） 自動車死亡事故件数の推移

令和４年中に全国で発生した自動車全体の交通死亡事故件数は 1,926件であり、そのうち、自家用自動車は 1,704件、事業用自動車は 222件となっている。

〔図 13〕 自動車死亡事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 13〕 自動車死亡事故件数の推移（件）

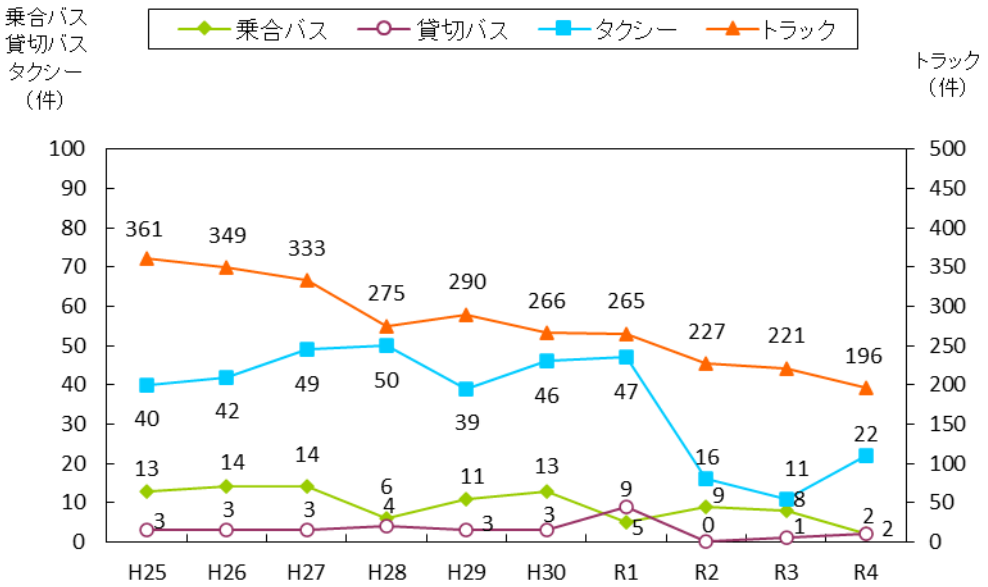
区分 / 年	自動車全体	自家用	事業用
H25	3,320	2,902	418
H26	3,149	2,741	408
H27	3,099	2,700	399
H28	2,934	2,598	336
H29	2,777	2,433	344
H30	2,644	2,316	328
R1	2,396	2,070	326
R2	2,017	1,764	253
R3	1,935	1,694	241
R4	1,926	1,704	222

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移

事業用自動車の交通死亡事故件数を業態別にみると、トラックが大半を占めている。令和４年は前年と比べて、タクシーと貸切バスが増加している。タクシーは11件増加している。

〔図 14〕 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 14〕 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移（件）

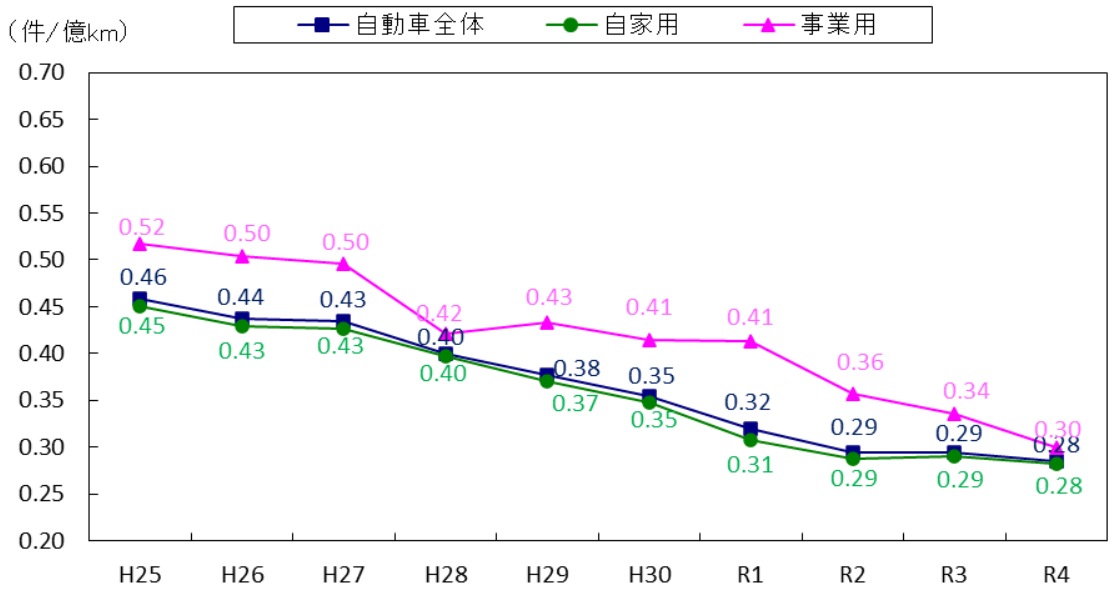
区分 / 年	バス	乗合バス	貸切バス	その他	タクシー	トラック
H25	17	13	3	1	40	361
H26	17	14	3	0	42	349
H27	17	14	3	0	49	333
H28	11	6	4	1	50	275
H29	15	11	3	1	39	290
H30	16	13	3	0	46	266
R1	14	5	9	0	47	265
R2	10	9	0	1	16	227
R3	9	8	1	0	11	221
R4	4	2	2	0	22	196

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） 走行距離１億キロあたり自動車死亡事故件数の推移

走行距離あたりの自動車死亡事故件数は、近年減少傾向となっている。令和４年は事業用自動車、自動車全体、自家用自動車のすべてが減少した。

〔図 15〕 走行距離 1 億キロあたり自動車死亡事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 15〕 自動車死亡事故件数と走行距離の推移

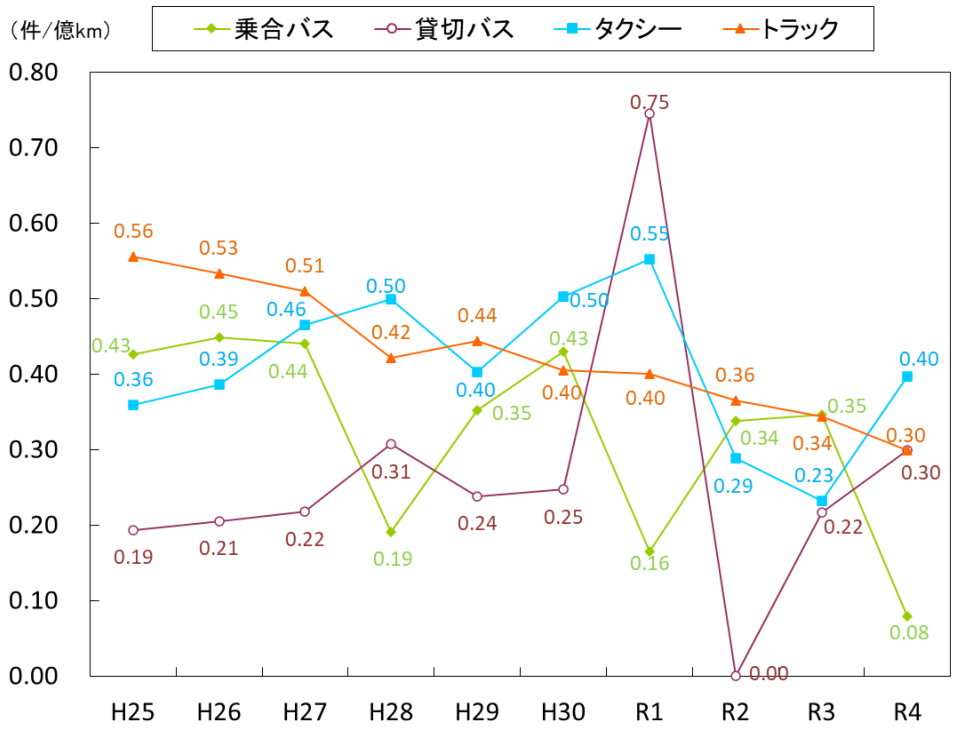
区分 / 年	死亡事故件数(件)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H25	3,320	2,902	418	7,249.1	6,441.5	807.6
H26	3,149	2,741	408	7,200.8	6,392.3	808.5
H27	3,099	2,700	399	7,137.1	6,332.5	804.7
H28	2,934	2,598	336	7,345.8	6,548.7	797.1
H29	2,777	2,433	344	7,354.2	6,560.7	793.5
H30	2,644	2,316	328	7,451.7	6,660.2	791.5
R1	2,396	2,070	326	7,506.4	6,716.3	790.1
R2	2,017	1,764	253	6,846.8	6,137.2	709.7
R3	1,935	1,694	241	6,563.5	5,844.5	719.0
R4	1,926	1,704	222	6,767.2	6,025.7	741.5

（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

（４） 走行距離 1 億キロあたり事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移

走行距離あたりの事業用自動車の交通死亡事故件数は、令和４年は前年と比べて乗合バスとトラックは減少し、貸切バスとタクシーは増加している。

〔図 16〕 走行距離 1 億キロあたり事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 16〕 事業用自動車の業態別走行距離と交通死亡事故件数の推移

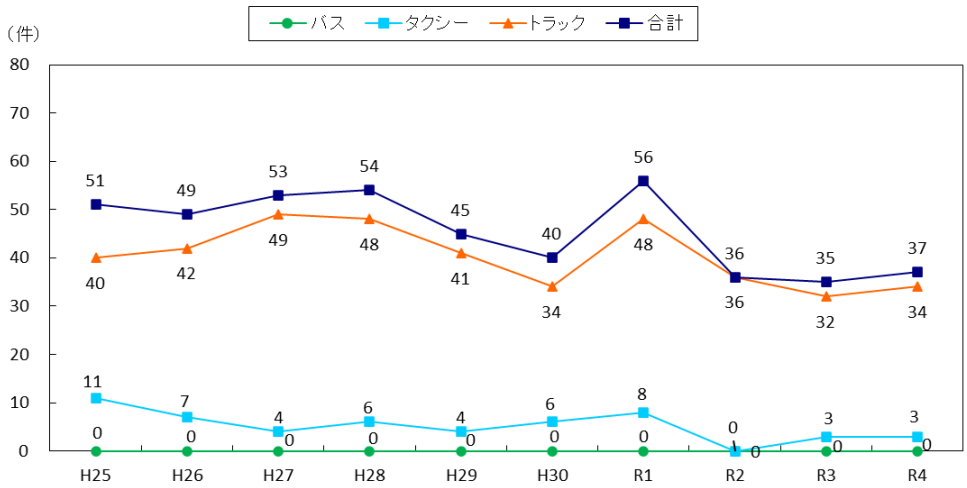
区分 / 年	死亡事故件数（件）						走行キロ（億km）				
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	バス	乗合	貸切	タクシー	トラック
H25	17	13	3	1	40	361	46.0	30.5	15.5	111.4	650.1
H26	17	14	3	0	42	349	45.8	31.2	14.6	108.8	653.9
H27	17	14	3	0	49	333	45.5	31.8	13.8	105.4	653.7
H28	11	6	4	1	50	275	44.5	31.5	13.0	100.1	652.5
H29	15	11	3	1	39	290	43.9	31.3	12.6	96.7	652.8
H30	16	13	3	0	46	266	42.4	30.2	12.1	91.5	657.6
R1	14	5	9	0	47	265	42.4	30.3	12.1	85.1	662.5
R2	10	9	0	1	16	227	32.2	26.6	5.6	55.5	622.0
R3	9	8	1	0	11	221	27.7	23.1	4.6	47.5	643.8
R4	4	2	2	0	22	196	31.9	25.2	6.7	55.5	654.1

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

１－５．飲酒運転による事業用自動車の交通事故の推移

飲酒運転による事業用自動車の交通事故は、平成 25 年から横ばい傾向となっている。なお、令和４年はトラックが 34 件、タクシーが３件となっている。

〔図 17〕　飲酒運転による事業用自動車の交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 17〕　業態別飲酒運転による交通事故件数（件）

区分 / 年	交通事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
H25	0	0	0	0	11	40	51
H26	0	0	0	0	7	42	49
H27	0	0	0	0	4	49	53
H28	0	0	0	0	6	48	54
H29	0	0	0	0	4	41	45
H30	0	0	0	0	6	34	40
R1	0	0	0	0	8	48	56
R2	0	0	0	0	0	36	36
R3	0	0	0	0	3	32	35
R4	0	0	0	0	3	34	37

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 18〕　業態別飲酒運転による交通死亡事故件数の推移（件）

区分 / 年	交通死亡事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
H25	0	0	0	0	0	6	6
H26	0	0	0	0	1	5	6
H27	0	0	0	0	0	5	5
H28	0	0	0	0	0	1	1
H29	0	0	0	0	0	4	4
H30	0	0	0	0	0	2	2
R1	0	0	0	0	0	6	6
R2	0	0	0	0	0	4	4
R3	0	0	0	0	0	4	4
R4	0	0	0	0	0	0	0

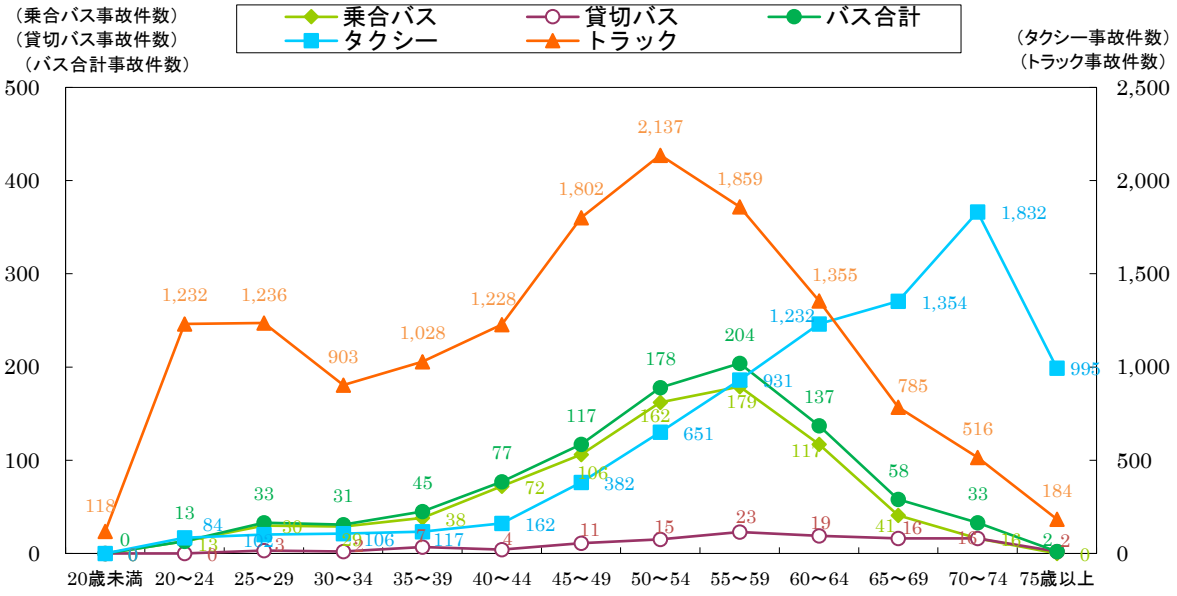
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

１－６．業態別運転者年齢層別の交通事故

（１） 業態別運転者年齢層別交通事故件数

交通事故第１当事者の年齢分布を業態別にみると、バスやトラックは同じ傾向となっており、タクシーは比較的高齢側に分布している。なお、タクシーは他の２業態と比較して運転者全体の平均年齢が高い。

〔図 18〕 業態別運転者年齢層別交通事故件数（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 19〕 業態別運転者年齢層別交通事故件数（件）（令和４年）

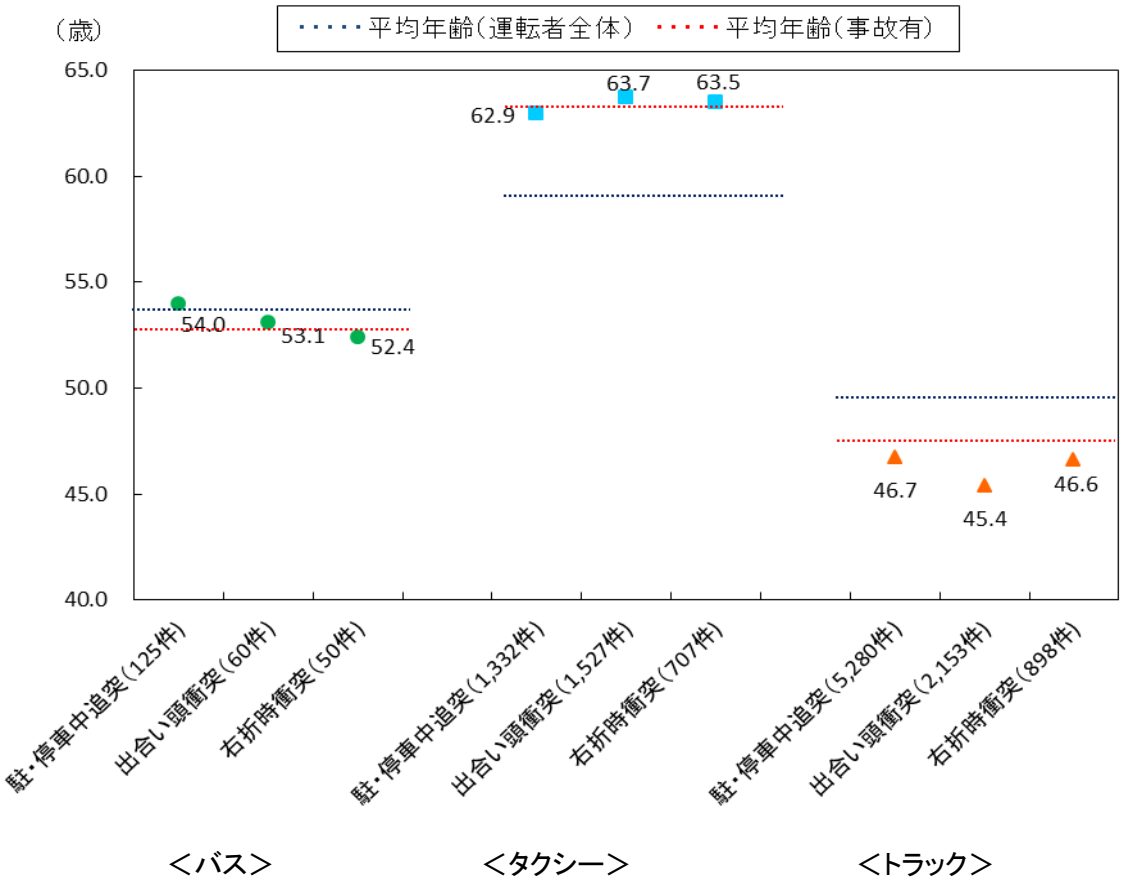
		20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上	合計
バス	乗合	0	13	30	29	38	72	106	162	179	117	41	16	0	803
	貸切	0	0	3	2	7	4	11	15	23	19	16	16	2	118
	その他	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	0	7
	小計	0	13	33	31	45	77	117	178	204	137	58	33	2	928
タクシー	法人	0	80	96	100	115	150	360	592	861	1,154	1,241	1,644	876	7,269
	個人	0	0	3	0	1	6	18	47	62	72	109	184	116	618
その他乗用		0	4	3	6	1	6	4	12	8	6	4	4	3	61
小計		0	84	102	106	117	162	382	651	931	1,232	1,354	1,832	995	7,948
貨物自動車	大型	1	100	220	205	283	410	671	788	666	460	227	104	29	4,164
	中型	0	84	119	93	172	228	385	471	391	297	158	91	19	2,508
	準中型	17	179	206	145	164	170	259	304	306	201	119	96	20	2,186
	普通	9	65	38	33	35	40	62	62	57	46	34	28	4	513
	軽	91	804	653	427	374	380	425	512	439	351	247	197	112	5,012
	小計 （トレーラ）	118 (2)	1,232 (13)	1,236 (46)	903 (43)	1,028 (43)	1,228 (86)	1,802 (145)	2,137 (169)	1,859 (148)	1,355 (94)	785 (45)	516 (20)	184 (4)	14,383 (858)
合計		118	1,329	1,371	1,040	1,190	1,467	2,301	2,966	2,994	2,724	2,197	2,381	1,181	23,259

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 業態別事故類型別事故第１当事者平均年齢

事故第1当事者の平均年齢と運転者全体の平均年齢及び事故有運転者の平均年齢を比較すると、バスは事故類型を問わず運転者全体の平均年齢及び事故有運転者の平均年齢とほぼ同水準、タクシーは事故類型を問わず事故有運転者の平均年齢とほぼ同水準、トラックは事故類型を問わず事故有運転者の平均年齢より低い年齢となっている。

〔図 19〕業態別事故類型別事故第１当事者の運転者平均年齢（車両との事故）（令和４年）



※（　）内は事故件数

業態	バス	タクシー	トラック
平均年齢（運転者全体）	53.4	58.3	49.0
平均年齢（事故あり）	52.6	63.4	47.1

※事故第１当事者の運転者の平均年齢は、年齢層毎の年齢の加重平均により算出
※上記事故類型は「車両との事故」の事故類型から事故件数の多い3つを抽出

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
厚生労働省「令和４年賃金構造基本統計調査（全国）」

１－７．業態別危険認知速度別の交通事故

（１） 業態別危険認知速度別交通事故件数

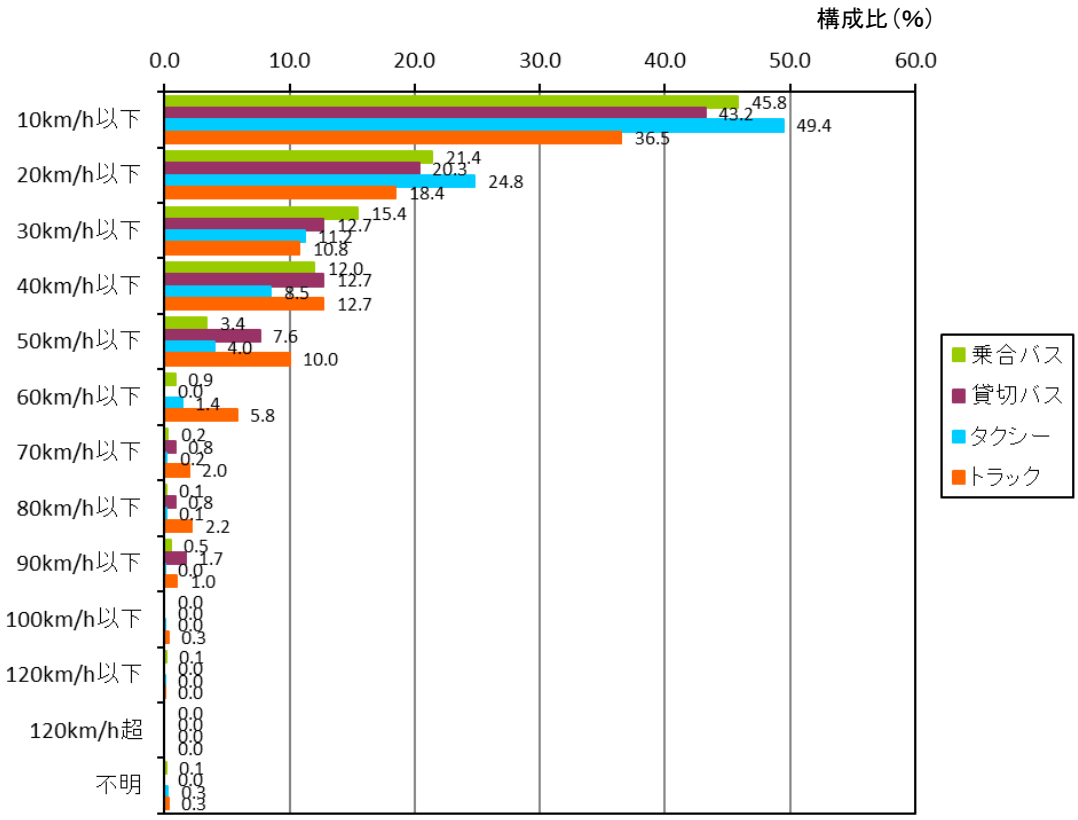
業態別の危険認知速度別交通事故件数をみると、いずれの業態も10km/h以下が最も多く、バスとタクシーは全件数の約半数を占めている。表20に認知速度別交通事故件数を、図20に業態別の構成比を示す。

〔表 20〕 業態別危険認知速度別交通事故件数（件）（令和４年）

区分／速度	交通事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
10km/h以下	420	368	51	1	3,929	5,247	10,016
20km/h以下	199	172	24	3	1,968	2,653	5,019
30km/h以下	141	124	15	2	890	1,550	2,722
40km/h以下	111	96	15	0	676	1,822	2,720
50km/h以下	36	27	9	0	317	1,438	1,827
60km/h以下	8	7	0	1	113	834	963
70km/h以下	3	2	1	0	16	284	306
80km/h以下	2	1	1	0	11	316	331
90km/h以下	6	4	2	0	2	146	160
100km/h以下	0	0	0	0	2	44	46
120km/h以下	1	1	0	0	1	4	7
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0
不明	1	1	0	0	23	45	70
合計	928	803	118	7	7,948	14,383	23,259

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 20〕 業態別危険認知速度別交通事故件数の構成比（%）（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数

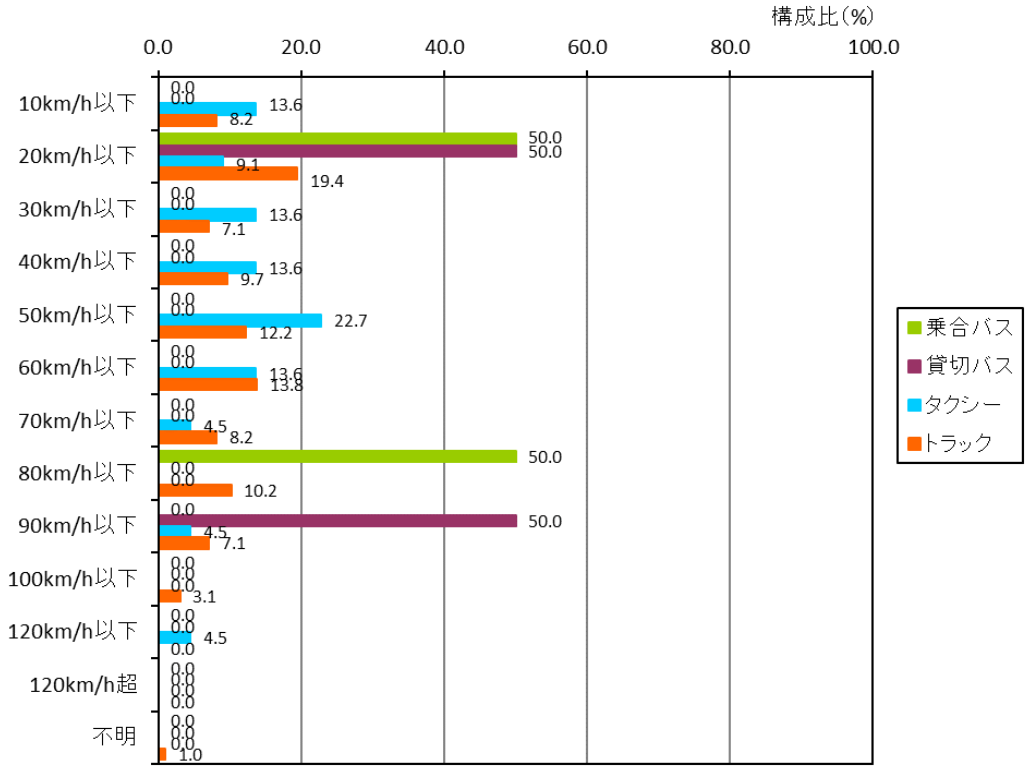
表21に業態別危険認知速度別交通死亡事故件数を、図21に危険認知速度別交通死亡事故件数の業態別の構成比を示す。業態別でみると、バスは10km/h～20km/h以下、タクシーは40km/h～50km/h以下、トラックは10km/h～20km/h以下が最も多くなっている。

〔表 21〕 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

区分 / 速度	交通死亡事故件数						
	バス				タクシー	トラック	合計
		乗合	貸切	その他			
10km/h以下	0	0	0	0	3	16	19
20km/h以下	2	1	1	0	2	38	42
30km/h以下	0	0	0	0	3	14	17
40km/h以下	0	0	0	0	3	19	22
50km/h以下	0	0	0	0	5	24	29
60km/h以下	0	0	0	0	3	27	30
70km/h以下	0	0	0	0	1	16	17
80km/h以下	1	1	0	0	0	20	21
90km/h以下	1	0	1	0	1	14	16
100km/h以下	0	0	0	0	0	6	6
120km/h以下	0	0	0	0	1	0	1
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	2	2
合計	4	2	2	0	22	196	222

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 21〕 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数の構成比（%）（令和４年）



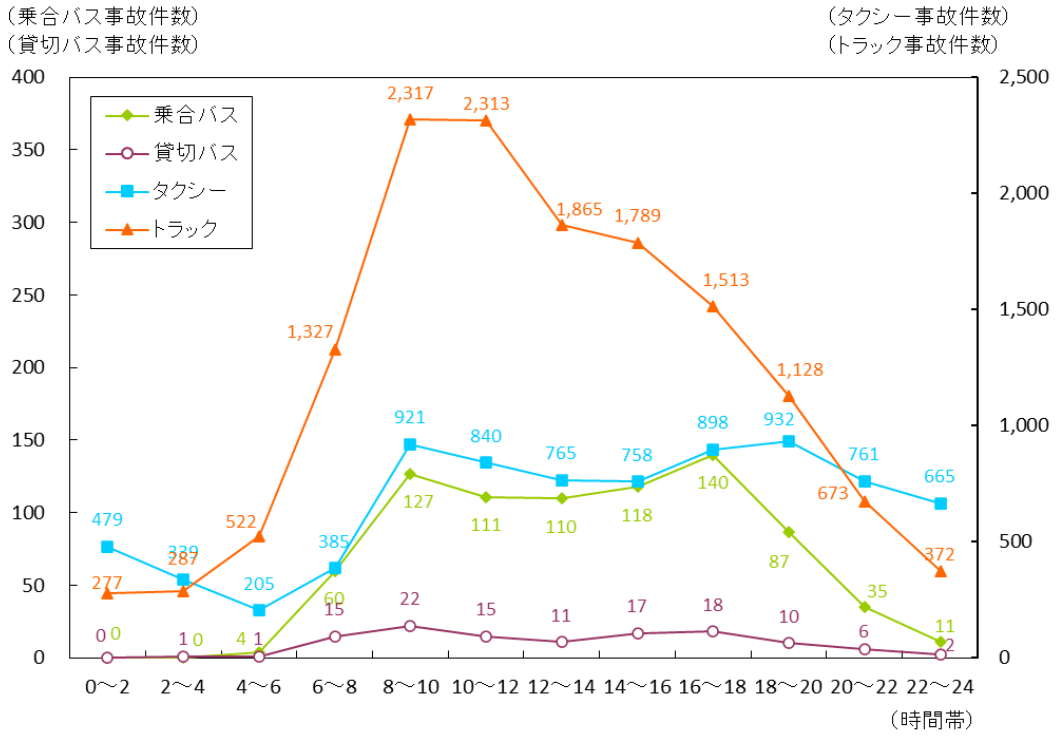
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

１－８．業態別時間帯別の交通事故

（１） 業態別時間帯別交通事故件数

業態別の時間帯別交通事故件数をみると、乗合バスは16時～17時台、貸切バスは８時～９時台、タクシーは18時～19時台、トラックは８時～９時台が最も多い。

〔図 22〕 業態別時間帯別交通事故件数（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 22〕 業態別時間帯別交通事故件数（件）（令和４年）

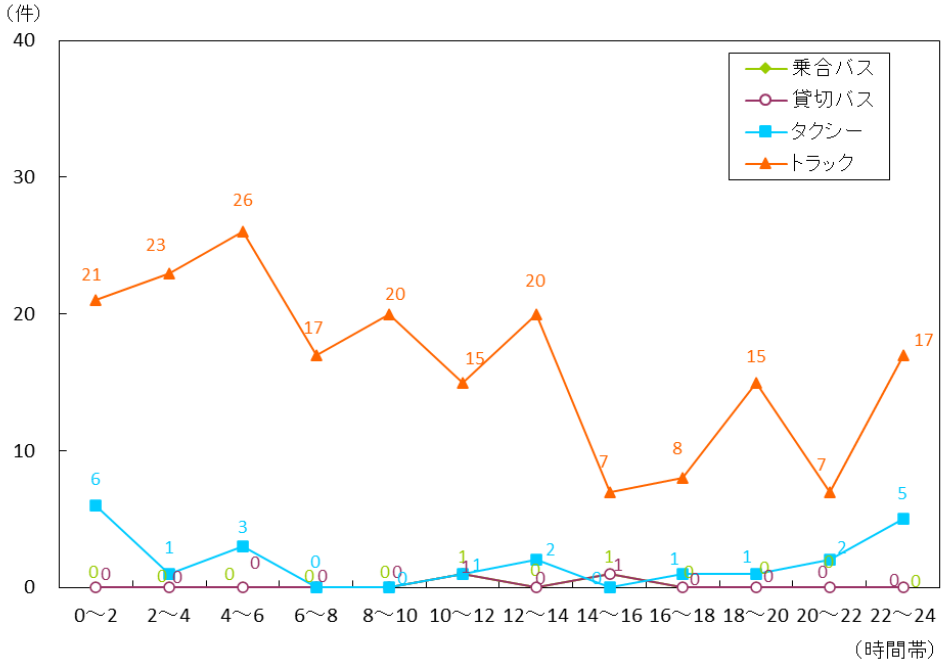
区分	時間帯	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
バス	乗合	0	0	4	60	127	111	110	118	140	87	35	11	803
	貸切	0	1	1	15	22	15	11	17	18	10	6	2	118
	その他	0	0	0	1	3	0	0	1	1	1	0	0	7
	小計	0	1	5	76	152	126	121	136	159	98	41	13	928
タクシー	法人	433	311	196	353	839	774	699	704	814	854	685	607	7,269
	個人	45	27	8	29	71	55	54	50	76	74	73	56	618
その他乗用		1	1	1	3	11	11	12	4	8	4	3	2	61
小計		479	339	205	385	921	840	765	758	898	932	761	665	7,948
トラック	大型	117	132	198	462	697	629	520	468	375	232	168	166	4,164
	中型	71	71	146	281	431	393	325	277	216	130	102	65	2,508
	準中型	41	42	89	226	417	404	313	288	199	90	46	31	2,186
	普通	5	9	11	42	88	111	67	84	53	23	12	8	513
	軽	43	33	78	316	684	776	640	672	670	653	345	102	5,012
	小計	277	287	522	1,327	2,317	2,313	1,865	1,789	1,513	1,128	673	372	14,383
合計		756	627	732	1,788	3,390	3,279	2,751	2,683	2,570	2,158	1,475	1,050	23,259

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 業態別時間帯別交通死亡事故件数

業態別の時間帯別交通死亡事故件数をみると、乗合バスは10時～11時台及び14時～15時台、貸切バスは10時～11時台及び14時～15時台が最も多い。タクシーは0時～1時台、トラックは4時～5時台が最も多い。

〔図 23〕 業態別時間帯別交通死亡事故件数（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 23〕 業態別時間帯別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

区分		時間帯 0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
バス	乗合	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	貸切	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	4
タクシー	法人	6	0	3	0	0	1	1	0	0	1	2	5	19
	個人	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
その他乗用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		6	1	3	0	0	1	2	0	1	1	2	5	22
トラック	大型	10	14	12	7	9	8	13	6	4	7	2	10	102
	中型	7	4	6	3	3	2	2	0	2	2	1	2	34
	準中型	3	2	3	1	6	3	4	1	0	1	2	2	28
	普通	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	5
	軽	1	2	5	5	2	2	1	0	2	5	1	1	27
	小計	21	23	26	17	20	15	20	7	8	15	7	17	196
合計		27	24	29	17	20	18	22	9	9	16	9	22	222

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

１－９．交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数

（１） 交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数

〔表 24〕 交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数（件）（令和４年）

事業の種類 / 都道府県	バス		乗合		貸切		その他		タクシー		トラック		合計	
北海道	33	(10)	26	(10)	7	(5)	0	(4)	469	(5)	442	(10)	944	(9)
青森県	10	(15)	8	(17)	2	(14)	0	(4)	44	(21)	81	(31)	135	(29)
岩手県	5	(27)	4	(27)	1	(20)	0	(4)	26	(29)	51	(40)	82	(40)
宮城県	9	(17)	7	(18)	2	(14)	0	(4)	104	(14)	177	(16)	290	(15)
秋田県	2	(41)	2	(35)	0	(35)	0	(4)	16	(38)	35	(43)	53	(44)
山形県	3	(36)	2	(35)	1	(20)	0	(4)	25	(31)	64	(37)	92	(38)
福島県	4	(31)	2	(35)	2	(14)	0	(4)	26	(29)	117	(22)	147	(27)
茨城県	7	(21)	4	(27)	1	(20)	2	(2)	30	(26)	365	(11)	402	(12)
栃木県	8	(19)	5	(21)	3	(9)	0	(4)	15	(40)	154	(18)	177	(21)
群馬県	6	(23)	5	(21)	1	(20)	0	(4)	49	(18)	266	(13)	321	(14)
埼玉県	41	(8)	33	(9)	5	(7)	3	(1)	223	(8)	1,230	(3)	1,494	(4)
千葉県	55	(5)	45	(7)	10	(2)	0	(4)	203	(9)	770	(6)	1,028	(8)
東京都	168	(1)	146	(1)	21	(1)	1	(3)	2,359	(1)	1,546	(2)	4,073	(1)
神奈川県	134	(2)	124	(2)	10	(2)	0	(4)	576	(4)	1,218	(4)	1,928	(3)
新潟県	6	(23)	5	(21)	1	(20)	0	(4)	23	(32)	104	(26)	133	(30)
富山県	2	(41)	2	(35)	0	(35)	0	(4)	10	(44)	86	(29)	98	(36)
石川県	5	(27)	5	(21)	0	(35)	0	(4)	31	(24)	67	(35)	103	(34)
福井県	2	(41)	2	(35)	0	(35)	0	(4)	5	(46)	36	(42)	43	(45)
山梨県	2	(41)	1	(42)	1	(20)	0	(4)	14	(41)	54	(39)	70	(41)
長野県	4	(31)	1	(42)	3	(9)	0	(4)	39	(22)	117	(22)	160	(22)
岐阜県	4	(31)	1	(42)	3	(9)	0	(4)	20	(35)	161	(17)	185	(18)
静岡県	28	(11)	25	(11)	3	(9)	0	(4)	196	(10)	563	(9)	787	(10)
愛知県	50	(7)	46	(6)	4	(8)	0	(4)	356	(6)	1,000	(5)	1,406	(6)
三重県	3	(36)	3	(33)	0	(35)	0	(4)	16	(38)	137	(19)	156	(24)
滋賀県	2	(41)	1	(42)	1	(20)	0	(4)	17	(37)	106	(25)	125	(31)
京都府	51	(6)	49	(5)	2	(14)	0	(4)	165	(11)	274	(12)	490	(11)
大阪府	64	(3)	54	(4)	10	(2)	0	(4)	1,100	(2)	1,883	(1)	3,047	(2)
兵庫県	57	(4)	55	(3)	2	(14)	0	(4)	309	(7)	712	(8)	1,078	(7)
奈良県	2	(41)	1	(42)	1	(20)	0	(4)	14	(41)	135	(20)	151	(25)
和歌山県	4	(31)	4	(27)	0	(35)	0	(4)	14	(41)	74	(33)	92	(38)
鳥取県	0	(47)	0	(47)	0	(35)	0	(4)	3	(47)	29	(45)	32	(47)
島根県	5	(27)	4	(27)	1	(20)	0	(4)	7	(45)	24	(47)	36	(46)
岡山県	9	(17)	9	(14)	0	(35)	0	(4)	39	(22)	201	(15)	249	(16)
広島県	11	(13)	9	(14)	2	(14)	0	(4)	111	(13)	208	(14)	330	(13)
山口県	6	(23)	6	(19)	0	(35)	0	(4)	30	(26)	66	(36)	102	(35)
徳島県	3	(36)	2	(35)	1	(20)	0	(4)	21	(34)	41	(41)	65	(42)
香川県	5	(27)	4	(27)	1	(20)	0	(4)	45	(20)	109	(24)	159	(23)
愛媛県	3	(36)	2	(35)	1	(20)	0	(4)	29	(28)	73	(34)	105	(33)
高知県	4	(31)	4	(27)	0	(35)	0	(4)	20	(35)	35	(43)	59	(43)
福岡県	40	(9)	34	(8)	6	(6)	0	(4)	652	(3)	757	(7)	1,449	(5)
佐賀県	7	(21)	6	(19)	1	(20)	0	(4)	22	(33)	92	(28)	121	(32)
長崎県	22	(12)	22	(12)	0	(35)	0	(4)	75	(15)	86	(29)	183	(19)
熊本県	8	(19)	5	(21)	3	(9)	0	(4)	53	(17)	122	(21)	183	(19)
大分県	3	(36)	3	(33)	0	(35)	0	(4)	31	(24)	64	(37)	98	(36)
宮崎県	6	(23)	5	(21)	1	(20)	0	(4)	57	(16)	78	(32)	141	(28)
鹿児島県	11	(13)	11	(13)	0	(35)	0	(4)	46	(19)	94	(27)	151	(25)
沖縄県	10	(15)	9	(14)	1	(20)	0	(4)	158	(12)	27	(46)	195	(17)
計	928		803		118		7		7,948		14,383		23,259	

注１：数値横のカッコ内は順位
注２：都道府県合計には、不明を含む

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通死亡事故件数

〔表 25〕交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通死亡事故件数（件）（令和４年）

事業の種類 / 都道府県	バス						タクシー		トラック		合計	
		乗合		貸切		その他						
北海道	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	7	(9)	7	(11)
青森県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	0	(40)	0	(42)
岩手県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	2	(26)	2	(26)
宮城県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	1	(6)	3	(18)	4	(16)
秋田県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	1	(33)	1	(35)
山形県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	1	(33)	1	(35)
福島県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	5	(13)	5	(14)
茨城県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	12	(3)	12	(6)
栃木県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	7	(9)	7	(11)
群馬県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	3	(18)	3	(22)
埼玉県	1	(1)	0	(4)	1	(1)	0	(1)	0	(15)	14	(2)	15	(3)
千葉県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	1	(6)	12	(3)	13	(4)
東京都	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	4	(1)	12	(3)	16	(2)
神奈川県	1	(1)	0	(4)	1	(1)	0	(1)	1	(6)	11	(6)	13	(4)
新潟県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	3	(18)	3	(22)
富山県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	4	(15)	4	(16)
石川県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	2	(26)	2	(26)
福井県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	1	(33)	1	(35)
山梨県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	3	(18)	3	(22)
長野県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	2	(26)	2	(26)
岐阜県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	2	(26)	2	(26)
静岡県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	2	(3)	4	(15)	6	(13)
愛知県	1	(1)	1	(1)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	8	(8)	9	(8)
三重県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	4	(15)	4	(16)
滋賀県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	2	(26)	2	(26)
京都府	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	2	(26)	2	(26)
大阪府	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	3	(2)	21	(1)	24	(1)
兵庫県	1	(1)	1	(1)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	7	(9)	8	(10)
奈良県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	0	(40)	0	(42)
和歌山県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	0	(40)	0	(42)
鳥取県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	0	(40)	0	(42)
島根県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	1	(33)	1	(35)
岡山県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	1	(6)	3	(18)	4	(16)
広島県	1	(1)	1	(1)	0	(3)	0	(1)	2	(3)	6	(12)	9	(8)
山口県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	5	(13)	5	(14)
徳島県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	0	(40)	0	(42)
香川県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	1	(33)	1	(35)
愛媛県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	1	(6)	3	(18)	4	(16)
高知県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	0	(40)	0	(42)
福岡県	1	(1)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	1	(6)	9	(7)	11	(7)
佐賀県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	2	(26)	2	(26)
長崎県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	1	(6)	0	(40)	1	(35)
熊本県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	3	(18)	3	(22)
大分県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	0	(15)	1	(33)	1	(35)
宮崎県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	1	(6)	3	(18)	4	(16)
鹿児島県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	2	(3)	0	(40)	2	(26)
沖縄県	0	(7)	0	(4)	0	(3)	0	(1)	1	(6)	1	(33)	2	(26)
計	4		2		2		0		22		196		222	

注１：数値横のカッコ内は順位

注２：都道府県合計には、不明を含む

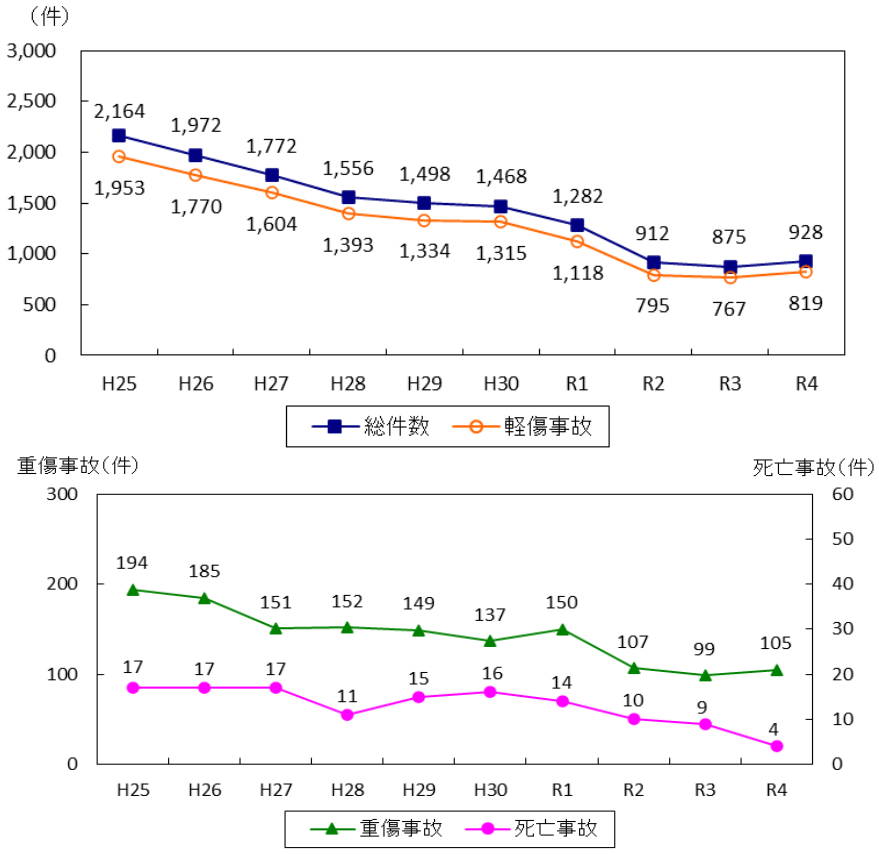
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

２．バスの事故

（１） バスの事故件数、死傷事故件数の推移

バス（事業用）による交通事故について、総件数、軽傷事故件数、重傷事故件数は令和４年に増加に転じた。また、交通死亡事故件数は近年減少傾向にあり、令和4年は過去10年で最小となっている。

〔図 24〕 バスの事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 26〕 バスの事故件数の推移（件）

区分 / 年	総件数	軽傷事故	重傷事故	死亡事故
H25	2,164	1,953	194	17
H26	1,972	1,770	185	17
H27	1,772	1,604	151	17
H28	1,556	1,393	152	11
H29	1,498	1,334	149	15
H30	1,468	1,315	137	16
R1	1,282	1,118	150	14
R2	912	795	107	10
R3	875	767	99	9
R4	928	819	105	4

※バス種別区分の乗合、貸切、その他の合計値

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） バス事故のうち、同乗者の死傷事故件数

運転者が第１当事者となったバス事故の業態別の同乗者の死傷事故件数は、以下の通りであった。

〔表 27〕　バス事故のうち、同乗者の死傷事故件数（件）（令和４年）

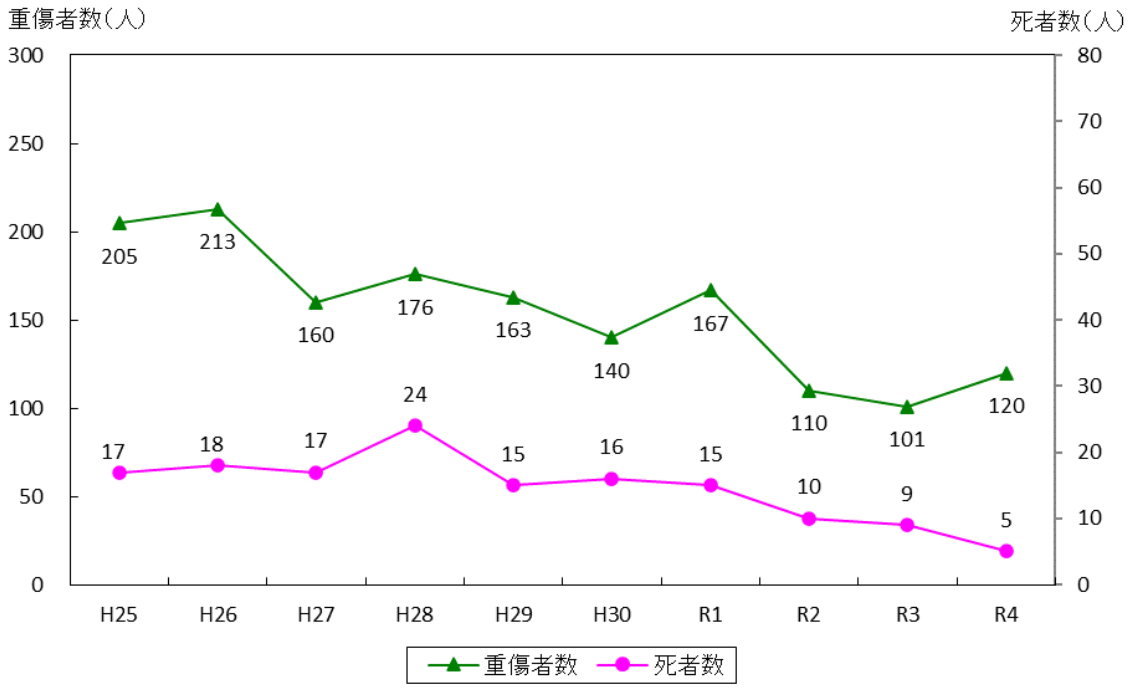
	死亡	重傷	軽傷	合計
乗合	1	41	289	331
貸切	1	4	7	12
その他	0	0	1	1
計	2	45	297	344

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） バス事故の死傷者数の推移

バス（事業用）による交通事故の重傷者数は近年減少傾向となっているが、令和４年は前年と比べて19人増加した。死者数は近年横ばい傾向であったが、令和４年は過去10年間で最小の５人となっている。

〔図 25〕　バス事故の死傷者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 28〕　バス事故の死傷者数の推移(人)

区分 / 年	死傷者合計	軽傷者数	重傷者数	死者数
H25	2,872	2,650	205	17
H26	2,586	2,355	213	18
H27	2,325	2,148	160	17
H28	2,123	1,923	176	24
H29	1,926	1,748	163	15
H30	1,890	1,734	140	16
R1	1,667	1,485	167	15
R2	1,071	951	110	10
R3	1,030	920	101	9
R4	1,160	1,035	120	5

※バス種別区分の乗合、貸切、その他の合計値

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（４） バスの事故のうち、同乗者の死傷者数

運転者が第１当事者となったバス事故の業態別の同乗者の死傷者数は、以下の通りであった。

〔表 29〕　バス事故のうち、同乗者の死傷者数（人）（令和４年）

	死亡	重傷	軽傷	合計
乗合	1	42	360	403
貸切	1	13	40	54
その他	0	0	1	1
計	2	55	401	458

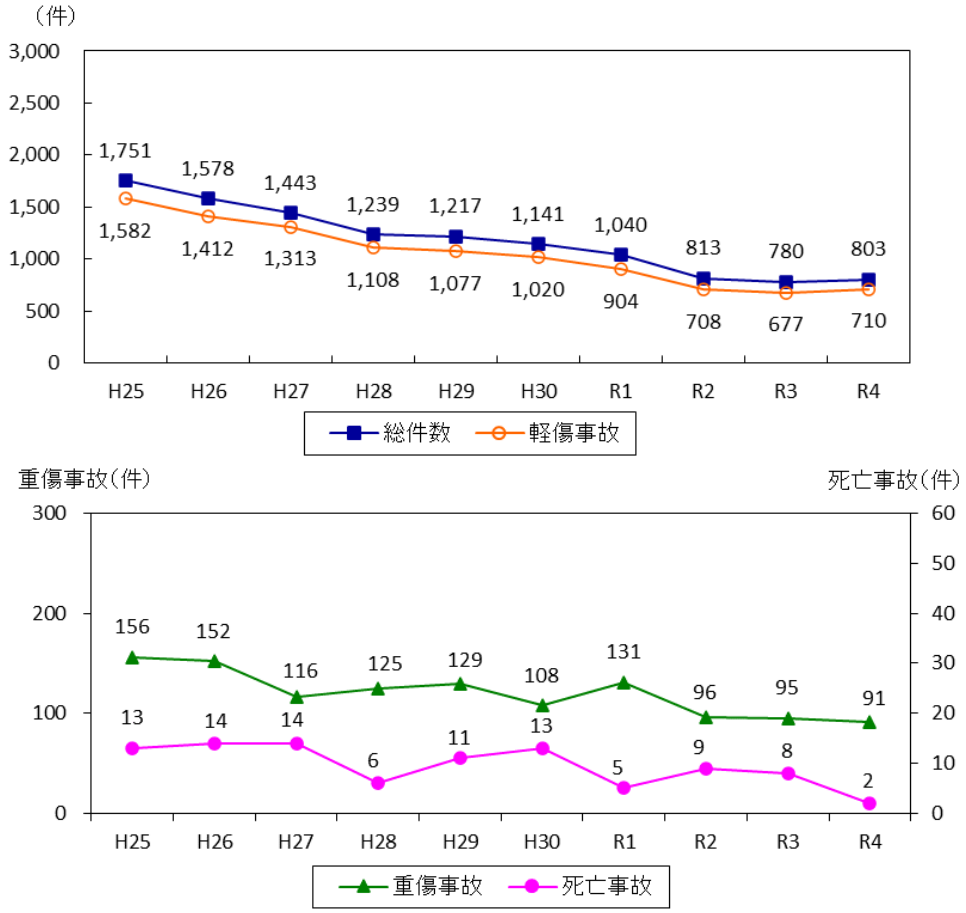
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

２－１．乗合バスの交通事故

（１） 乗合バスの交通事故件数、交通死傷事故件数の推移

乗合バスによる交通事故について、総件数、軽傷事故件数、重傷事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は総件数、軽傷事故が増加に転じた。また、交通死亡事故件数は令和４年に過去10年間で最少となっている。

〔図 26〕 乗合バスの事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 30〕 乗合バスの事故件数の推移（件）

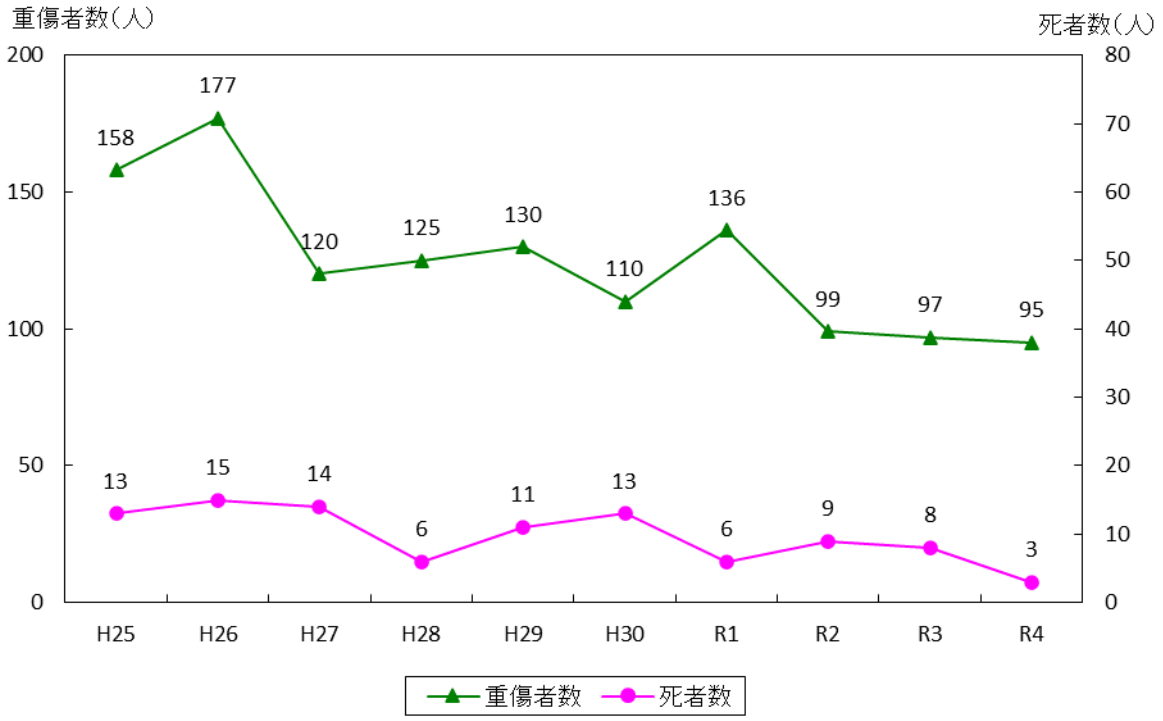
区分 / 年	総件数	軽傷事故	重傷事故	死亡事故
H25	1,751	1,582	156	13
H26	1,578	1,412	152	14
H27	1,443	1,313	116	14
H28	1,239	1,108	125	6
H29	1,217	1,077	129	11
H30	1,141	1,020	108	13
R1	1,040	904	131	5
R2	813	708	96	9
R3	780	677	95	8
R4	803	710	91	2

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 乗合バス事故の死傷者数の推移

乗合バスによる交通事故の重傷者数は近年減少傾向となっており、令和４年は前年と比べて２人減少した。死者数は前年と比べて５人減少し、過去 10 年間で最少となっている。

〔図 27〕 乗合バス事故の死傷者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 31〕 乗合バス事故の死傷者数の推移（人）

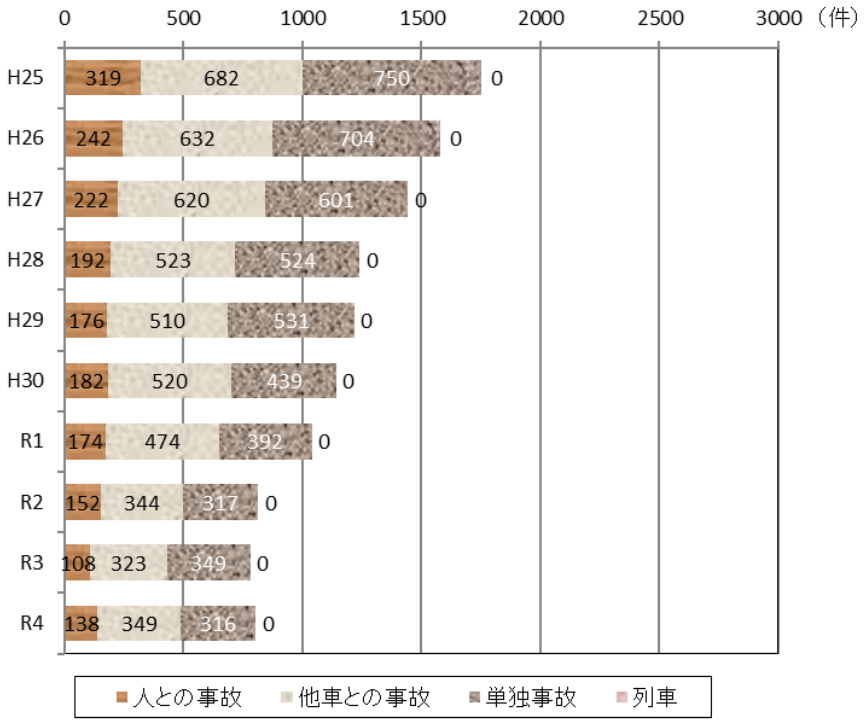
区分 / 年	死傷者合計	軽傷者数	重傷者数	死者数
H25	2,066	1,895	158	13
H26	1,933	1,741	177	15
H27	1,739	1,605	120	14
H28	1,482	1,351	125	6
H29	1,452	1,311	130	11
H30	1,429	1,306	110	13
R1	1,276	1,134	136	6
R2	933	825	99	9
R3	907	802	97	8
R4	958	860	95	3

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） 乗合バスの事故類型別交通事故件数の推移

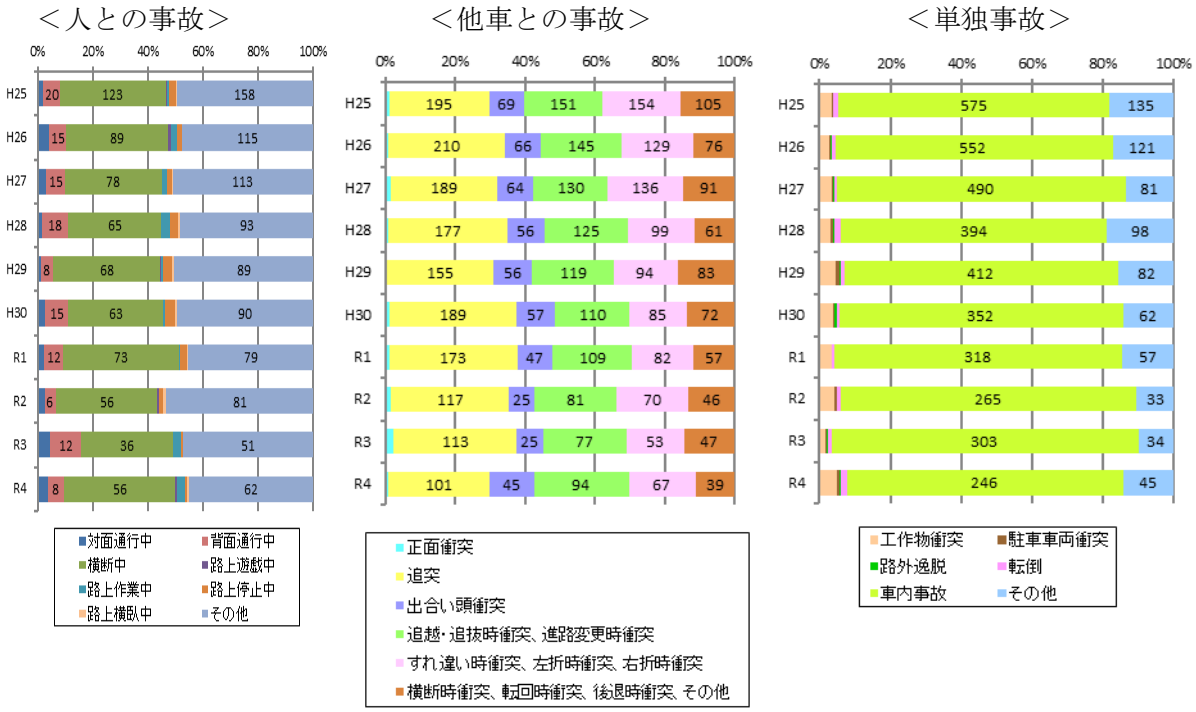
乗合バスの交通事故を事故の種類で類型化すると、他車との事故と単独事故が多く、合計で約83%を占めている。また、単独事故のうち約78%が車内事故である。

〔図 28〕 乗合バスの事故類型別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 29〕 乗合バスの事故類型別交通事故件数の内訳の推移

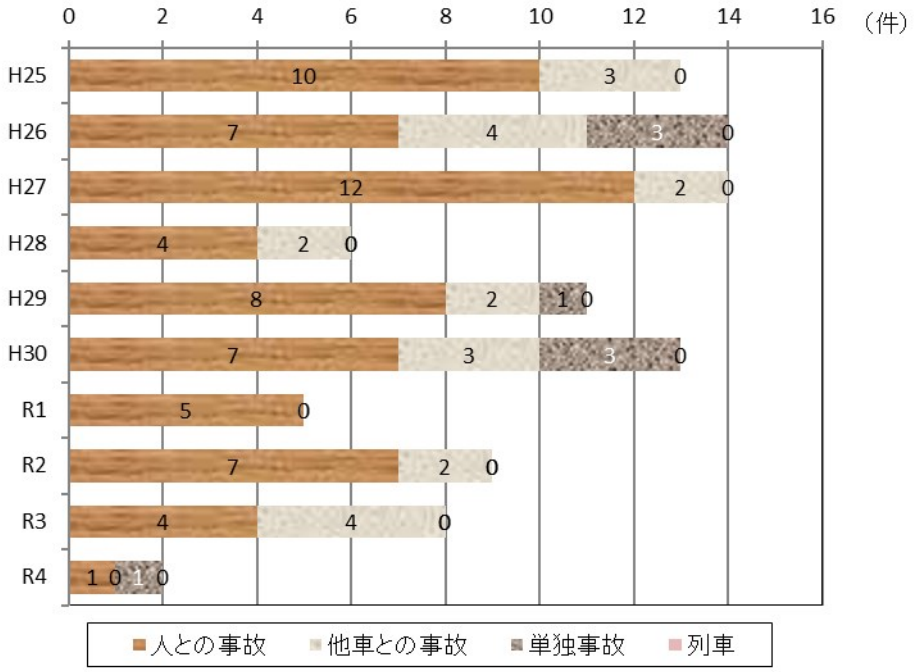


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故」

（４） 乗合バスの事故類型別交通死亡事故件数の推移

乗合バスの交通死亡事故を事故の種類で類型化すると、人との事故が多い。令和４年は人との事故が１件、単独事故が１件であり、他車との事故や列車との交通死亡事故は発生しなかった。

〔図 30〕 乗合バスの事故類型別交通死亡事故件数の推移

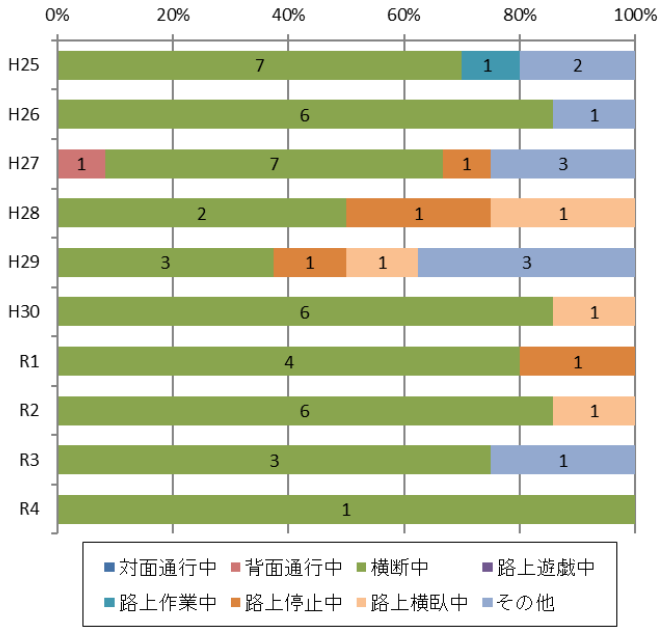


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（５） 乗合バスの事故類型別交通死亡事故件数の内訳（人との事故）

人との交通死亡事故は、歩行者が横断中に発生する事故が最も多い。

〔図 31〕 乗合バスの事故類型別交通死亡事故件数の内訳（人との事故）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（６） 乗合バスの事故類型別交通死亡事故件数の内訳（他車との事故）

乗合バスの交通死亡事故のうち他車との事故について、目立った特徴は見られない。

〔表 32〕 乗合バスの事故類型別死亡事故件数の内訳（件）（他車との事故）

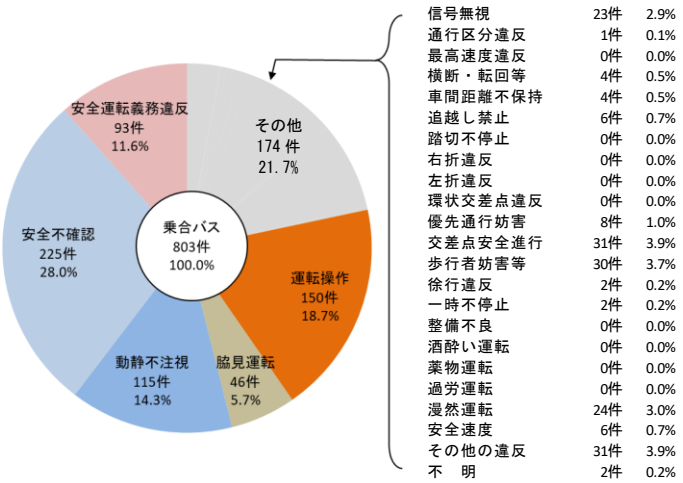
区分 / 年	正面衝突	追突	出合い頭衝突	追越・追抜時衝突、進路変更時衝突	すれ違い時衝突、左折時衝突、右折時衝突	横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他
H25	0	0	1	0	2	0
H26	0	1	1	0	2	0
H27	0	0	0	0	1	1
H28	0	1	0	0	1	0
H29	0	0	0	1	1	0
H30	0	0	2	0	1	0
R1	0	0	0	0	0	0
R2	0	0	0	0	2	0
R3	0	1	2	0	1	0
R4	0	0	0	0	0	0

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故」

（７） 乗合バスの法令違反別の交通事故件数の割合

乗合バスでは、「安全不確認」225件（28.0%）、「運転操作」150件（18.7%）、「動静不注視」115件（14.3%）といった法令違反の交通事故が多い。「運転操作」は車内事故発生の要因の一つと考えられる。

〔図 32〕 乗合バスの法令違反別の交通事故件数の割合（令和４年）

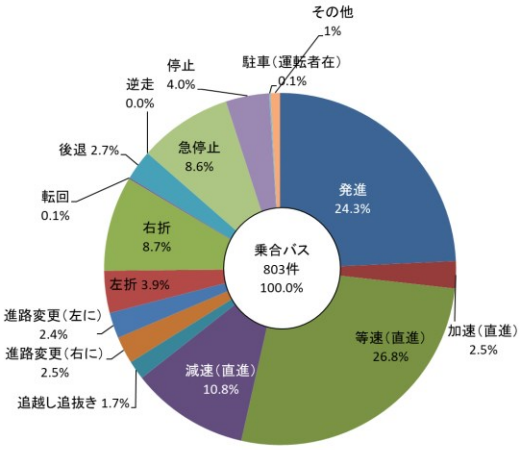


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（８） 乗合バスの行動類型別交通事故件数の割合

乗合バスの交通事故をバスの動きで類型化すると、発進時と等速（直進）時が多く、合計で半数を超えている。

〔図 33〕 乗合バスの行動類型別事故件数の割合（令和４年）



行動類型	件数	割合
発進	195 件	24.3%
加速（直進）	20 件	2.5%
等速（直進）	215 件	26.8%
減速（直進）	87 件	10.8%
追越し追抜き	14 件	1.7%
進路変更（右に）	20 件	2.5%
進路変更（左に）	19 件	2.4%
左折	31 件	3.9%
右折	70 件	8.7%
転回	1 件	0.1%
後退	22 件	2.7%
横断	0 件	0.0%
蛇行	0 件	0.0%
逆走	0 件	0.0%
急停止	69 件	8.6%
停止	32 件	4.0%
駐車（運転者在）	1 件	0.1%
その他	7 件	0.9%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（９） 乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数

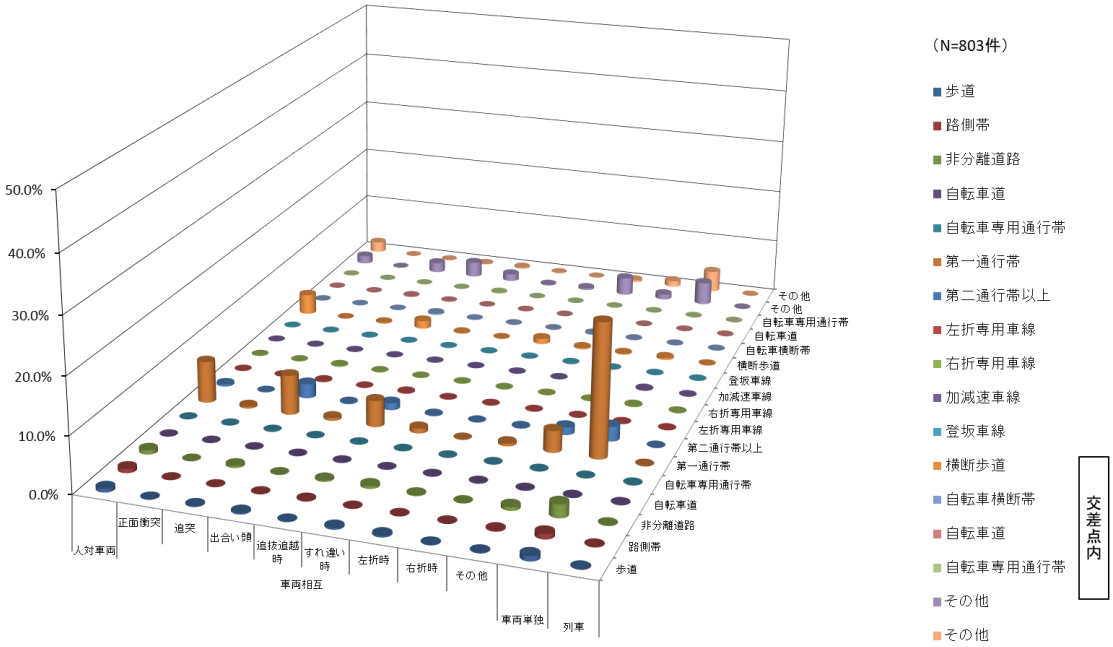
乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数と構成比をそれぞれ表33と図34に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表34と図35に示す。第一通行帯での単独事故が191件と23.8%で最も多くなっている。

〔表 33〕 乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	5	0	1	2	0	2	2	0	0	7	0	19
	路側帯	6	0	0	0	1	0	0	0	1	7	0	15
	非分離道路	6	0	3	0	2	4	1	0	5	19	0	40
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	60	3	57	4	38	7	0	4	31	191	0	395
	第二通行帯以上	3	0	21	1	10	1	0	1	11	21	0	69
	左折専用車線	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	右折専用車線	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 横断歩道	30	0	1	12	1	0	8	2	1	3	0	58
	交差点内 自転車横断帯	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
	交差点内 自転車道	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	交差点内 自転車専用通行帯	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	交差点内 その他	12	0	15	23	11	1	3	27	8	34	0	134
その他		16	0	0	1	2	0	0	3	9	32	0	63
合計		138	3	101	45	67	15	14	38	66	316	0	803

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 34〕 乗合バスの事故類型別、 衝突地点別交通事故件数の構成比（％） （令和４年）



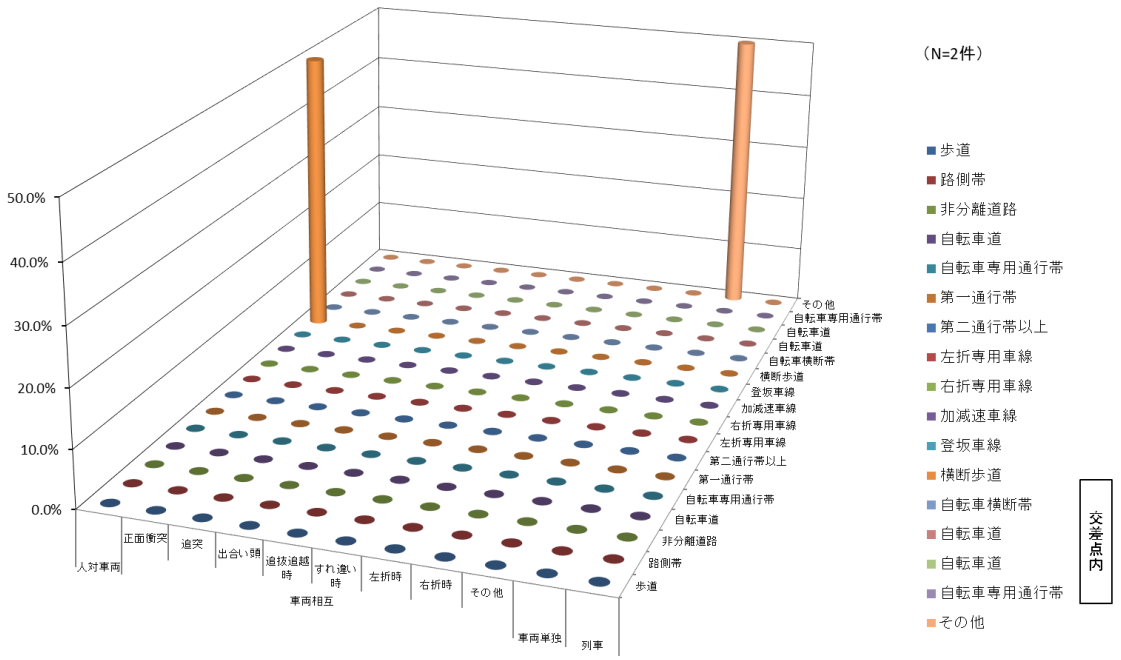
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 34〕　乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非分離道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第二通行帯以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 横断歩道	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	交差点内 自転車横断帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 35〕 乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数の構成比（%）（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（10） 乗合バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数

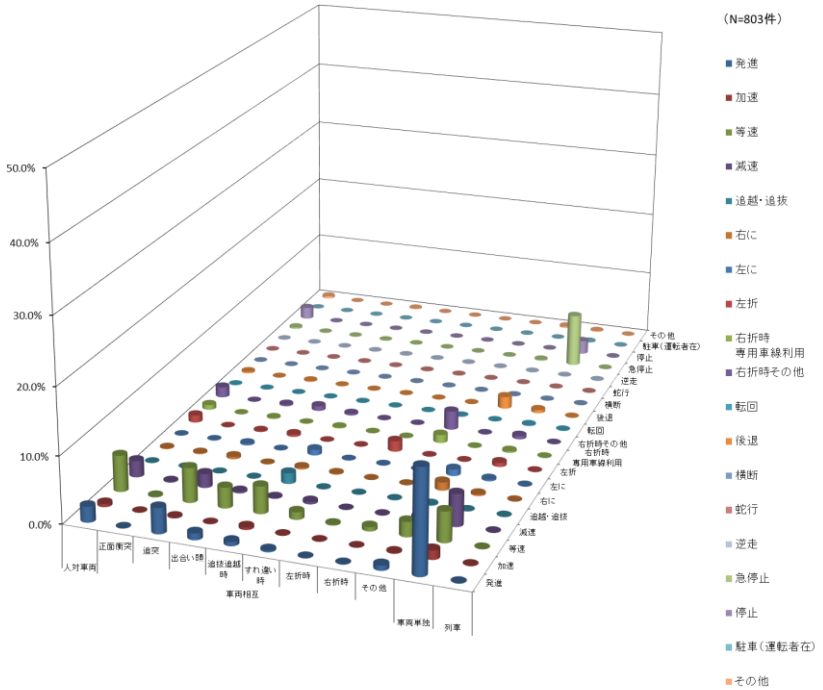
乗合バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数と構成比をそれぞれ表35と図36に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表36と図37に示す。発進時の単独事故が最も多く124件（15.4%）となっている。

〔表 35〕 乗合バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
発進		19	0	31	8	5	2	0	0	6	124	0	195
直進	加速	4	0	1	0	3	0	0	0	1	11	0	20
	等速	44	1	42	25	33	9	1	5	18	37	0	215
	減速	20	1	17	2	1	3	0	0	4	39	0	87
追越・追抜		0	0	0	0	13	0	0	0	1	0	0	14
進路変更	右に	1	1	3	0	2	1	0	0	10	2	0	20
	左に	0	0	2	0	7	0	0	0	8	2	0	19
左折		9	0	1	3	0	0	13	0	0	5	0	31
右折時	専用車線利用	6	0	1	0	1	0	0	10	0	2	0	20
	その他	13	0	2	6	2	0	0	23	0	4	0	50
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
後退		2	0	1	0	0	0	0	0	15	4	0	22
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		2	0	0	0	0	0	0	0	1	66	0	69
停止		15	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	32
駐車（運転者在）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他		3	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	7
合計		138	3	101	45	67	15	14	38	66	316	0	803

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 36〕 乗合バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数の構成比（%）（令和４年）



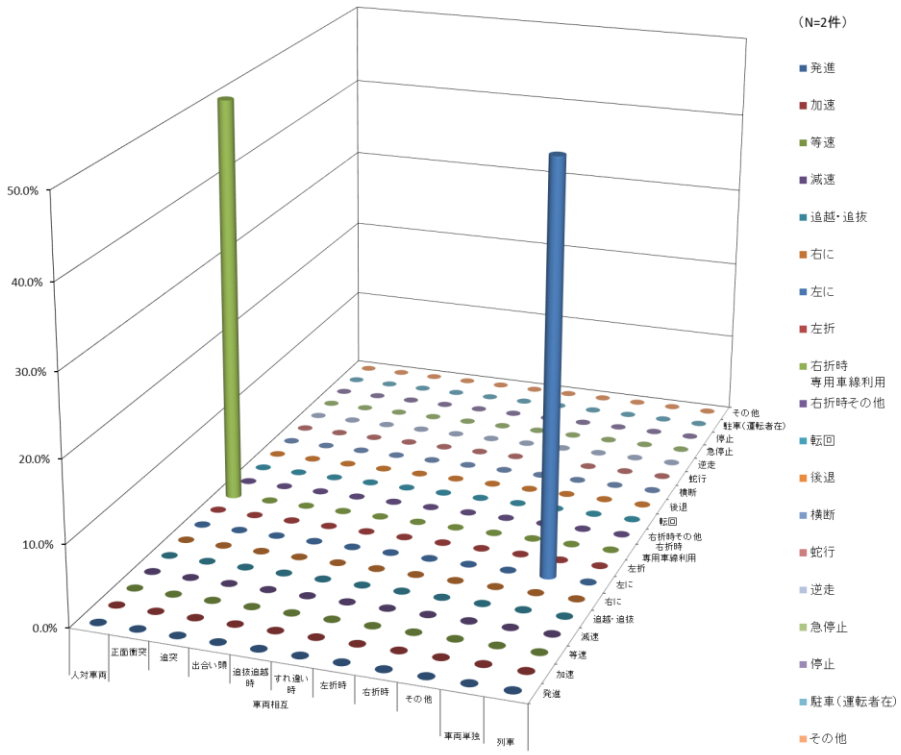
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 36〕　乗合バスの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
発進		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直進	加速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	等速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
追越・追抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
左折		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
右折時	専用車線利用	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車（運転者在）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 37〕　乗合バスの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数の構成比（%）（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(11)　乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移

乗合バスの車内事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は246件と前年と比べて約19%減少している。

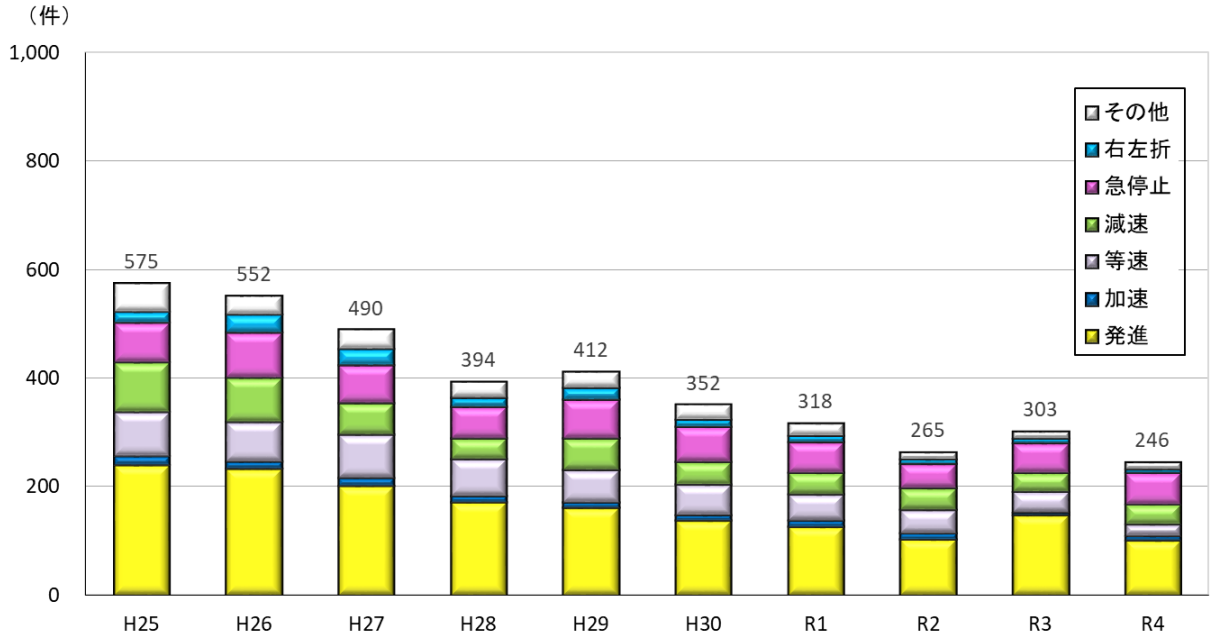
また、発生時のバスの動きで類型化すると、発進時が102件、直進時が66件、急停止が59件となっており、合計で90%を超えている。

〔表 37〕　乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移（件）

区分＼年		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
発　進		239	233	201	172	162	138	127	103	148	102
直　進	加速	18	14	15	11	10	10	11	13	5	8
	等速	80	72	80	68	59	57	48	42	39	21
	減速	93	82	59	38	59	42	41	41	35	37
急停止		73	83	69	59	71	64	56	44	55	59
右左折		20	34	30	16	22	13	12	9	7	6
その他		52	34	36	30	29	28	23	13	14	13
合　計		575	552	490	394	412	352	318	265	303	246

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 38〕　乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移

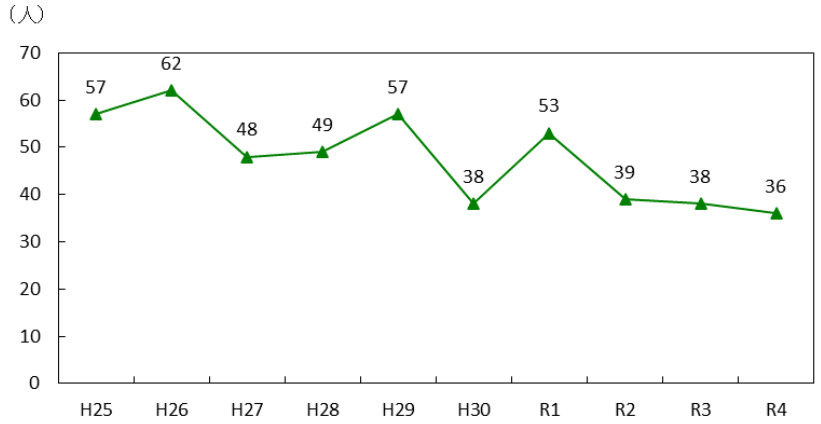


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(12)　乗合バスの車内事故による重傷者数の推移

乗合バスの車内事故による重傷者数は、令和４年は前年と比べて２人減少している。

〔図 39〕　乗合バスの車内事故による重傷者数の推移

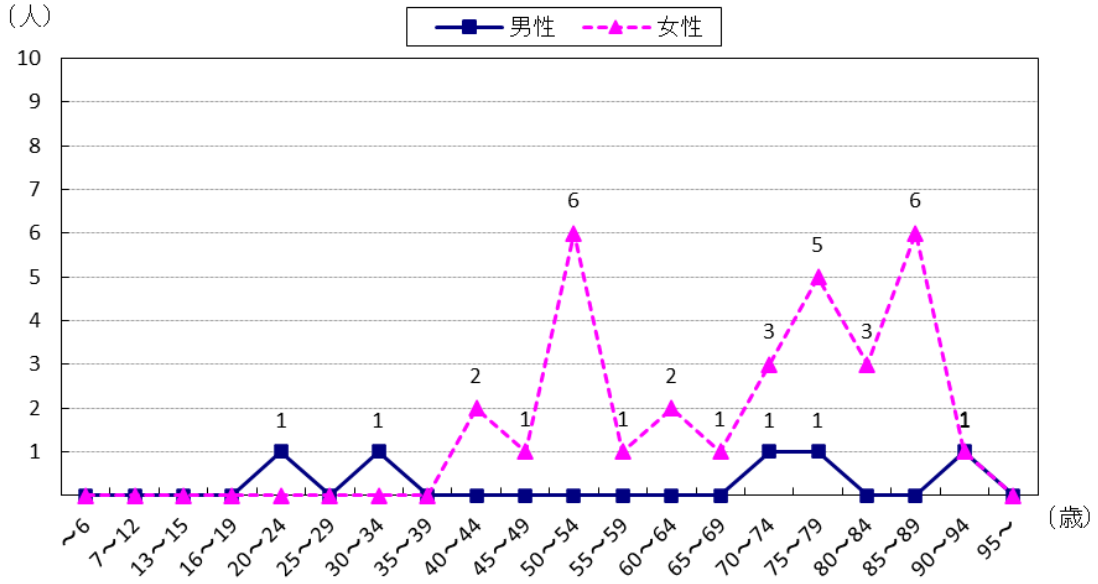


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(13)　乗合バスの車内事故による重傷者数の男女別年齢分布

乗合バスの車内事故による重傷者数は、50～54歳代、85～89歳代の女性が共に６人と最も多くなっている。

〔図 40〕　乗合バスの車内事故による重傷者数の男女別年齢分布（令和４年）

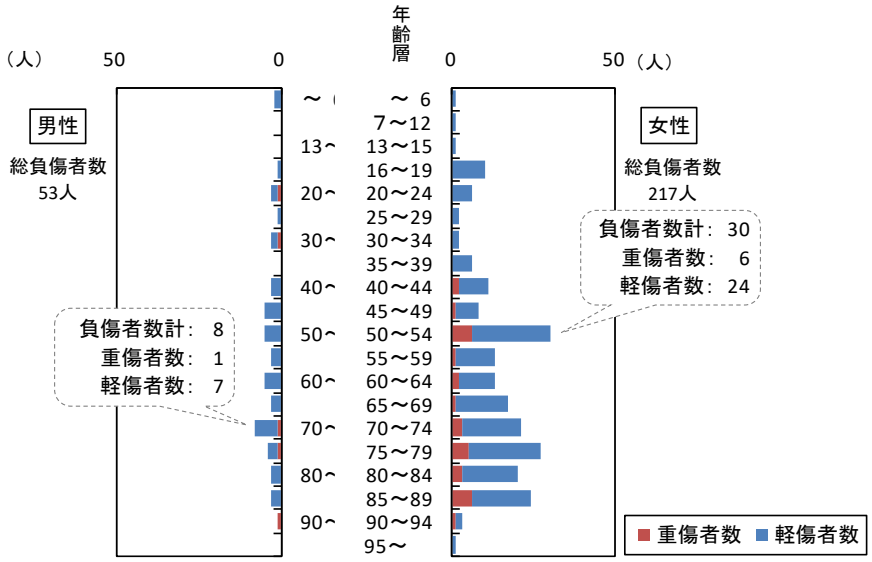


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（14） 乗合バスの車内事故による男女別負傷者数の年齢分布

乗合バスの車内事故による負傷者数は男女とも高齢者が多くなっている。なお、男性に比べて女性の総負傷者数が4.1倍となっている。

〔図 41〕 乗合バスの車内事故による男女別年齢層別負傷者数（令和４年）

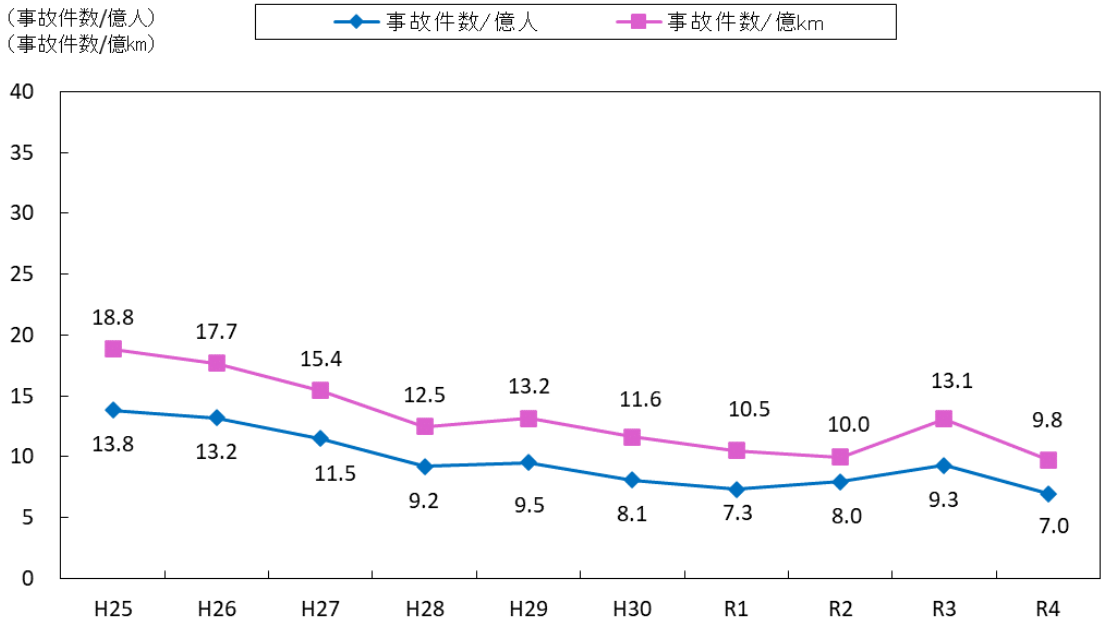


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（15） 乗合バスの輸送人員１億人あたり及び走行距離１億キロあたり車内事故件数の推移

乗合バスの輸送人員あたり及び走行距離あたりの車内事故件数は令和３年は前年と比べ増加したが、令和４年は前年と比べていずれも減少している。

〔図 42〕 乗合バスの輸送人員１億人あたり及び走行距離１億キロあたり車内事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

	事故件数（件）	輸送人員（億人）	走行距離（億km）
H25	575	41.6	30.5
H26	552	41.7	31.2
H27	490	42.6	31.8
H28	394	42.8	31.5
H29	412	43.3	31.3
H30	352	43.6	30.2
R1	318	43.4	30.3
R2	265	33.3	26.6
R3	303	32.6	23.1
R4	246	36.2	25.2

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

（16） 乗合バスの車内事故件数の事故種類別時間帯分布

乗合バスの車内事故件数を時間帯別にみると、８時～17時台の日中の時間帯に多く発生している。

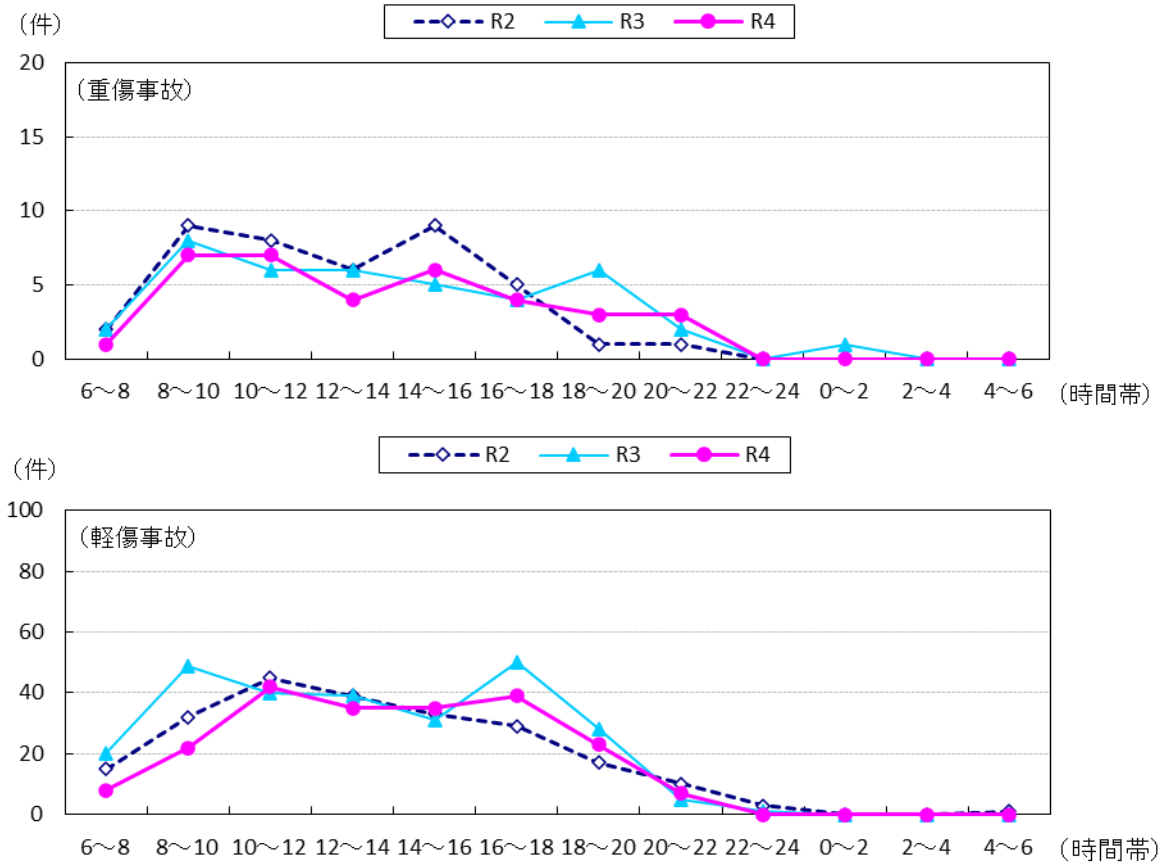
〔表 39〕　乗合バス車内事故件数の事故種類別時間帯分布（令和４年）

時間帯	重傷事故	軽傷事故	負傷事故計
6～8	1	8	9
8～10	7	22	29
10～12	7	42	49
12～14	4	35	39
14～16	6	35	41
16～18	4	39	43
18～20	3	23	26
20～22	3	7	10
22～24	0	0	0
0～2	0	0	0
2～4	0	0	0
4～6	0	0	0
合計	35	211	246

※運転者が負傷した事故を含む。

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 43〕　乗合バス車内事故件数の事故種類別時間帯分布



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(17)　乗合バスの車内事故による事故種類別負傷者数の年齢分布

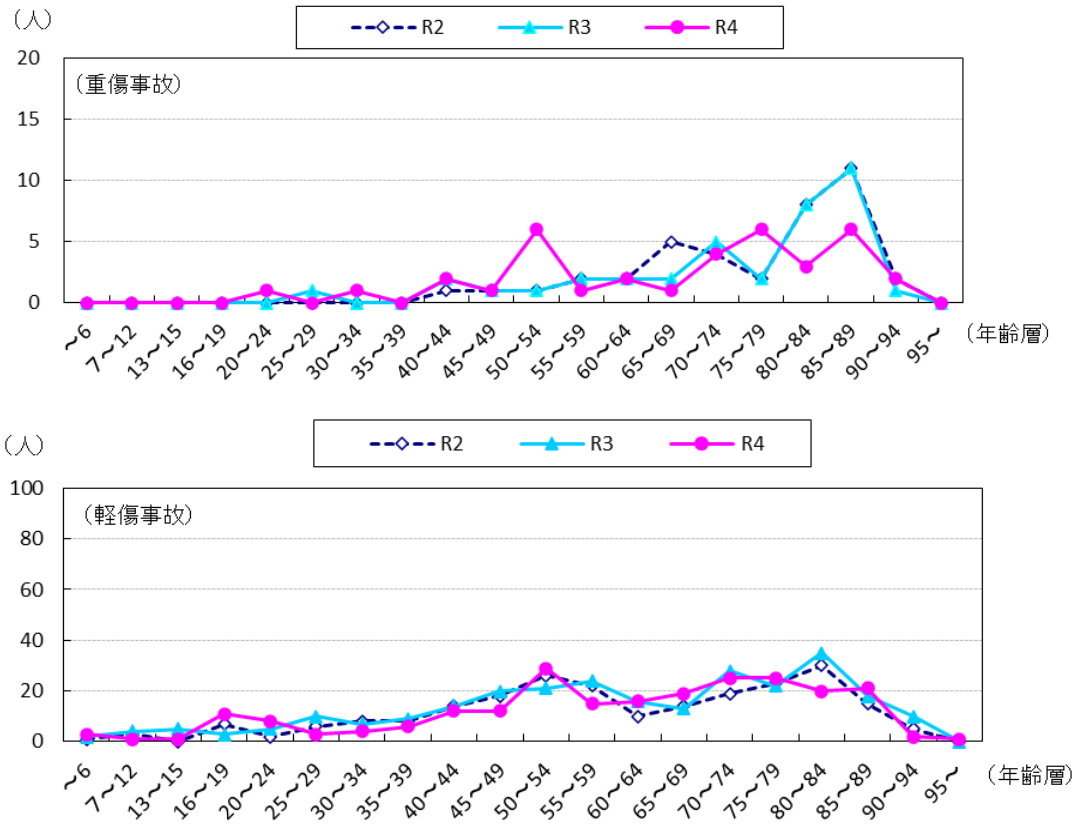
乗合バスの車内事故による負傷者数は65歳以上の高齢者が半数を占めている。また、重傷者のうち65歳以上の高齢者は22人で約61%となっている。このように高齢者の比率の高さが顕著となっている。

〔表 40〕　乗合バスの車内事故による事故種類別負傷者数の年齢分布（人）（令和４年）

年齢層	重傷者数	軽傷者数	負傷者計
～ 6	0	3	3
7～12	0	1	1
13～15	0	1	1
16～19	0	11	11
20～24	1	8	9
25～29	0	3	3
30～34	1	4	5
35～39	0	6	6
40～44	2	12	14
45～49	1	12	13
50～54	6	29	35
55～59	1	15	16
60～64	2	16	18
65～69	1	19	20
70～74	4	25	29
75～79	6	25	31
80～84	3	20	23
85～89	6	21	27
90～94	2	2	4
95～	0	1	1
合計	36	234	270

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 44〕　乗合バスの車内事故による事故種類別負傷者数の年齢分布



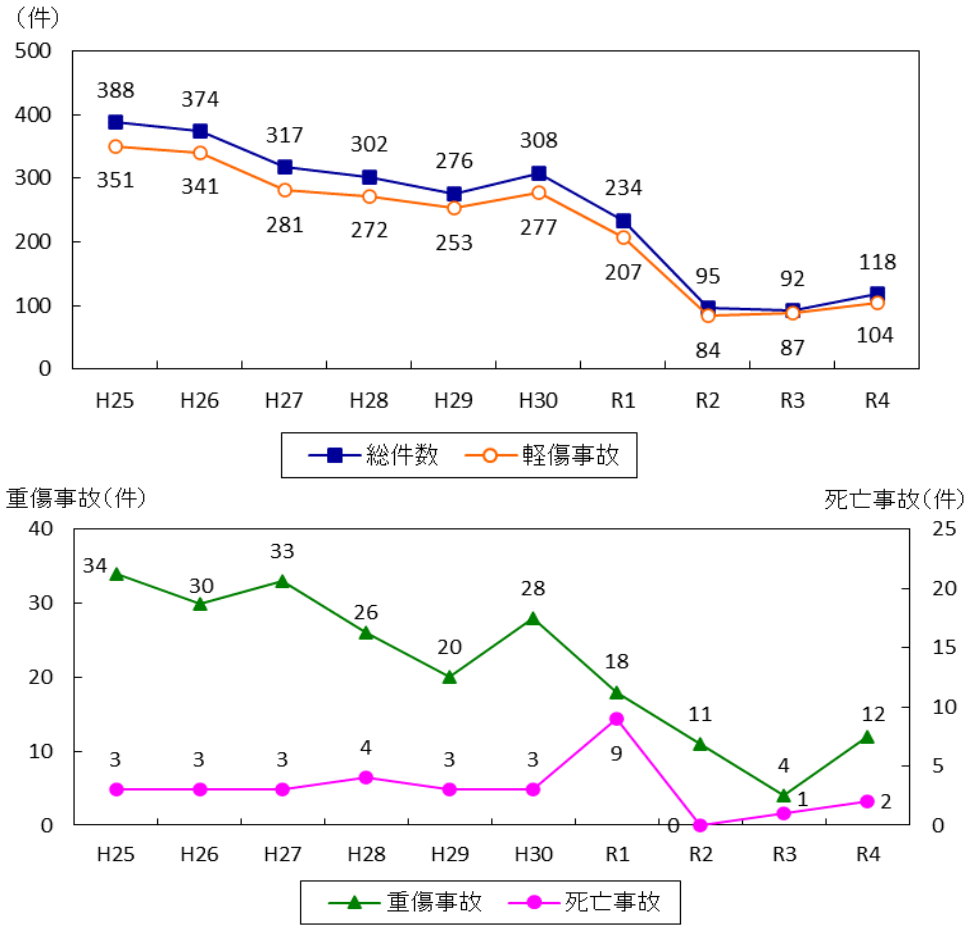
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

２－２．貸切バスの交通事故

（１） 貸切バスの交通事故件数、交通死傷事故件数の推移

貸切バスの交通事故件数について、総件数、軽傷事故件数、重傷事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は前年と比べて総件数、軽傷事故件数、重傷事故件数、死亡事故件数の全てで増加している。また、交通死亡事故件数は令和３年は１件であったが、令和４年は２件となっている。

〔図 45〕　貸切バスの事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 41〕　貸切バスの事故件数の推移（件）

区分 / 年	総件数	軽傷事故	重傷事故	死亡事故
H25	388	351	34	3
H26	374	341	30	3
H27	317	281	33	3
H28	302	272	26	4
H29	276	253	20	3
H30	308	277	28	3
R1	234	207	18	9
R2	95	84	11	0
R3	92	87	4	1
R4	118	104	12	2

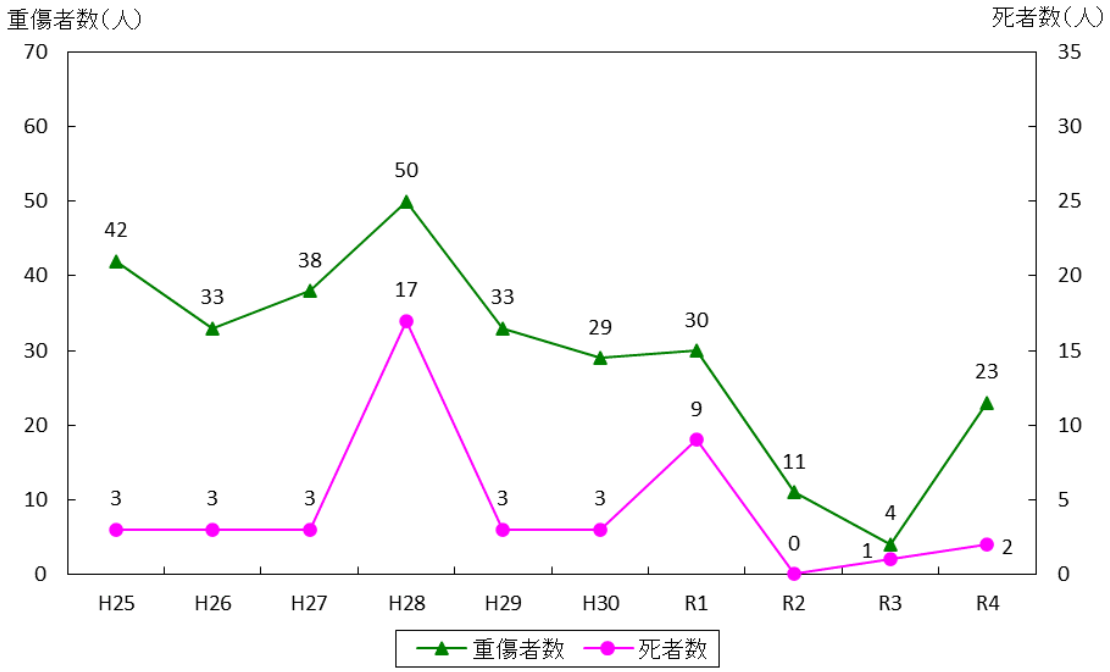
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 貸切バス事故の死傷者数の推移

貸切バスによる交通事故の重傷者数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は前年に比べて重傷者数が大きく増加した。死者数は、令和３年は１人であったが、令和４年は２人となっている。

※平成28年は軽井沢スキーバス事故の影響により増加

〔図 46〕　貸切バス事故の死傷者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 42〕　貸切バス事故の死傷者数の推移（人）

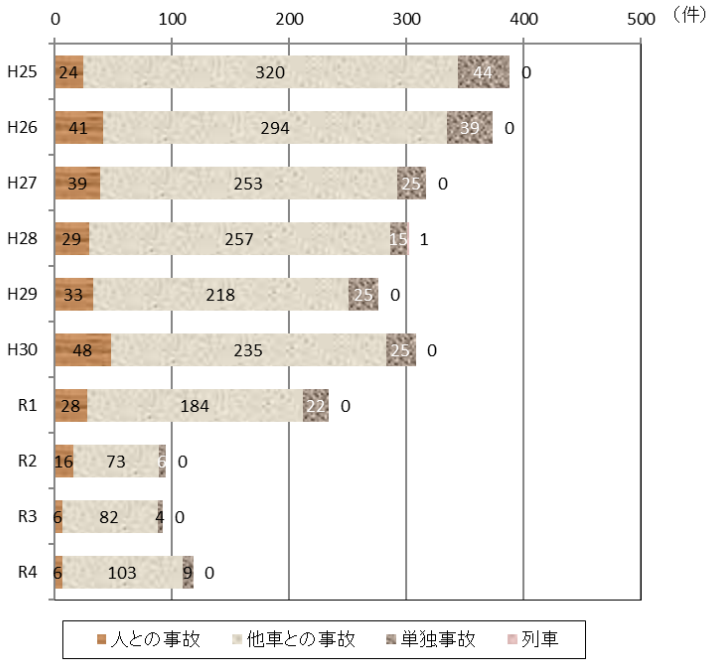
区分 / 年	死傷者合計	軽傷者数	重傷者数	死者数
H25	745	700	42	3
H26	623	587	33	3
H27	565	524	38	3
H28	625	558	50	17
H29	468	432	33	3
H30	431	399	29	3
R1	382	343	30	9
R2	133	122	11	0
R3	120	115	4	1
R4	193	168	23	2

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） 貸切バスの事故類型別交通事故件数の推移

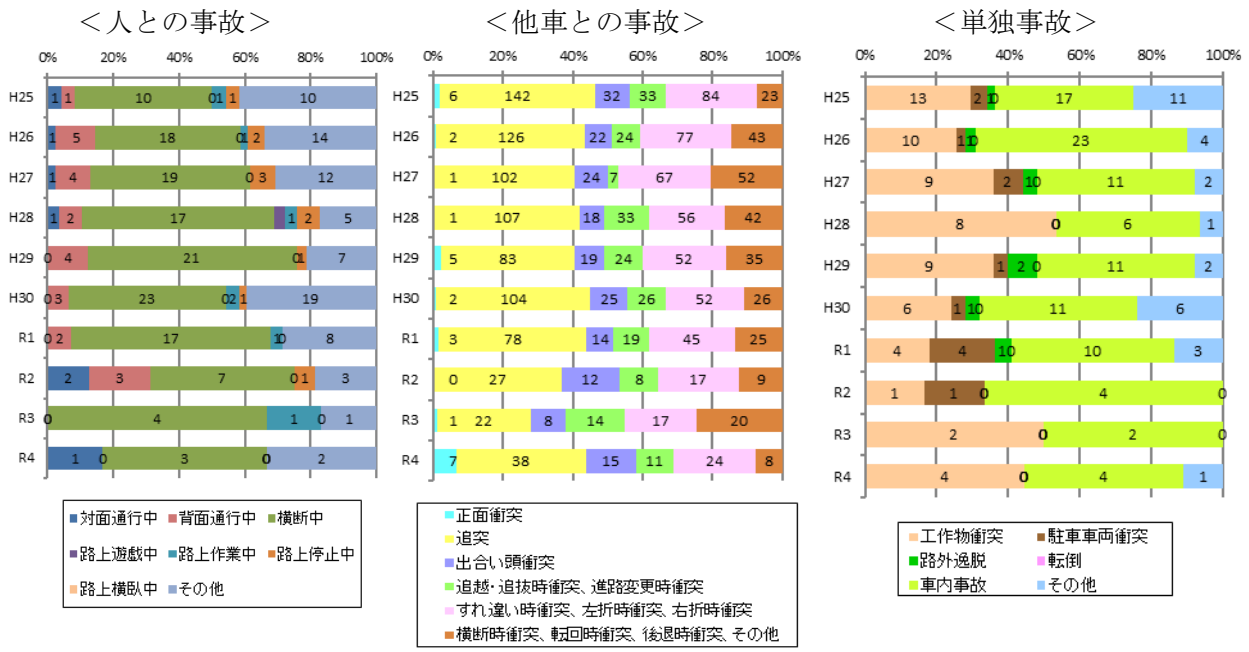
貸切バスの交通事故を事故の種類で類型化すると、他車との事故が多く、約87%を占めている。このうち、約37%が追突事故である。

〔図 47〕 貸切バスの事故類型別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 48〕 貸切バスの事故類型別交通事故件数の内訳（件）

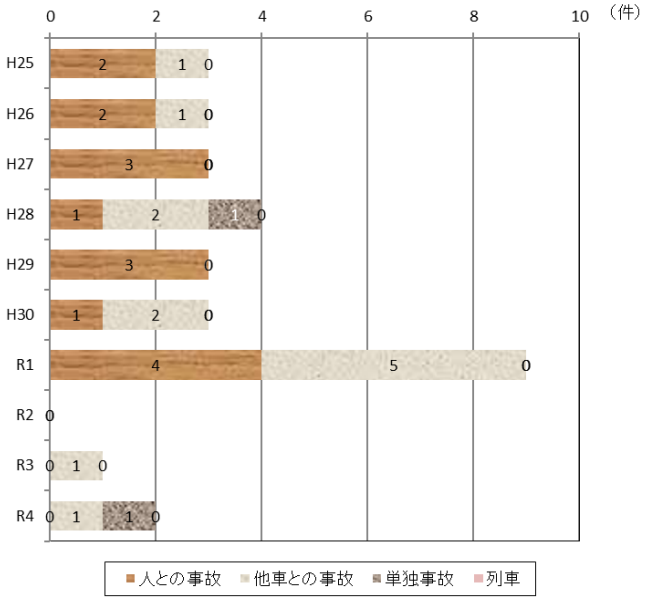


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（４） 貸切バスの事故類型別交通死亡事故件数の推移

貸切バスの交通死亡事故件数は令和３年は１件であったが、令和４年は２件で、他車との事故、単独事故がそれぞれ１件であった。

〔図 49〕 貸切バスの事故類型別交通死亡事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（５） 貸切バスの事故類型別交通死亡事故件数の内訳（他車との事故）

貸切バスの交通死亡事故のうち他車との事故について、目立った特徴は見られない。

〔表 43〕 貸切バスの事故類型別交通死亡事故件数の内訳の推移（件）（他車との事故）

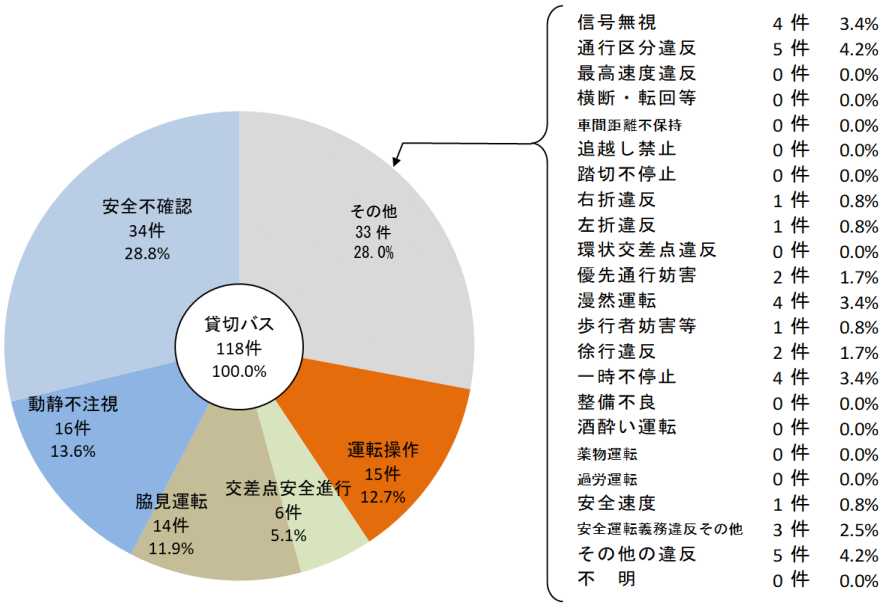
区分 / 年	正面衝突	追突	出合い頭衝突	追越・追抜時衝突	すれ違い時衝突、左折時衝突、右折時衝突	その他
H25	0	1	0	0	0	0
H26	0	0	1	0	0	0
H27	0	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	1	1	0
H29	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	1	1	0	0
R1	0	2	1	1	0	1
R2	0	0	0	0	0	0
R3	0	0	0	0	1	0
R4	0	0	1	0	0	0

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（６） 貸切バスの事故の法令違反別の交通事故件数の割合

貸切バスの法令違反別の事故件数をみると、「安全不確認」34件（28.8%）、「動静不注意」16件（13.6%）、「脇見運転」14件（11.9%）、「運転操作」15件（12.7%）、「交差点安全進行」６件（5.1%）といった法令違反の交通事故が多い。

〔図 50〕　貸切バスの法令違反別の交通事故件数の割合（令和４年）

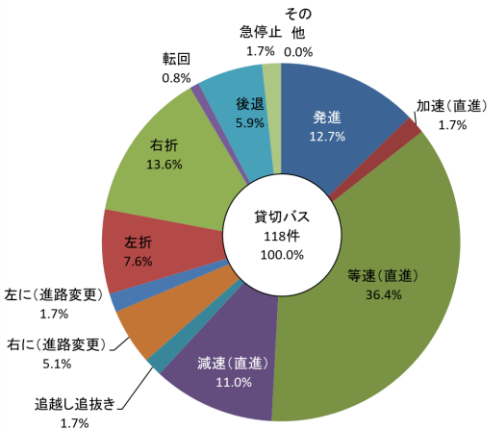


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（７） 貸切バスの行動類型別交通事故件数の割合

貸切バスの交通事故をバスの動きで類型化すると、等速（直進）時と右折時が多く、合計で50%を占めている。

〔図 51〕 貸切バスの行動類型別交通事故件数の割合（令和４年）



行動類型	件数	割合
発進	15 件	12.7%
加速（直進）	2 件	1.7%
等速（直進）	43 件	36.4%
減速（直進）	13 件	11.0%
追越し追抜き	2 件	1.7%
右に（進路変更）	6 件	5.1%
左に（進路変更）	2 件	1.7%
左折	9 件	7.6%
右折	16 件	13.6%
転回	1 件	0.8%
後退	7 件	5.9%
横断	0 件	0.0%
蛇行	0 件	0.0%
逆走	0 件	0.0%
急停止	2 件	1.7%
停止	0 件	0.0%
駐車（運転者在）	0 件	0.0%
その他	0 件	0.0%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（８） 貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数

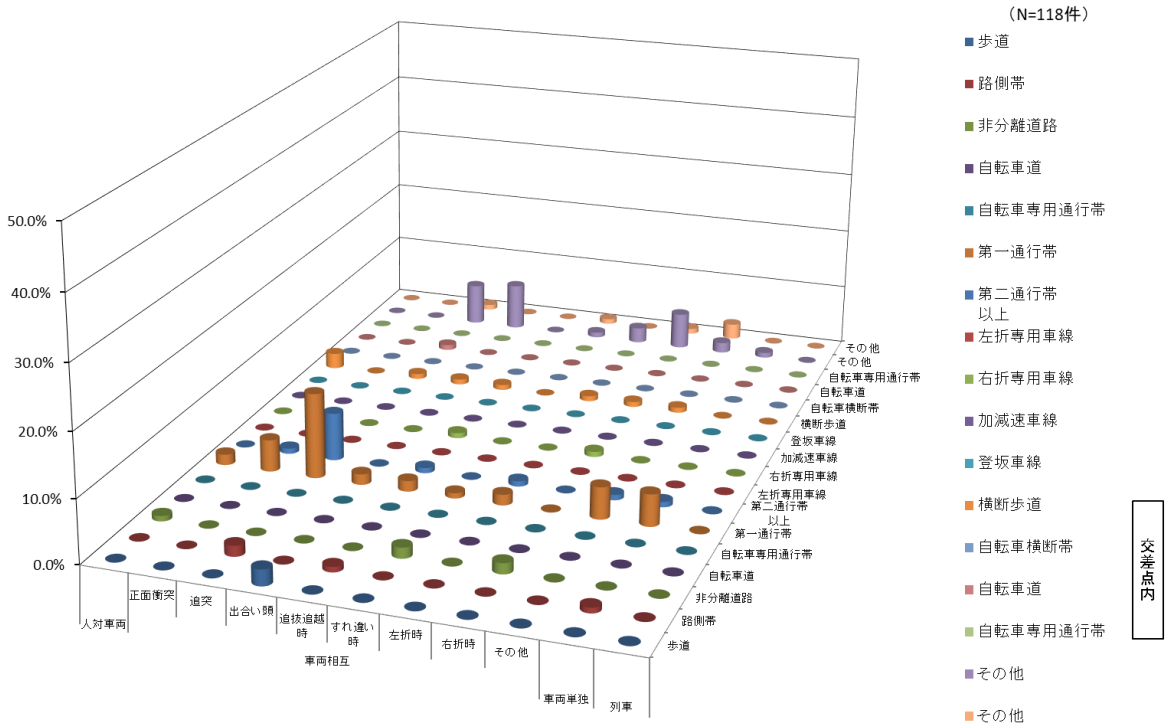
貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数と構成比をそれぞれ表44と図52に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表45と図53に示す。第一通行帯での追突事故が最も多く16件（13.6%）となっている。

〔表 44〕 貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	路側帯	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	4
	非分離道路	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	5
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	2	6	16	2	2	1	2	0	6	6	0	43
	第二通行帯以上	0	1	9	0	1	0	1	0	1	1	0	14
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右折専用車線	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 横断歩道	3	0	1	1	1	0	1	1	1	0	0	9
	交差点内 自転車横断帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 自転車道	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	交差点内 自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 その他	0	0	8	9	0	1	3	7	2	1	0	31
その他		0	0	1	0	0	1	0	1	3	0	0	6
合計		6	7	38	15	6	5	7	12	13	9	0	118

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 52〕 貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数の構成比（%）（令和４年）



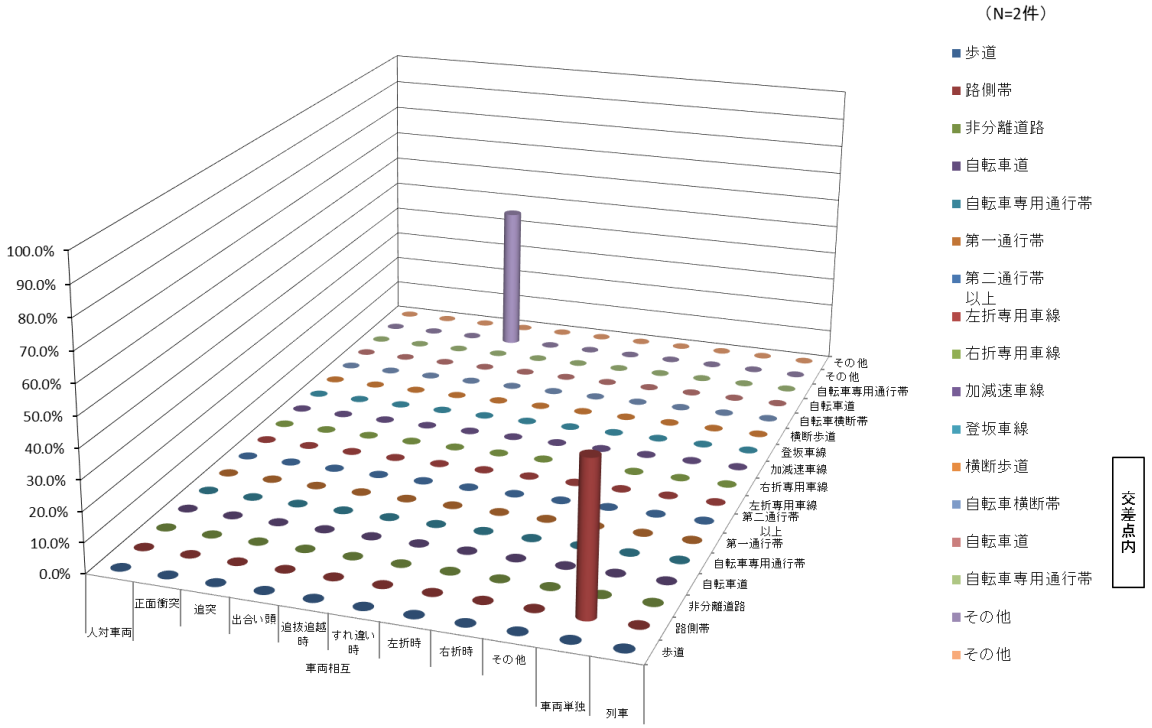
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 45〕　貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	非分離道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第二通行帯以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交差点内	横断歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車横断帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 53〕　貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数の構成比（%）（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（９） 貸切バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数

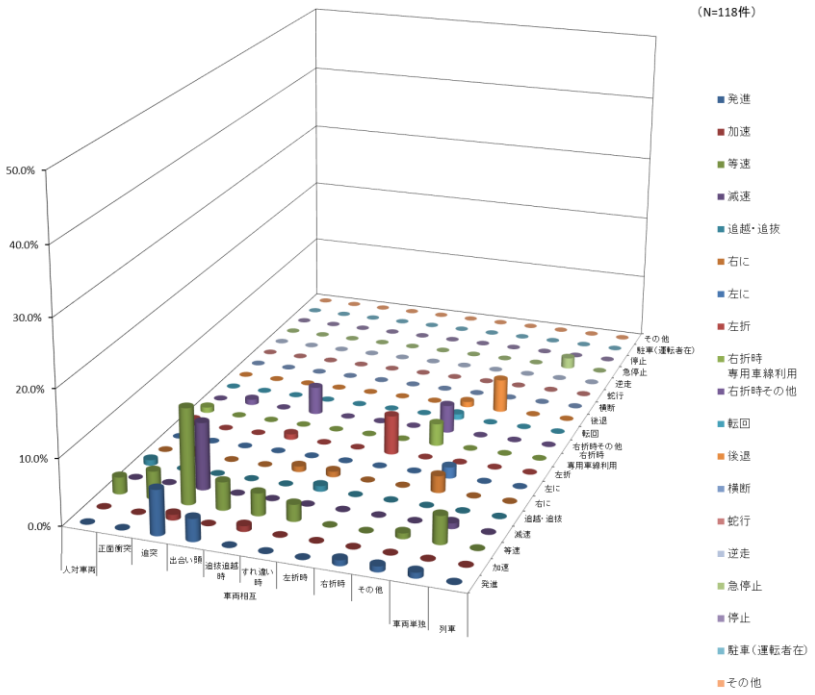
貸切バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数と構成比をそれぞれ表46と図54に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表47と図55に示す。等速直進時の追突事故が最も多く17件（14.4%）となっている。

〔表 46〕 貸 切 バスの事故類型別、行動類型事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
発進		0	0	8	4	0	0	0	1	1	1	0	15
直進	加速	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	等速	3	5	17	5	4	3	0	0	1	5	0	43
	減速	0	0	12	0	0	0	0	0	0	1	0	13
追越・追抜		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
進路変更	右に	0	1	0	0	1	1	0	0	3	0	0	6
	左に	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
左折		1	0	0	1	0	0	7	0	0	0	0	9
右折時	専用車線利用	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	5
	その他	0	1	0	5	0	0	0	5	0	0	0	11
転回		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
後退		0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	7
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車（運転者在）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		6	7	38	15	6	5	7	12	13	9	0	118

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 54〕 貸切バスの事故類型別、行動類型別事故件数の構成比（%）（令和４年）



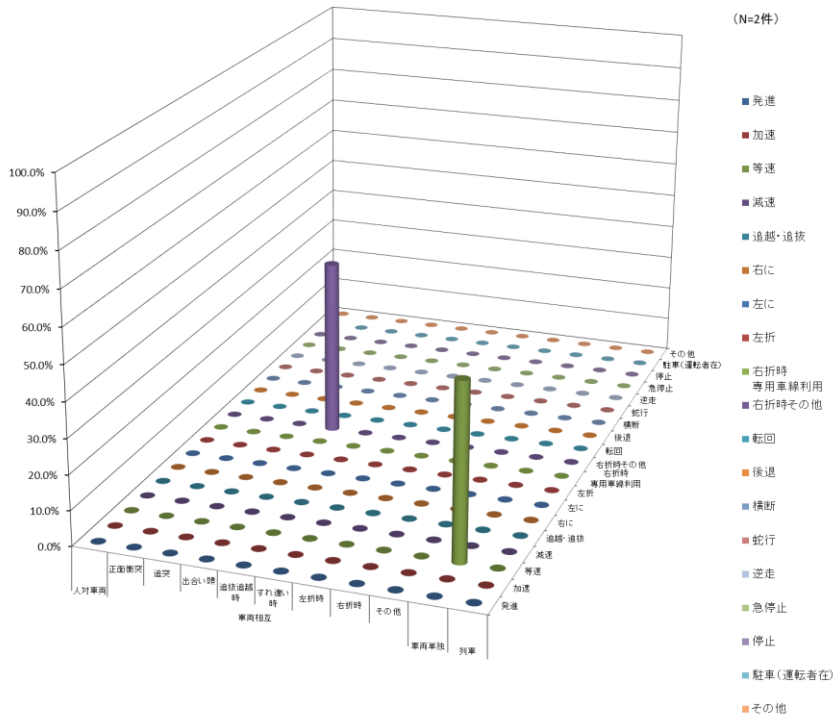
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 47〕　貸切バスの事故類型別、行動類型死亡事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
発進		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直進	加速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	等速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
追越・追抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
左折		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
右折時	専用車線利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車（運転者在）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 55〕　貸切バスの事故類型別、行動類型別死亡事故件数の構成比（%）（令和４年）

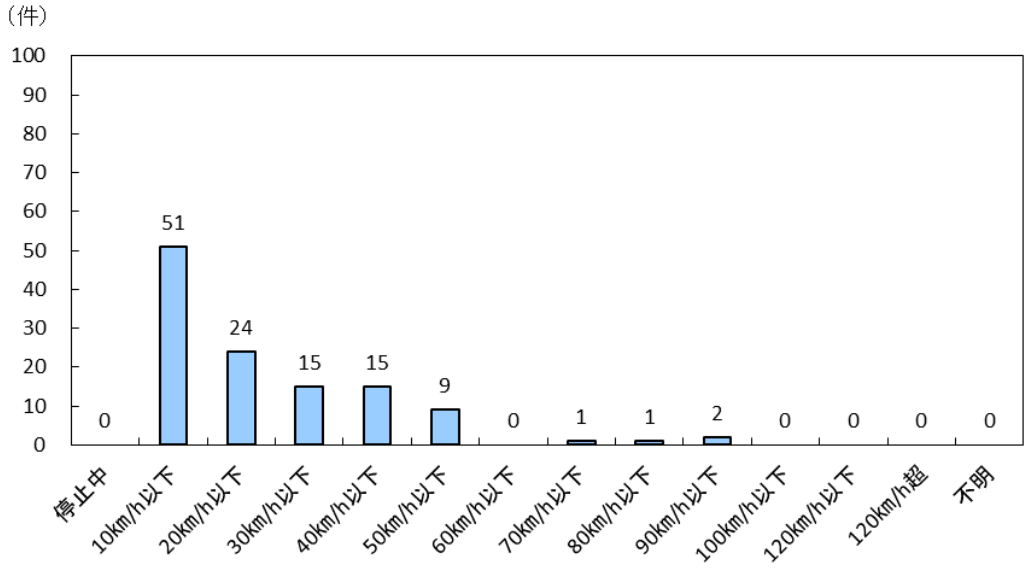


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（10） 貸切バスの危険認知速度別の交通事故件数

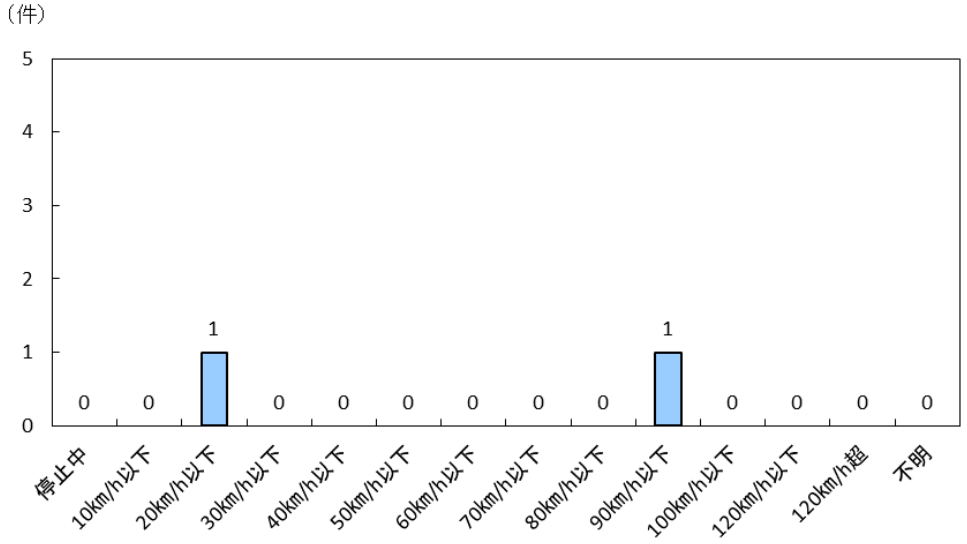
貸切バスの危険認知速度別の交通事故件数は、10km/h以下で51件と最も多く発生しており、次いで10km/h～20km/h以下で24件発生している。また、交通死亡事故の２件は、10km/h～20km/h以下と80km/h～90km/h以下で発生している。

〔図 56〕　貸切バスの危険認知速度別の交通事故件数（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 57〕　貸切バスの危険認知速度別の交通死亡事故件数（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（11） 貸切バスの追突事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布

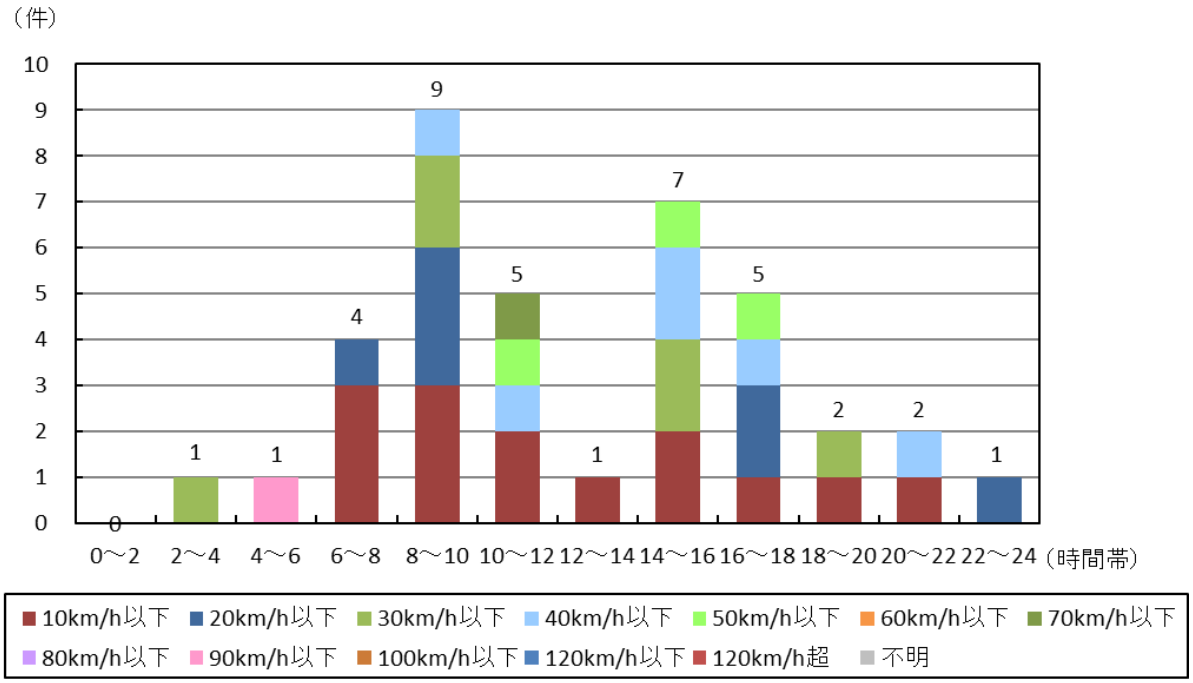
貸切バスの追突事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布をみると、８時～９時台の時間帯が最も多く、９件発生している。

〔表 48〕 貸切バスの追突事故件数危険認知速度別発生時間帯分布（件）（令和４年）

	時間帯												合計
	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
10km/h以下	0	0	0	3	3	2	1	2	1	1	1	0	14
20km/h以下	0	0	0	1	3	0	0	0	2	0	0	1	7
30km/h以下	0	1	0	0	2	0	0	2	0	1	0	0	6
40km/h以下	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	1	0	6
50km/h以下	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3
60km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70km/h以下	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
80km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90km/h以下	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
100km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	1	4	9	5	1	7	5	2	2	1	38

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 58〕 貸切バスの追突事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（件）（令和４年）



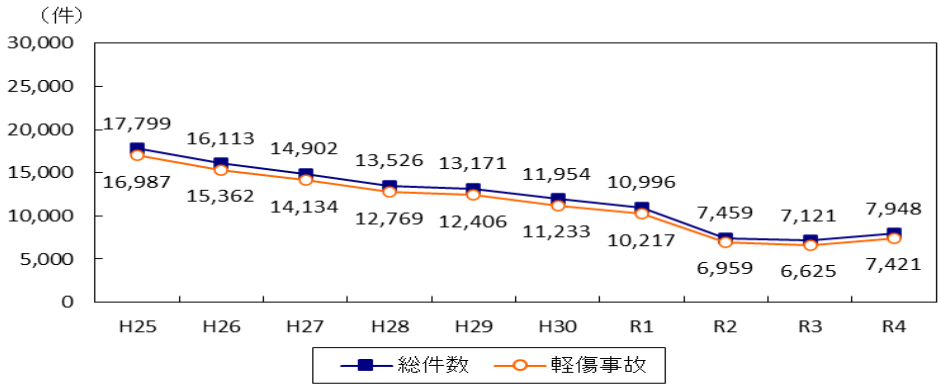
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

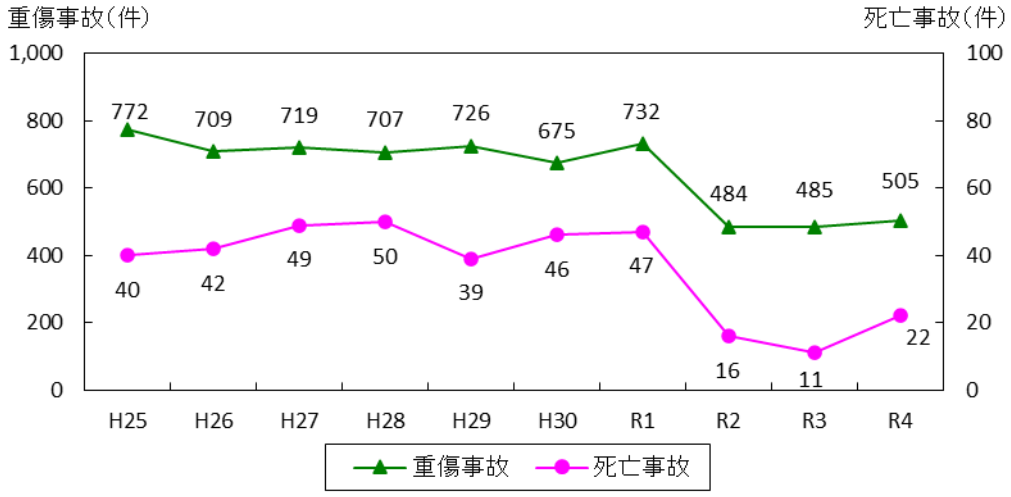
３．タクシーの交通事故

（１） タクシーの交通事故件数、交通死傷事故件数の推移

タクシーの交通事故件数について、総件数、軽傷事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は増加に転じた。交通死亡事故件数、重傷事故件数はともに令和２年に大幅に減少したのち、令和４年は前年と比べて交通死亡事故件数が11件増加し、重傷事故件数は20件増加した。

〔図 59〕　タクシーの交通事故件数の推移





出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 49〕　タクシーの交通事故件数の推移（件）

区分 / 年	総件数	軽傷事故	重傷事故	死亡事故
H25	17,799	16,987	772	40
H26	16,113	15,362	709	42
H27	14,902	14,134	719	49
H28	13,526	12,769	707	50
H29	13,171	12,406	726	39
H30	11,954	11,233	675	46
R1	10,996	10,217	732	47
R2	7,459	6,959	484	16
R3	7,121	6,625	485	11
R4	7,948	7,421	505	22

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） タクシー事故のうち、同乗者の死傷事故件数

運転者が第１当事者となったタクシー事故の業態別の同乗者の死傷事故件数は、以下の通りであった。

〔表 50〕 タクシー事故のうち、同乗者の死傷事故件数（件）（令和４年）

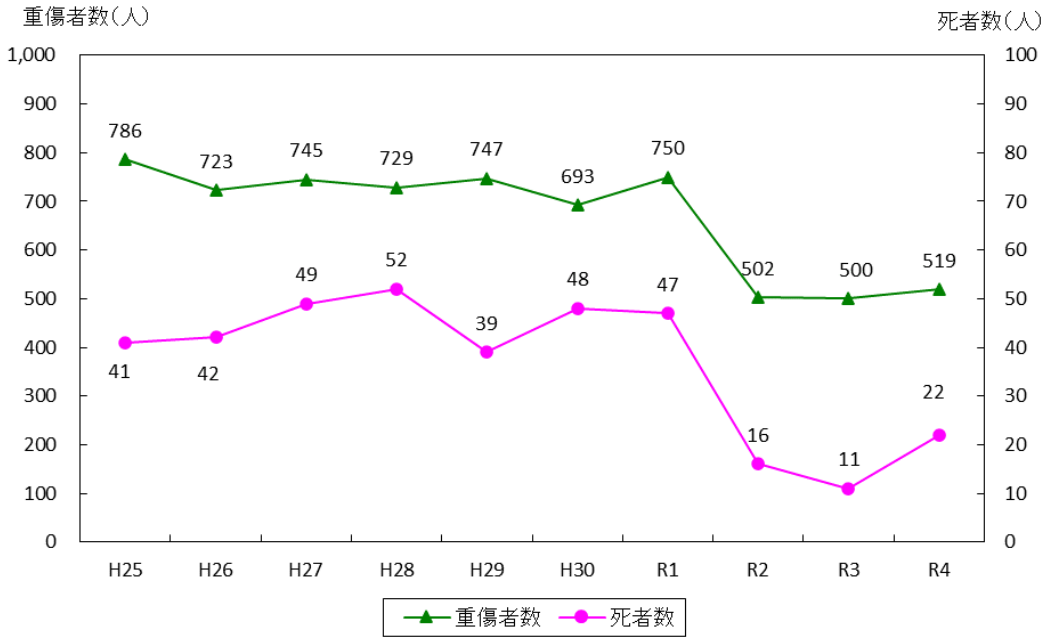
	死亡	重傷	軽傷	合計
法人	0	38	895	933
個人	0	2	34	36
その他乗用	0	2	0	2
計	0	42	929	971

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） タクシー事故の死傷者数の推移

タクシー事故による重傷者数、死者数は近年横ばい傾向で令和２年に大幅に減少したのち、令和４年は前年と比べて重傷者数は19人、死者数は11人増加した。

〔図 60〕　タクシー事故の死傷者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 51〕　タクシーの事故の死傷者数の推移（人）

区分 / 年	死傷者合計	軽傷者数	重傷者数	死者数
H25	20,819	19,992	786	41
H26	18,816	18,051	723	42
H27	17,416	16,622	745	49
H28	15,893	15,112	729	52
H29	15,379	14,593	747	39
H30	14,031	13,290	693	48
R1	12,813	12,016	750	47
R2	8,586	8,068	502	16
R3	8,167	7,656	500	11
R4	9,124	8,583	519	22

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（４） タクシー事故のうち、同乗者の死傷者数

運転者が第１当事者となったタクシー事故の業態別の同乗者の死傷者数は、以下の通りであった。

〔表 52〕タクシー事故のうち、同乗者の死傷者数（人）（令和４年）

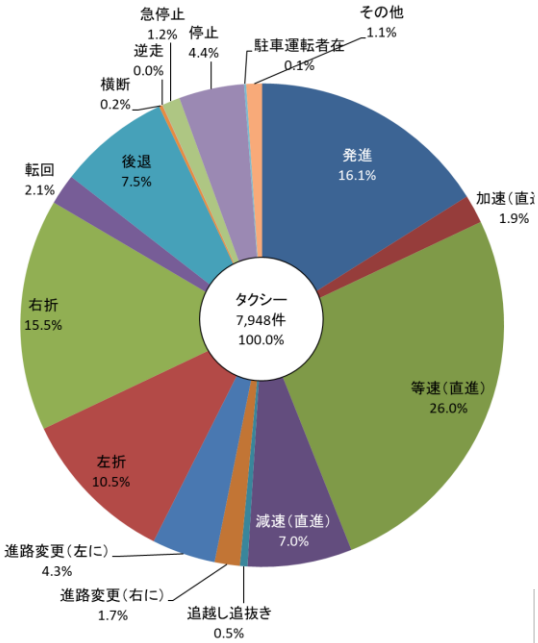
	死亡	重傷	軽傷	合計
法人	0	42	1,102	1,144
個人	0	2	43	45
その他乗用	0	2	0	2
計	0	46	1,145	1,191

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（５） タクシーの行動類型別交通事故件数の割合

タクシーの交通事故をタクシーの動きで類型化すると、等速（直進）時、発進時や右折時が多く、合計で約60%を占めている。

〔図 61〕 タクシーの行動類型別交通事故件数の割合（令和４年）



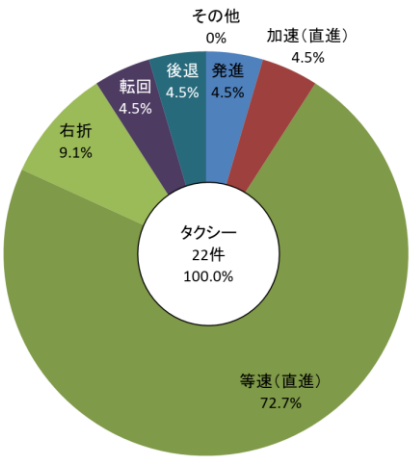
行動類型	件数	割合
発進	1,277 件	16.1%
加速（直進）	152 件	1.9%
等速（直進）	2,067 件	26.0%
減速（直進）	555 件	7.0%
追越し追抜き	40 件	0.5%
進路変更（右に）	134 件	1.7%
進路変更（左に）	338 件	4.3%
左折	838 件	10.5%
右折	1,233 件	15.5%
転回	163 件	2.1%
後退	594 件	7.5%
横断	18 件	0.2%
蛇行	1 件	0.0%
逆走	1 件	0.0%
急停止	95 件	1.2%
停止	347 件	4.4%
駐車運転者在	11 件	0.1%
その他	84 件	1.1%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（６） タクシーの行動類型別交通死亡事故件数の割合

タクシーの交通死亡事故をタクシーの動きで類型化すると、等速（直進）時が多く、70%を超えている。

〔図 62〕 タクシーの行動類型別交通死亡事故件数の割合（令和４年）



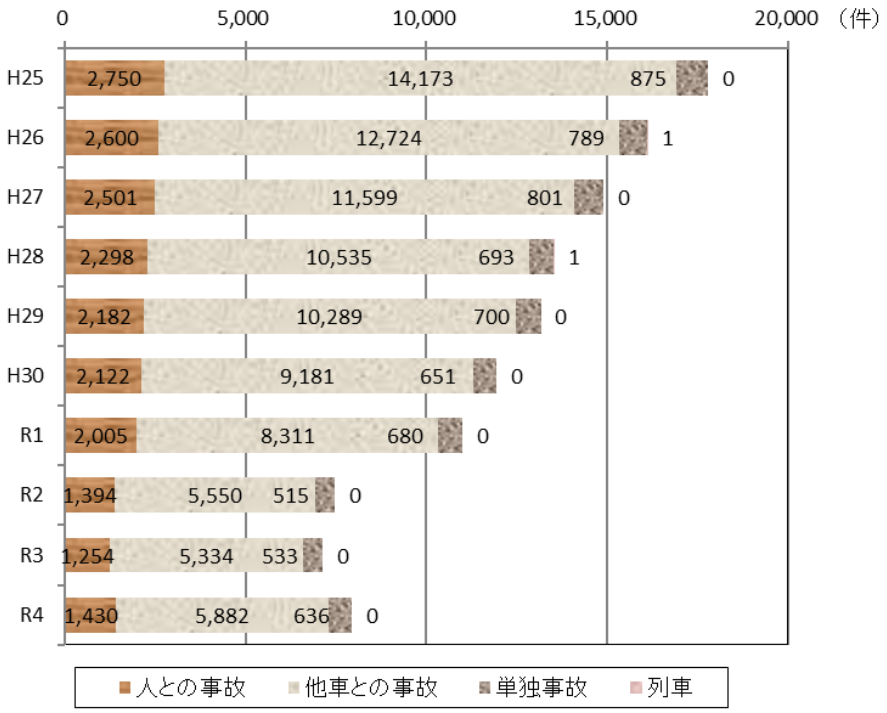
行動類型	件数	割合
発進	1 件	4.5%
加速（直進）	1 件	4.5%
等速（直進）	16 件	72.7%
減速（直進）	0 件	0.0%
追越し追抜き	0 件	0.0%
進路変更（右に）	0 件	0.0%
進路変更（左に）	0 件	0.0%
左折	0 件	0.0%
右折	2 件	9.1%
転回	1 件	4.5%
後退	1 件	4.5%
横断	0 件	0.0%
蛇行	0 件	0.0%
逆走	0 件	0.0%
急停止	0 件	0.0%
停止	0 件	0.0%
駐車運転者在	0 件	0.0%
その他	0 件	0.0%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（７） タクシーの事故類型別交通事故件数の推移

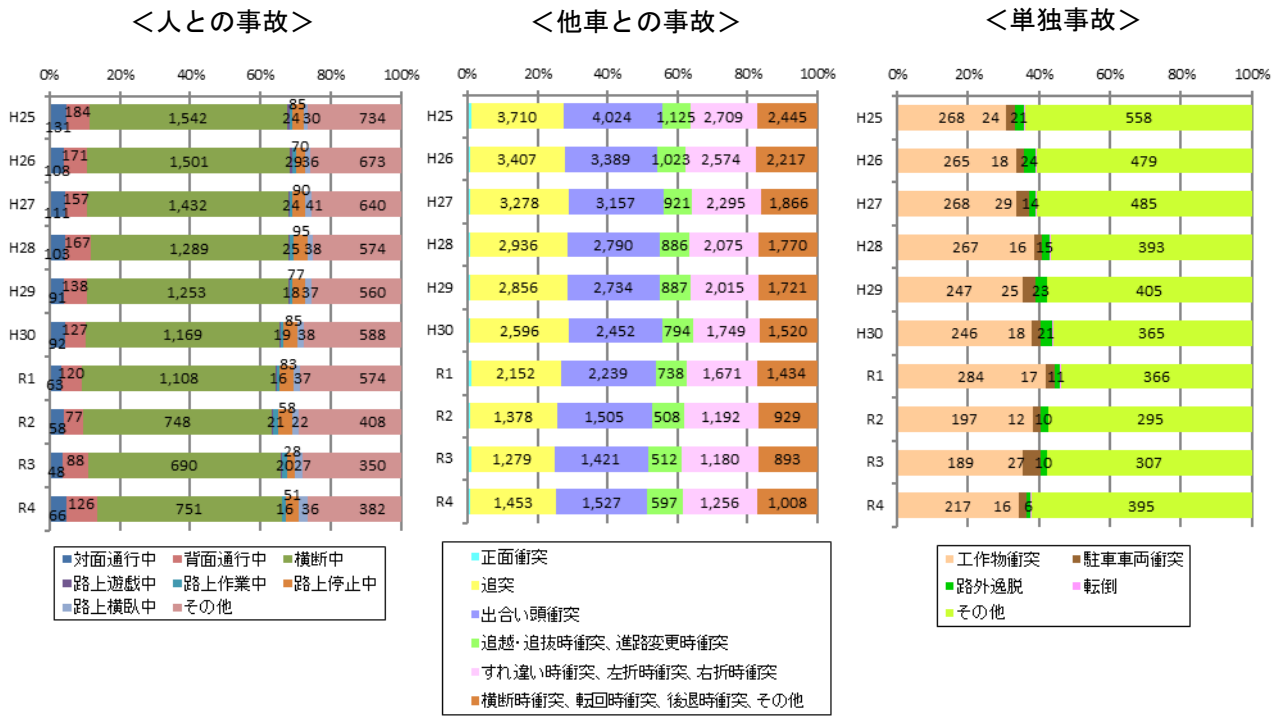
タクシーの交通事故を事故の種類で類型化すると、他車との事故が最も多く5,882件となっており、約74%を占めている。このうち、出合い頭衝突が最も多く、次いで追突となっている。

〔図 63〕 タクシーの事故類型別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 64〕 タクシーの事故類型別交通事故件数の内訳の推移

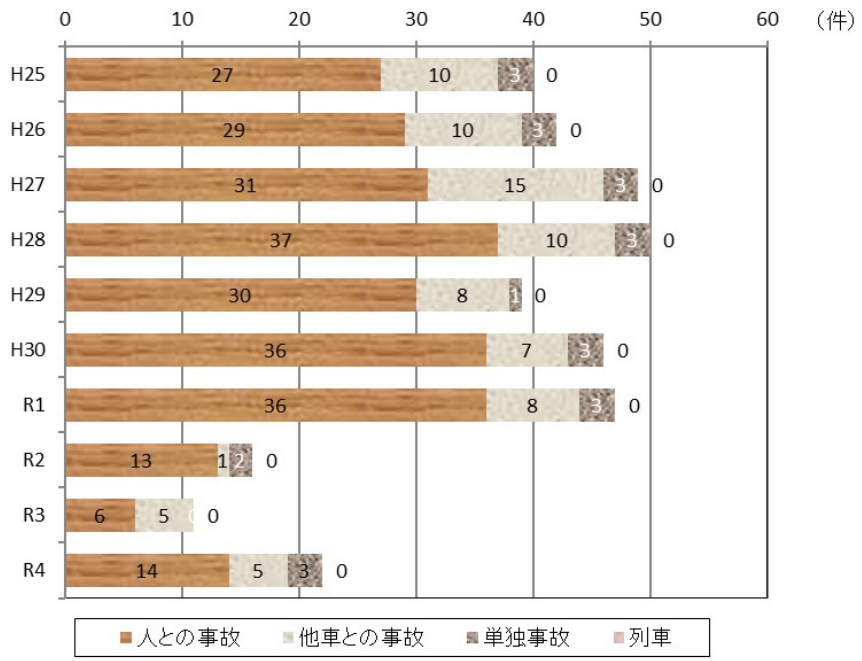


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（８） タクシーの事故類型別交通死亡事故件数の推移

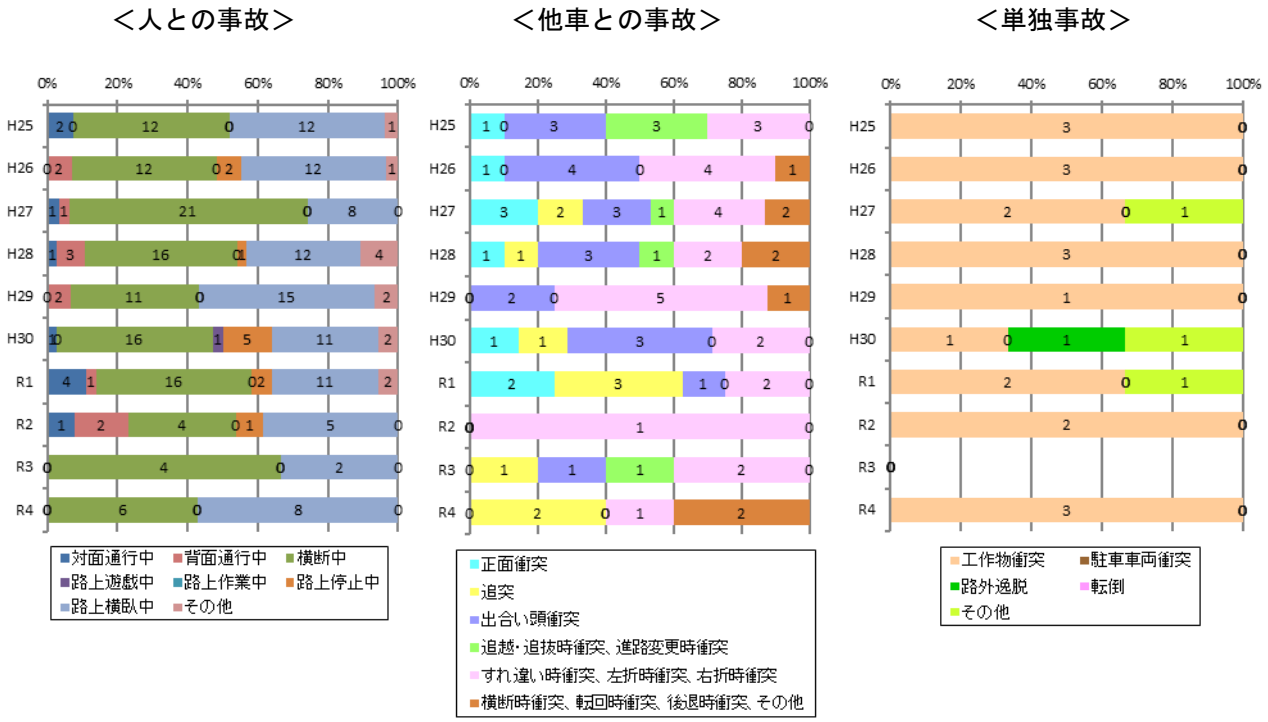
タクシーの交通死亡事故を事故の種類で類型化すると、人との事故が14件、他車との事故が５件となっている。人との事故のうち、道路横臥中の事故が８件と多い。

〔図 65〕 タクシーの事故類型別交通死亡事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 66〕 タクシーの事故類型別交通死亡事故件数の内訳の推移

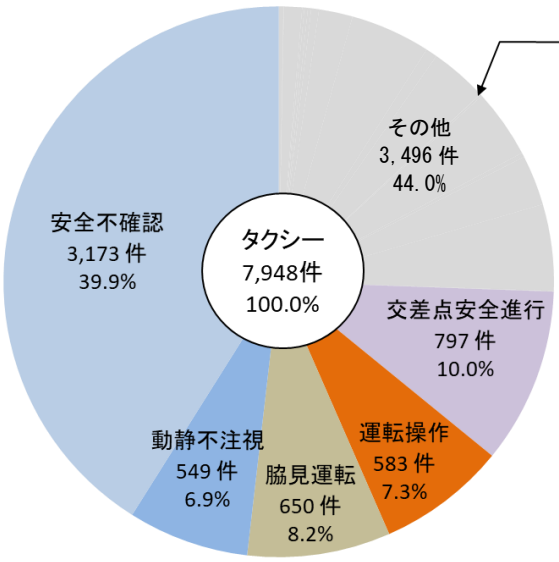


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（９） タクシーの法令違反別の交通事故件数の割合

タクシーでは、「安全不確認」3,173件（39.9%）、「交差点安全進行」797件（10.0%）、「脇見運転」650件（8.2%）といった法令違反の交通事故が多い。

〔図 67〕 タクシーの法令違反別事故件数の割合（令和４年）



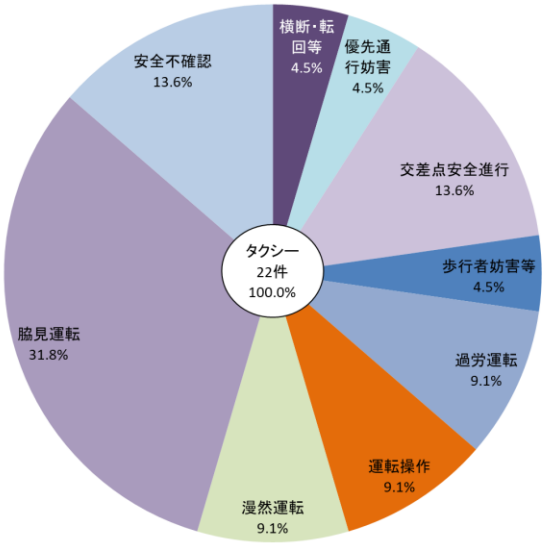
信号無視	220	件	2.8%
通行区分違反	21	件	0.3%
最高速度違反	2	件	0.0%
横断･転回等	82	件	1.0%
車間距離不保持	10	件	0.1%
追越し禁止	16	件	0.2%
踏切不停止	0	件	0.0%
右折違反	15	件	0.2%
左折違反	35	件	0.4%
環状交差点違反	0	件	0.0%
優先通行妨害	153	件	1.9%
歩行者妨害等	364	件	4.6%
徐行違反	52	件	0.7%
一時不停止	260	件	3.3%
整備不良	1	件	0.0%
酒酔い運転	0	件	0.0%
薬物運転	0	件	0.0%
過労運転	10	件	0.1%
漫然運転	312	件	3.9%
安全速度	20	件	0.3%
安全運転義務違反その他	228	件	2.9%
その他の違反	392	件	4.9%
不　明	3	件	0.0%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(10) タクシーの法令違反別の交通死亡事故件数の割合

タクシーでは、「脇見運転」７件（31.8%）、「交差点安全進行」３件（13.6%）、「安全不確認」３件（13.6%）といった法令違反の交通死亡事故が多い。

〔図 68〕 タクシーの法令違反別死亡事故件数の割合（令和４年）

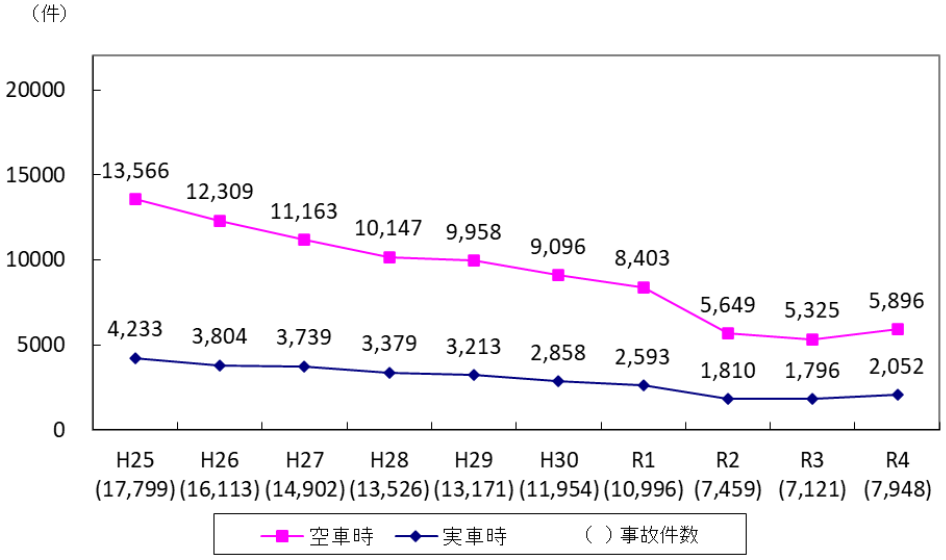


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(11) タクシーの交通事故件数（空車時、実車時）

タクシーの交通事故件数（空車時、実車時）は、空車時が実車時と比べて多く発生している。空車時、実車時ともに令和4年は増加している。

〔図 69〕 タクシーの事故件数（空車時、実車時）の推移



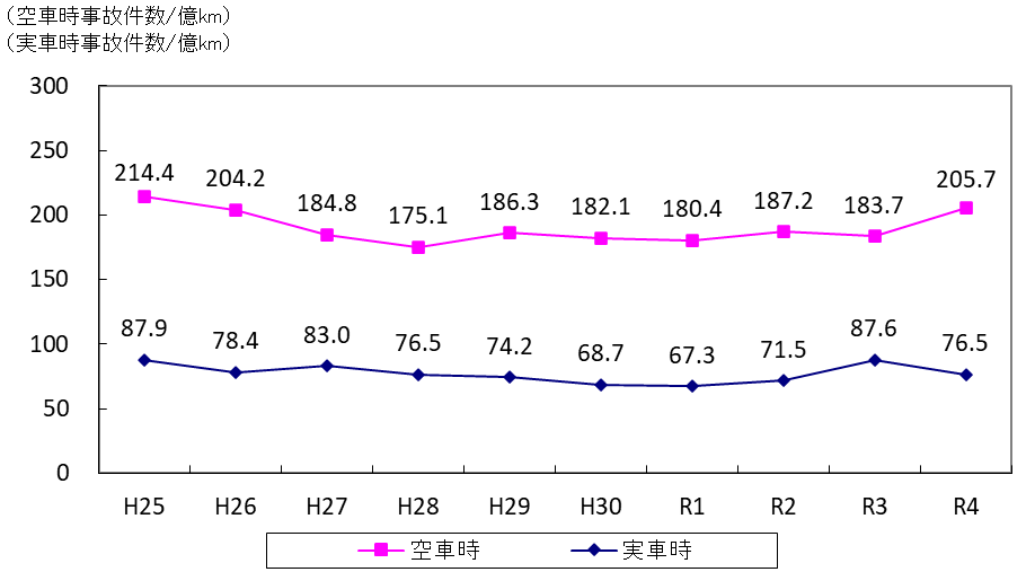
※（ ）内の数字は空車時と実車時を合わせた事故件数，単位は件

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(12) タクシーの走行距離１億キロあたりの交通事故件数（空車時、実車時）

タクシーの走行距離１億キロあたりの交通事故件数（空車時、実車時）は、空車時が実車時と比べて多く発生している。令和４年は前年と比べて、空車時は増加したが、実車時は減少している。

〔図 70〕 タクシーの走行距離１億キロあたりの交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

（13） タクシーの事故類型別、衝突地点別交通事故件数

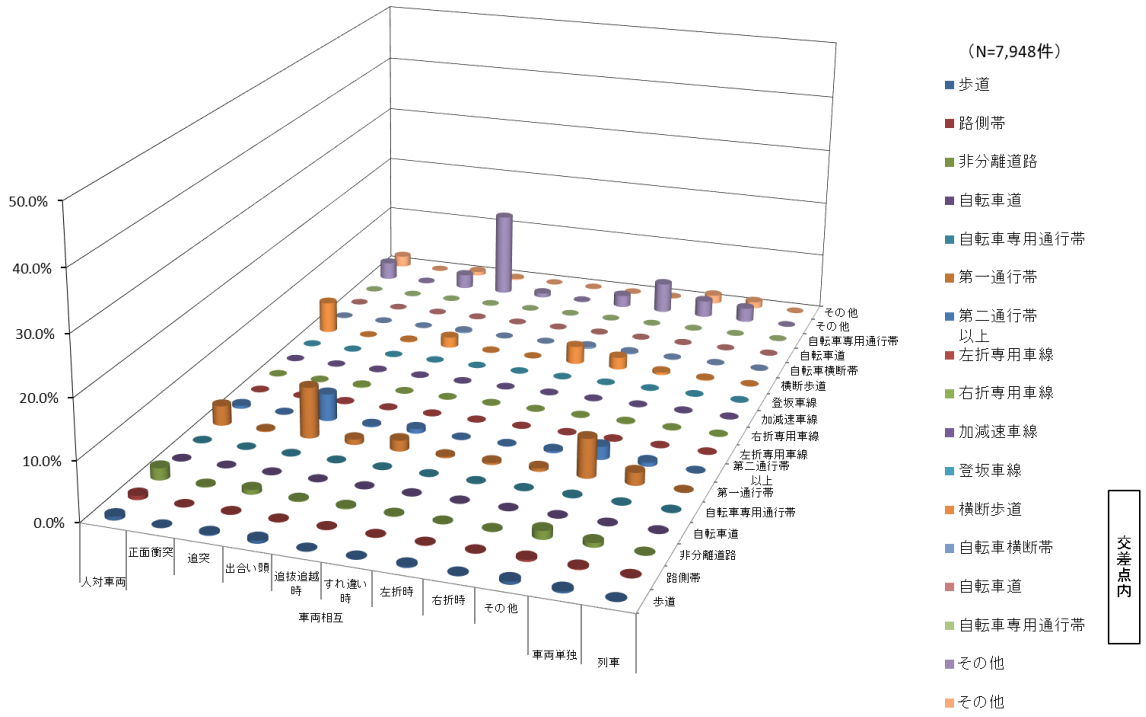
タクシーの事故類型別、衝突地点別交通事故件数と構成比をそれぞれ表53と図71に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表54と図72に示す。交通事故件数については、交差点内（その他）での出合い頭事故が最も多く1,182件（14.9%）、交通死亡事故件数については、交差点内（その他）での人対車両事故が最も多く5件（22.7%）となっている。

〔表 53〕 タクシーの事故類型別、衝突地点別交通事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	50	1	16	41	1	1	16	4	39	24	0	193
	路側帯	57	1	6	5	4	2	1	4	26	15	0	121
	非分離道路	163	12	63	13	15	7	3	5	114	60	0	455
	自転車道	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	4
	自転車専用通行帯	1	0	1	1	0	0	0	0	7	0	0	10
	第一通行帯	270	14	697	73	150	19	28	44	534	173	0	2,002
	第二通行帯以上	42	2	373	19	62	3	4	26	178	55	0	764
	左折専用車線	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	6
	右折専用車線	0	0	14	2	0	0	0	2	5	2	0	25
	加減速車線	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 横断歩道	436	1	13	150	7	0	250	171	36	12	0	1,076
	交差点内 自転車横断帯	0	0	1	18	0	0	26	16	2	1	0	64
	交差点内 自転車道	2	0	0	3	0	0	2	2	1	0	0	10
	交差点内 自転車専用通行帯	0	0	1	3	0	0	2	0	2	0	0	8
	交差点内 その他	248	8	203	1,182	61	6	171	426	237	201	0	2,743
その他		160	2	56	17	1	5	2	7	120	93	0	463
合計		1,430	41	1,453	1,527	301	44	505	707	1,304	636	0	7,948

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 71〕 タクシーの事故類型別、衝突地点別事故件数の構成比（%）（令和４年）



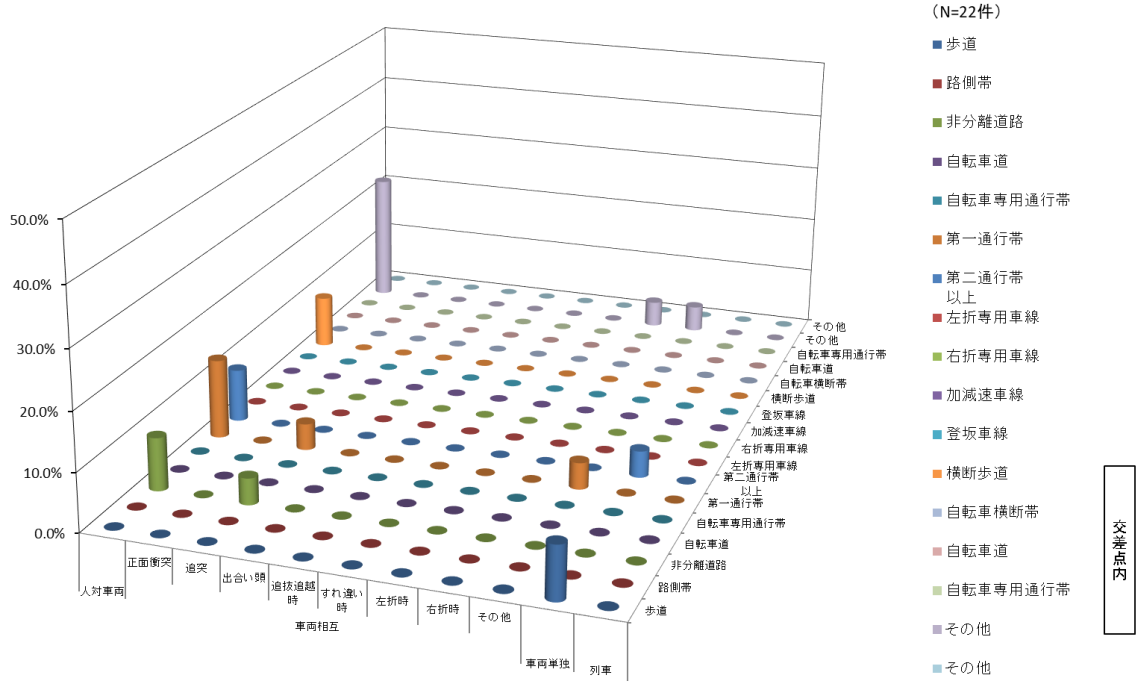
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 54〕　タクシーの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非分離道路	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	5
	第二通行帯以上	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 横断歩道	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	交差点内 自転車横断帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内 その他	5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	7
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		14	0	2	0	0	0	0	1	2	3	0	22

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 72〕 タクシーの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数の構成比（%）（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（14） タクシーの事故類型別、行動類型別交通事故件数

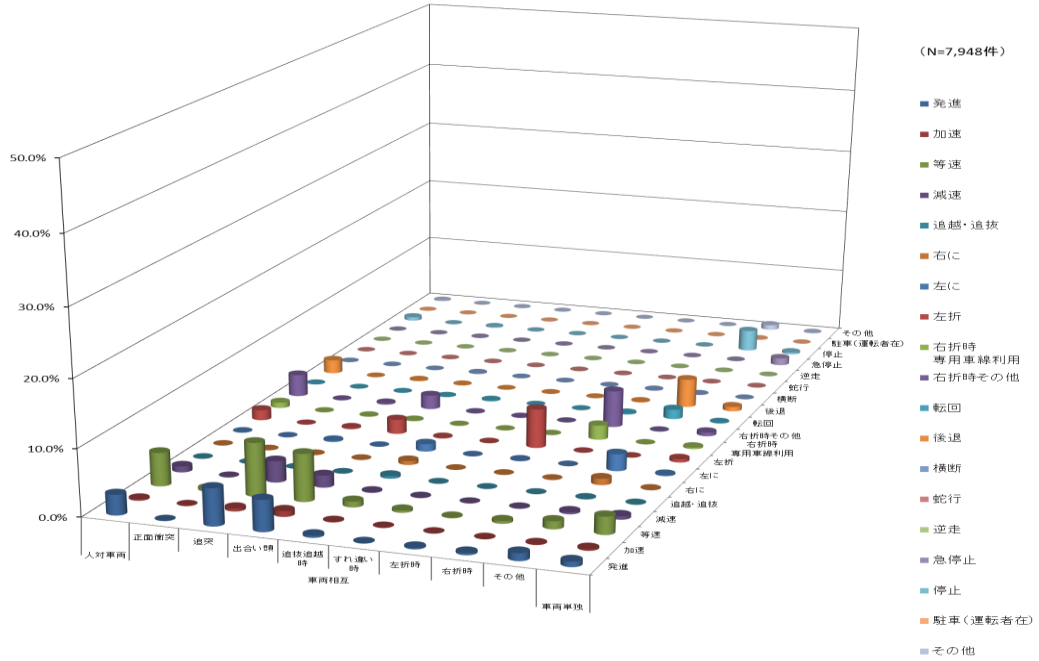
タクシーの事故類型別、行動類型別交通事故件数と構成比をそれぞれ表55と図73に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表56と図74に示す。交通事故件数については、等速直進時の追突事故が最も多く636件（8.0%）、交通死亡事故件数については、等速直進時の人対車両事故が最も多く12件（54.5%）となっている。

〔表 55〕 タクシーの事故類型別、行動類型別交通事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
発進		242	0	443	372	25	3	16	24	90	62	0	1,277
直進	加速	16	1	35	68	5	1	0	1	7	18	0	152
	等速	399	29	636	566	68	27	7	31	93	211	0	2,067
	減速	71	2	255	145	9	5	0	3	24	41	0	555
追越・追抜		1	0	0	0	32	1	0	0	5	1	0	40
進路変更	右に	1	2	3	2	47	0	0	0	76	3	0	134
	左に	4	1	16	0	91	1	8	0	205	12	0	338
左折		126	0	14	175	8	2	474	0	0	39	0	838
右折時	専用車線利用	67	2	5	8	0	0	0	175	0	19	0	276
	その他	270	2	16	171	4	2	0	447	0	45	0	957
転回		4	1	2	5	11	1	0	13	118	8	0	163
後退		169	1	11	4	0	1	0	7	346	55	0	594
横断		0	0	0	9	0	0	0	5	4	0	0	18
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
急停止		0	0	3	0	0	0	0	0	3	89	0	95
停止		47	0	11	1	1	0	0	1	262	24	0	347
駐車（運転者在）		2	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	11
その他		11	0	3	1	0	0	0	0	62	7	0	84
合計		1,430	41	1,453	1,527	301	44	505	707	1,304	636	0	7,948

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 73〕 タクシーの事故類型別、行動類型別交通事故件数の構成比（%）（令和４年）



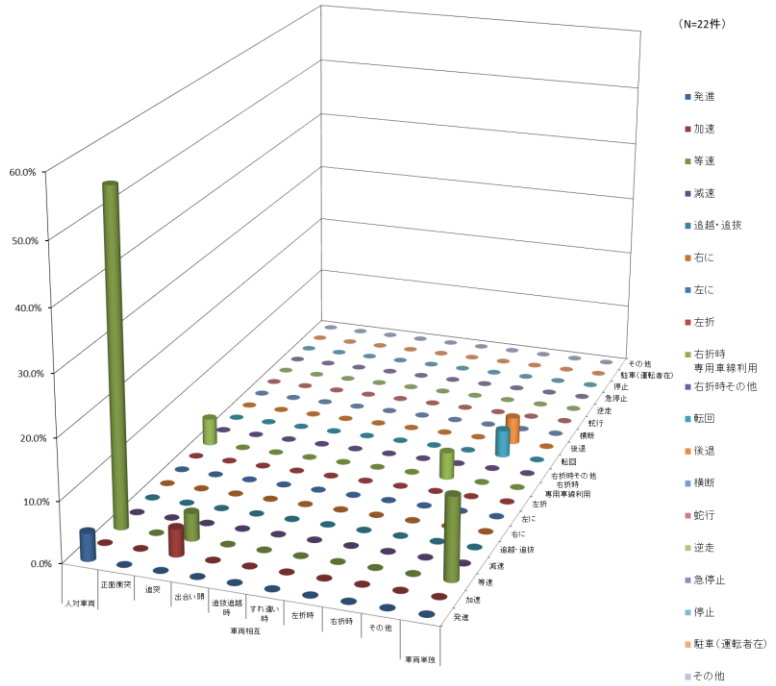
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 56〕　タクシーの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
発進		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
直進	加速	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	等速	12	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	16
	減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
追越・追抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
左折		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
右折時	専用車線利用	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車（運転者在）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		14	0	2	0	0	0	0	1	2	3	0	22

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 74〕 タクシーの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数の構成比（%）（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(15) 管轄運輸支局別のタクシーの出合い頭事故件数

〔表 57〕 タクシーの運輸支局別、出合い頭事故件数（件）（令和４年）

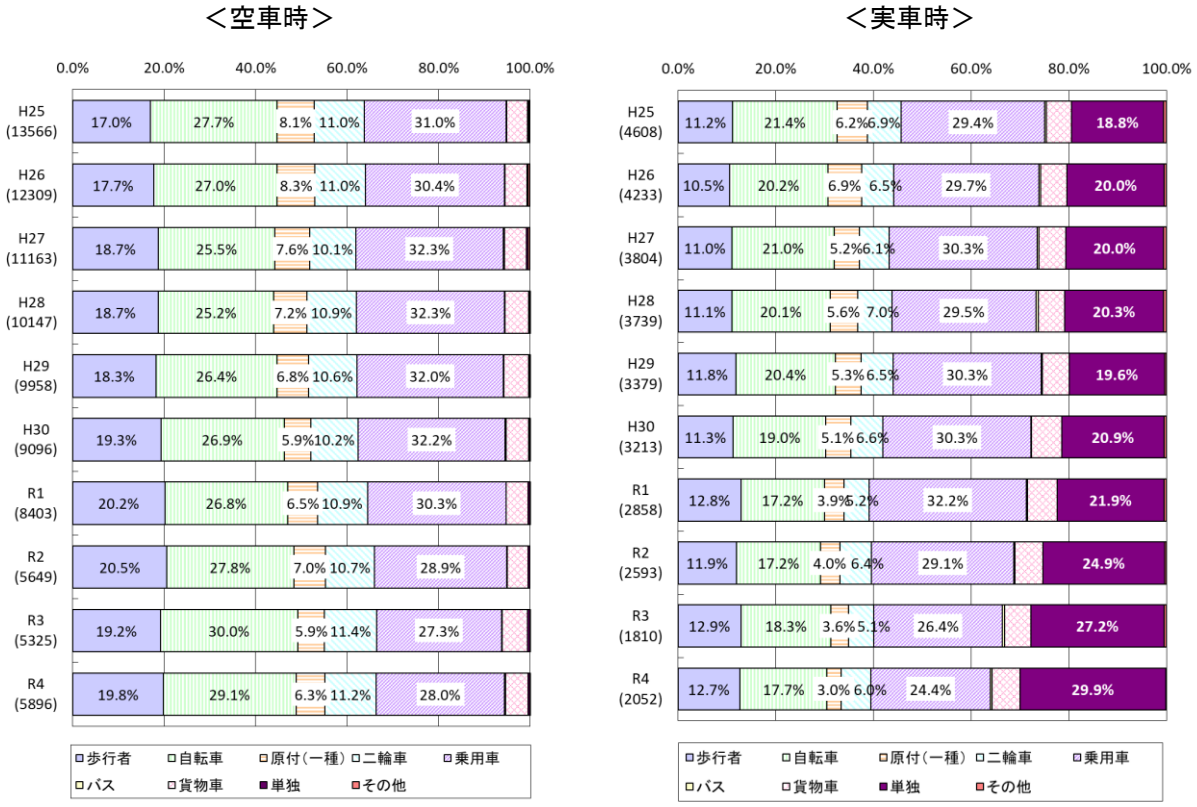
運輸支局等		法人	個人	特定（その他乗用）	合計
北海道	札幌	84	4	0	88
	函館	2	0	0	2
	室蘭	2	0	0	2
	帯広	2	0	0	2
	釧路	1	1	0	2
	北見	0	0	0	0
	旭川	9	0	0	9
	小計	100	5	0	105
東北	宮城	16	0	0	16
	福島	3	0	1	4
	岩手	8	0	0	8
	青森	9	1	0	10
	山形	9	0	0	9
	秋田	4	0	0	4
	小計	49	1	1	51
北陸信越	新潟	4	0	0	4
	長野	11	0	0	11
	石川	5	0	0	5
	富山	1	0	0	1
	小計	21	0	0	21
関東	東京	346	22	3	371
	神奈川	51	1	0	52
	千葉	41	5	1	47
	埼玉	59	0	0	59
	茨城	3	0	2	5
	群馬	9	1	0	10
	栃木	4	1	0	5
	山梨	4	0	0	4
	小計	517	30	6	553
中部	愛知	77	5	0	82
	静岡	46	6	0	52
	岐阜	6	0	1	7
	三重	5	0	0	5
	福井	0	0	0	0
	小計	134	11	1	146
近畿	大阪	235	8	4	247
	京都	26	3	0	29
	兵庫	64	6	0	70
	滋賀	4	0	0	4
	奈良	3	1	0	4
	和歌山	2	0	0	2
	小計	334	18	4	356
中国	広島	22	1	0	23
	鳥取	0	0	0	0
	島根	0	0	1	1
	岡山	7	3	0	10
	山口	7	1	0	8
	小計	36	5	1	42
四国	香川	8	1	0	9
	徳島	2	0	0	2
	愛媛	8	0	0	8
	高知	5	0	1	6
	小計	23	1	1	25
九州	福岡	124	6	0	130
	佐賀	3	2	0	5
	長崎	6	0	0	6
	熊本	11	3	0	14
	大分	9	0	0	9
	宮崎	11	0	0	11
	鹿児島	11	0	0	11
	小計	175	11	0	186
沖縄		32	1	0	33
不明		6	3	0	9
合計		1,427	86	14	1,527

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（16） タクシーの事故の相手方の割合の推移（空車時、実車時）

タクシーの交通事故のうち、実車時に多く見られる単独の事故は、空車時にはほぼ見られない。実車時の単独の事故の割合が緩やかに増加している傾向が見られる。

〔図 75〕　タクシーの事故の相手方の割合の推移



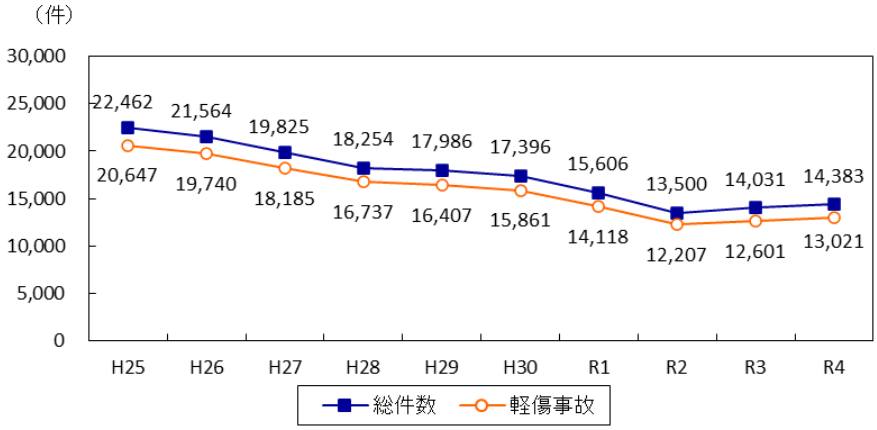
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

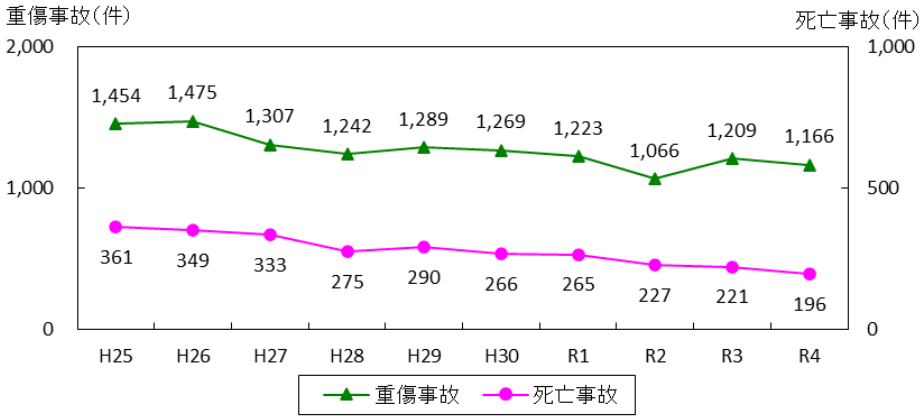
４．トラックの交通事故

（１） トラックの交通事故件数、交通死傷事故件数の推移

トラックの交通事故件数について、総件数、軽傷事故件数は令和２年以降増加傾向にある。重傷事故件数は令和３年に増加したが令和４年は令和３年に比べ減少した。交通死亡事故件数はいずれも近年減少傾向となっている。

〔図 76〕　トラックの交通事故件数の推移





出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 58〕　トラックの交通事故件数の推移（件）

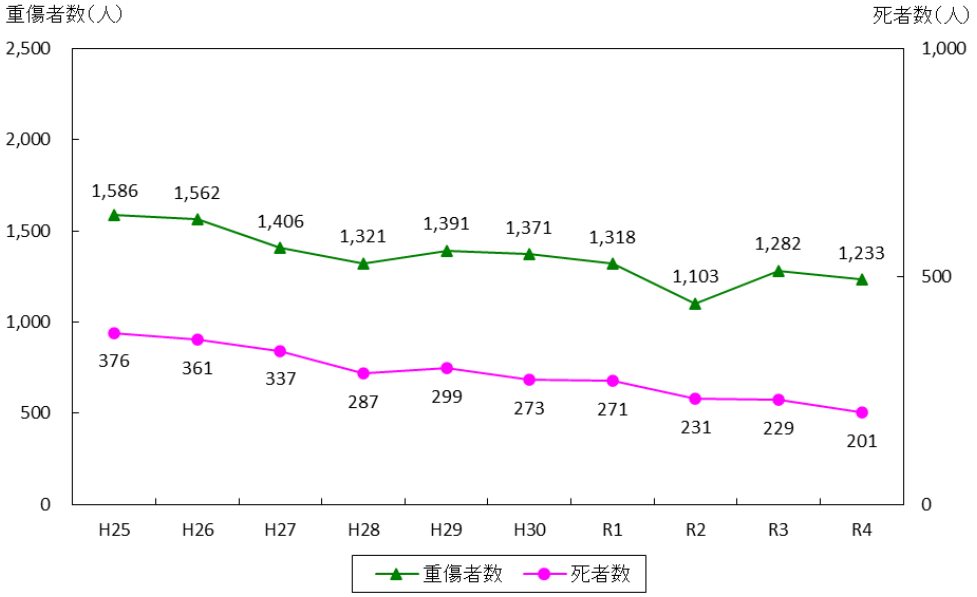
区分 / 年	総件数	軽傷事故	重傷事故	死亡事故
H25	22,462	20,647	1,454	361
H26	21,564	19,740	1,475	349
H27	19,825	18,185	1,307	333
H28	18,254	16,737	1,242	275
H29	17,986	16,407	1,289	290
H30	17,396	15,861	1,269	266
R1	15,606	14,118	1,223	265
R2	13,500	12,207	1,066	227
R3	14,031	12,601	1,209	221
R4	14,383	13,021	1,166	196

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） トラック事故の死傷者数の推移

トラック事故による重傷者数、死者数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は前年と比べて重傷者数、死者数ともに減少した。

〔図 77〕　トラック事故の死傷者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 59〕　トラック事故の死傷者数の推移（人）

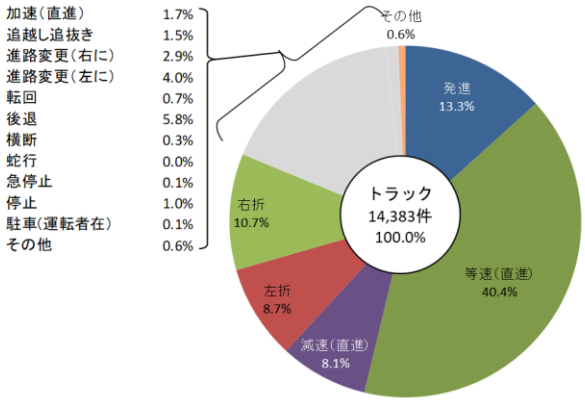
区分 / 年	死傷者合計	軽傷者数	重傷者数	死者数
H25	29,598	27,636	1,586	376
H26	28,422	26,499	1,562	361
H27	25,996	24,253	1,406	337
H28	23,689	22,081	1,321	287
H29	23,218	21,528	1,391	299
H30	22,364	20,720	1,371	273
R1	19,928	18,339	1,318	271
R2	16,765	15,431	1,103	231
R3	17,293	15,782	1,282	229
R4	17,823	16,389	1,233	201

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） トラックの行動類型別交通事故件数の割合

トラックの交通事故をトラックの動きで類型化すると、等速（直進）時が最も多く5,796件となっており、40%を超えている。

〔図 78〕　トラックの行動類型別交通事故件数の割合（令和４年）



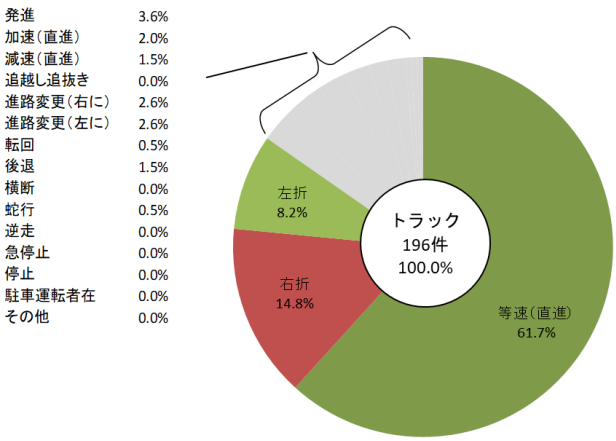
行動類型	件数	割合
発進	2,071 件	14.4%
加速（直進）	204 件	1.4%
等速（直進）	5,796 件	40.3%
減速（直進）	1,239 件	8.6%
追越し追抜き	162 件	1.1%
進路変更（右に）	395 件	2.7%
進路変更（左に）	624 件	4.3%
左折	1,221 件	8.5%
右折	1,423 件	9.9%
転回	123 件	0.9%
後退	814 件	5.7%
横断	30 件	0.2%
蛇行	4 件	0.0%
急停止	7 件	0.0%
停止	162 件	1.1%
駐車(運転者在)	19 件	0.1%
その他	88 件	0.6%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（４） トラックの行動類型別交通死亡事故件数の割合

トラックの交通死亡事故をトラックの動きで類型化すると、等速（直進）時が最も多く121件となっており、約62%となっている。

〔図 79〕　トラックの行動類型別交通死亡事故件数の割合（令和４年）



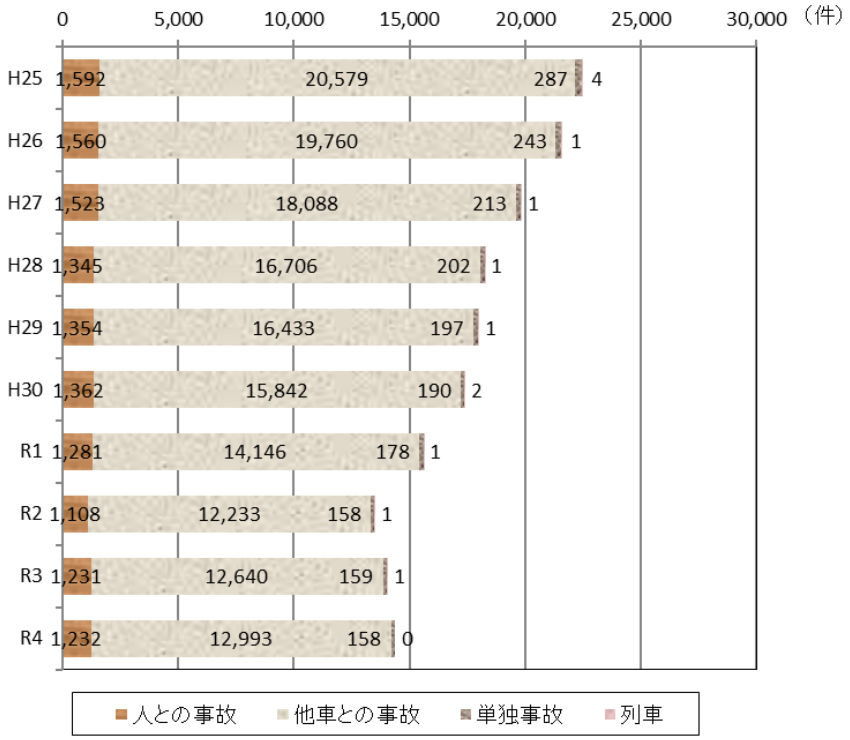
行動類型	件数	割合
発進	7 件	3.6%
加速（直進）	4 件	2.0%
等速（直進）	121 件	61.7%
減速（直進）	3 件	1.5%
追越し追抜き	0 件	0.0%
進路変更（右に）	5 件	2.6%
進路変更（左に）	5 件	2.6%
左折	16 件	8.2%
右折	29 件	14.8%
転回	1 件	0.5%
後退	3 件	1.5%
横断	0 件	0.0%
蛇行	1 件	0.5%
逆走	0 件	0.0%
急停止	0 件	0.0%
停止	0 件	0.0%
駐車(運転者在)	0 件	0.0%
その他	1 件	0.5%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

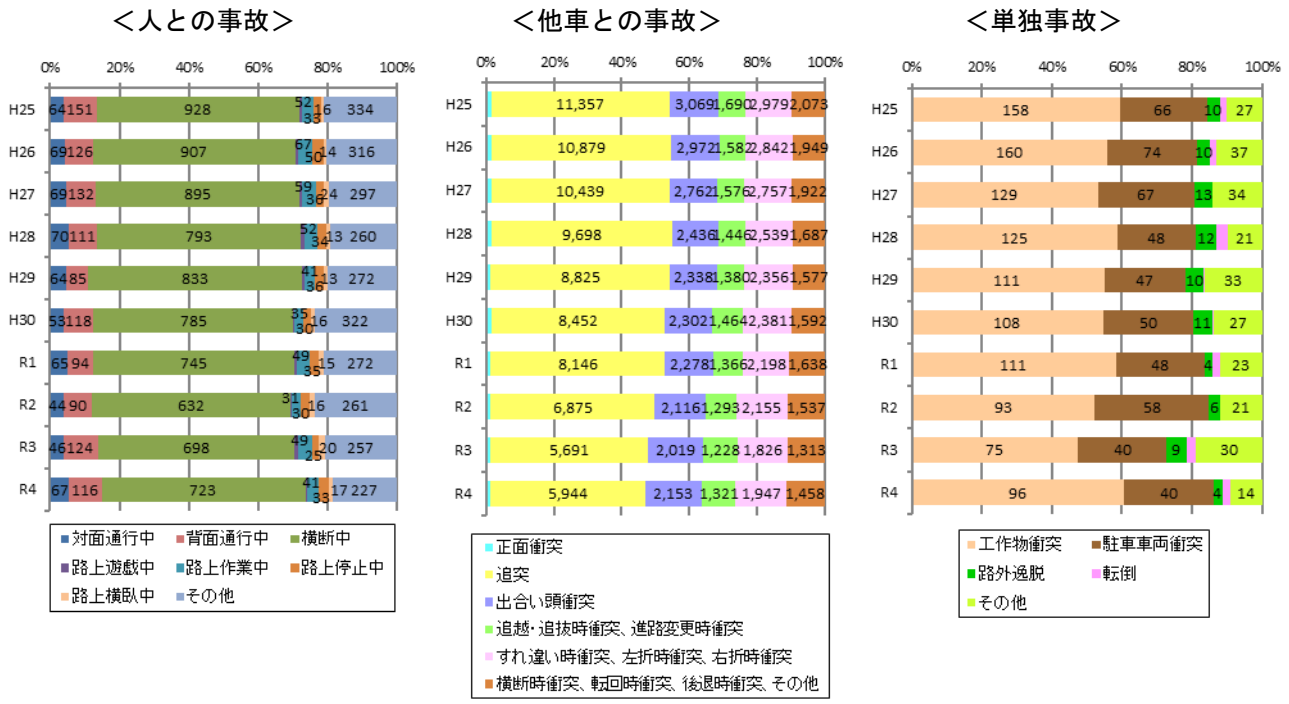
（５） トラックの事故類型別交通事故件数の推移

トラックの交通事故を事故の種類で類型化すると、他車との事故が最も多く12,993件となっており、約90%を占めている。また、そのうち約46%が追突事故となっている。

〔図 80〕 トラックの事故類型別交通事故件数の推移



〔図 81〕 トラックの事故類型別交通事故件数の内訳の推移

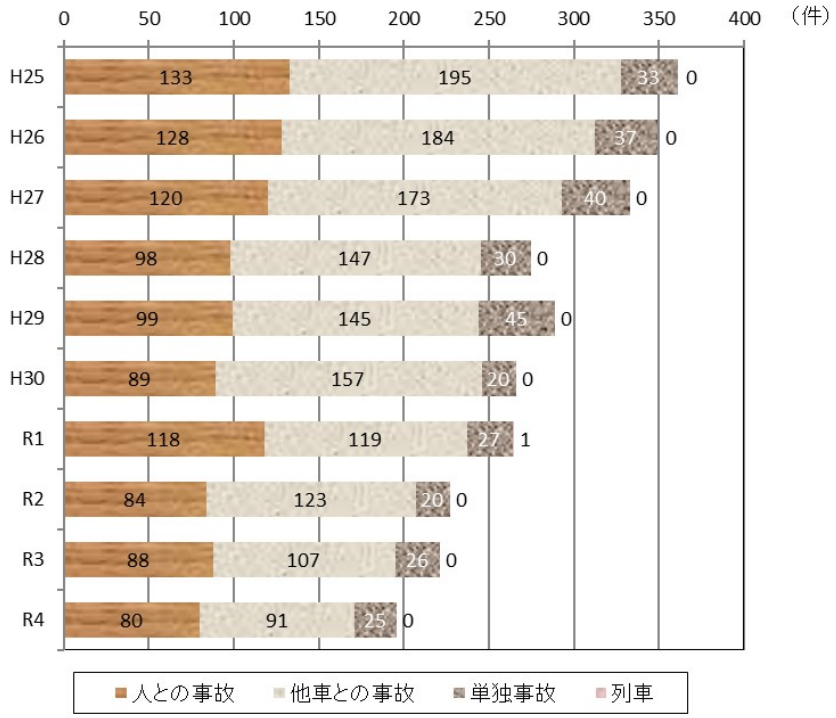


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（６） トラックの事故類型別交通死亡事故件数の推移

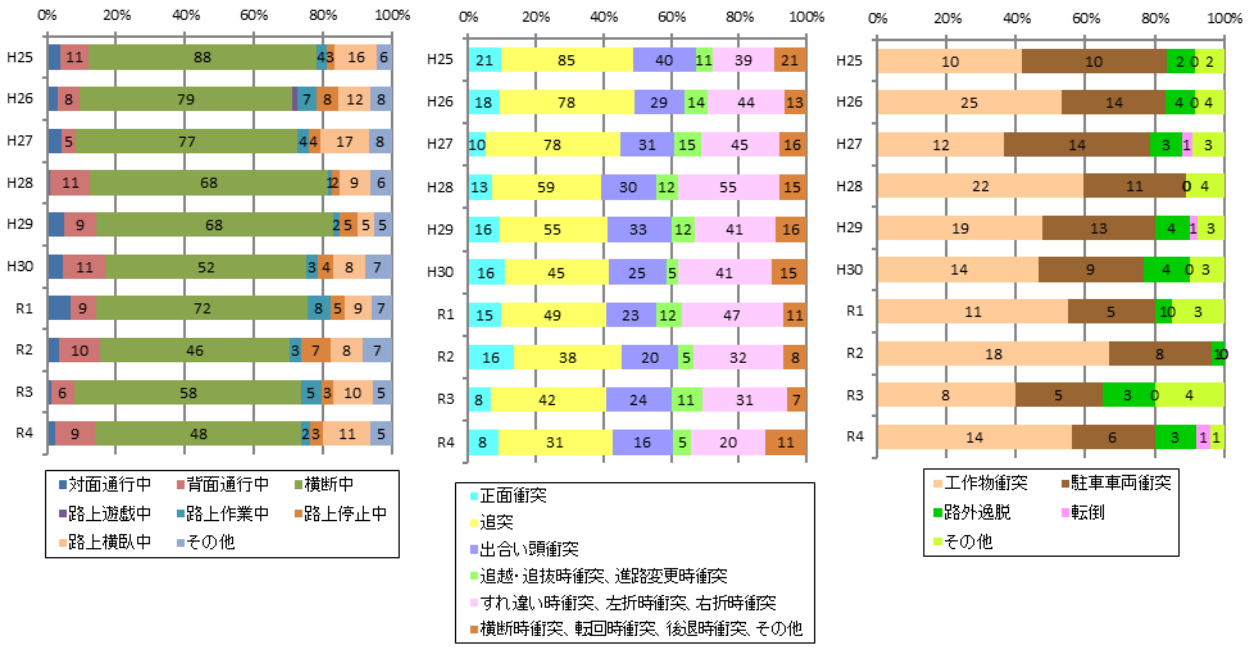
トラックの交通死亡事故を事故の種類で類型化すると、他車との事故が最も多く91件、人との事故が80件となっており、合計で約87%を占めている。また、トラックの交通死亡事故の中では横断中の人との事故が最も多く、48件（60.0%）となっている。

〔図 82〕　トラックの事故類型別交通死亡事故件数の推移



〔図 83〕　トラックの事故類型別交通死亡事故件数の内訳の推移

＜人との事故＞　＜他車との事故＞　＜単独事故＞

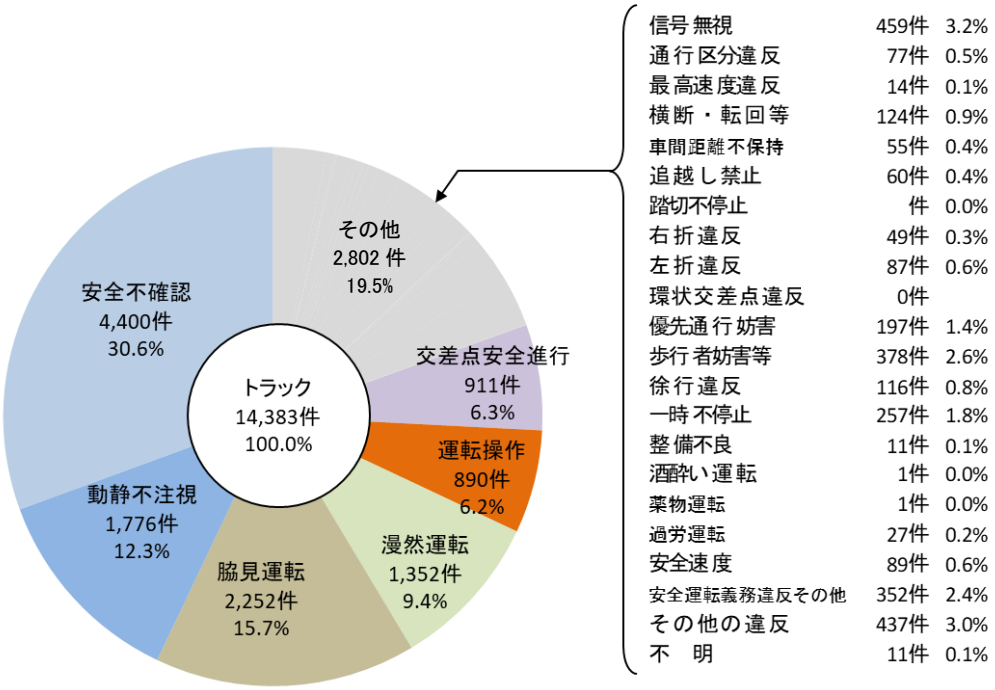


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（７） トラックの法令違反別の交通事故件数の割合

トラックでは、「安全不確認」4,400件（30.6%）、「脇見運転」2,252件（15.7%）、「動静不注視」1,776件（12.3%）といった法令違反の交通事故が多くなっており、合計で約60%となっている。

〔図 84〕　トラックの法令違反別の交通事故件数の割合（令和４年）

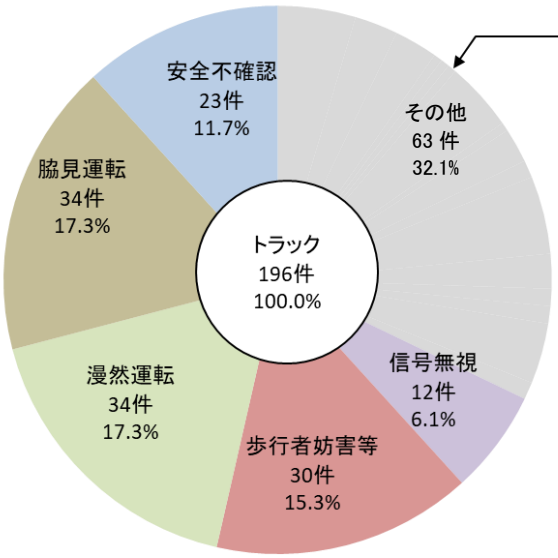


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（８） トラックの法令違反別の交通死亡事故件数の割合

トラックでは、「漫然運転」34件（17.3%）、「脇見運転」34件（17.3%）「歩行者妨害等」30件（15.3%）といった法令違反の交通事故が多くなっており、合計で約半数を占めている。

〔図 85〕　トラックの法令違反別の交通死亡事故件数の割合（令和４年）



交差点安全進行	9 件	4.6%
通行区分違反	5 件	2.6%
最高速度違反	5 件	2.6%
横断・転回等	1 件	0.5%
車間距離不保持	0 件	0.0%
追越し禁止	0 件	0.0%
踏切不停止	0 件	0.0%
右折違反	1 件	0.5%
左折違反	1 件	0.5%
環状交差点違反	0 件	0.0%
優先通行妨害	8 件	4.1%
徐行違反	1 件	0.5%
一時不停止	4 件	2.0%
整備不良	0 件	0.0%
酒酔い運転	0 件	0.0%
薬物運転	0 件	0.0%
過労運転	2 件	1.0%
運転操作	9 件	4.6%
動静不注視	4 件	2.0%
安全速度	2 件	1.0%
安全運転義務違反その他	2 件	1.0%
その他の違反	7 件	3.6%
不　明	2 件	1.0%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（９） トラックの事故類型別、衝突地点別交通事故件数

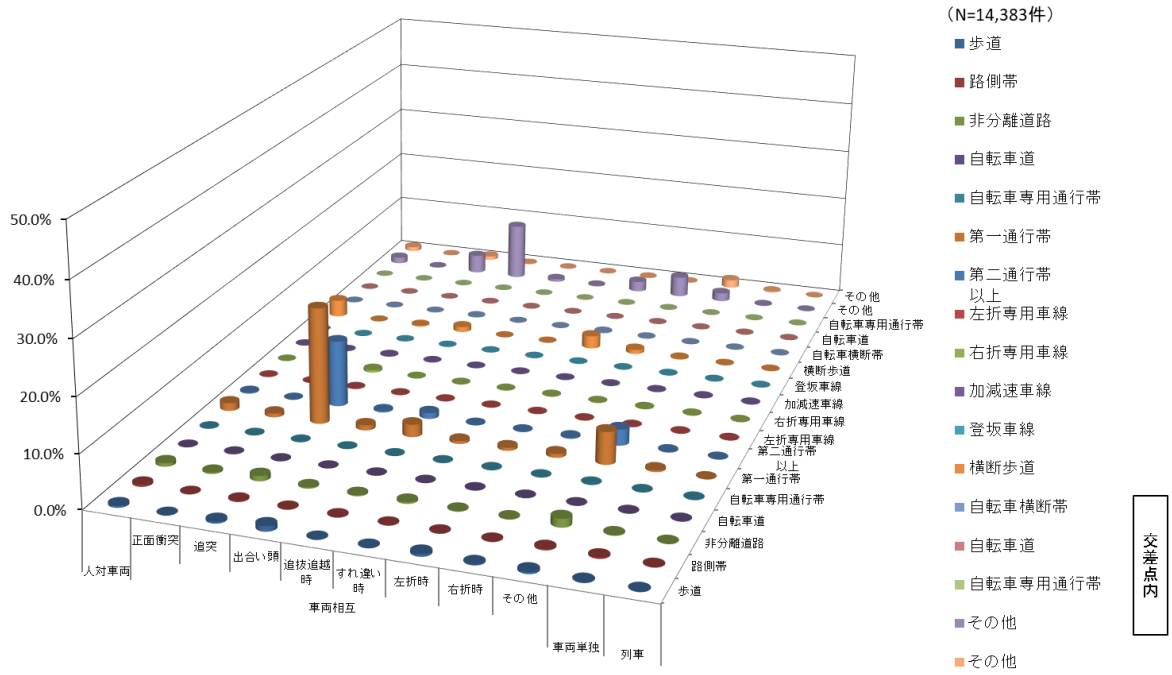
トラックの事故類型別、衝突地点別交通事故件数と構成比をそれぞれ表60と図86に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表61と図87に示す。交通事故件数については、第一通行帯での追突事故が最も多く3,156件（21.9%）、交通死亡事故件数については、交差点内（横断歩道）での人対車両事故が最も多く28件（14.3%）となっている。

〔表 60〕 トラックの事故類型別、衝突地点別交通事故件数（件）（令和４年）

			人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
				正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）		歩道	52	1	48	139	1	4	66	17	49	8	0	385
		路側帯	53	0	24	10	13	4	5	4	28	24	0	165
		非分離道路	97	33	138	33	24	45	12	12	224	13	0	631
		自転車道	1	0	3	0	2	0	0	0	1	0	0	7
		自転車専用通行帯	0	0	1	0	0	0	4	2	4	0	0	11
		第一通行帯	214	104	3,156	136	340	77	82	105	879	51	0	5,144
		第二通行帯以上	28	3	1,804	35	161	10	8	27	439	15	0	2,530
		左折専用車線	0	0	7	1	1	1	0	0	0	0	0	10
		右折専用車線	1	0	68	2	1	2	2	1	6	1	0	84
		加減速車線	0	0	15	1	2	0	0	1	5	3	0	27
		登坂車線	1	0	5	0	1	0	0	0	2	0	0	9
	交差点内	横断歩道	478	2	31	148	3	2	358	121	21	0	0	1,164
		自転車横断帯	2	0	0	19	0	0	21	9	1	0	0	52
		自転車道	0	0	0	2	0	0	1	3	2	0	0	8
		自転車専用通行帯	0	0	1	3	0	0	5	3	1	0	0	13
		その他	181	16	529	1,606	79	21	294	579	241	17	0	3,563
その他			124	11	114	18	14	9	16	14	234	26	0	580
合計			1,232	170	5,944	2,153	642	175	874	898	2,137	158	0	14,383

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 86〕 トラックの事故類型別、衝突地点別交通事故件数の構成比（%）（令和４年）



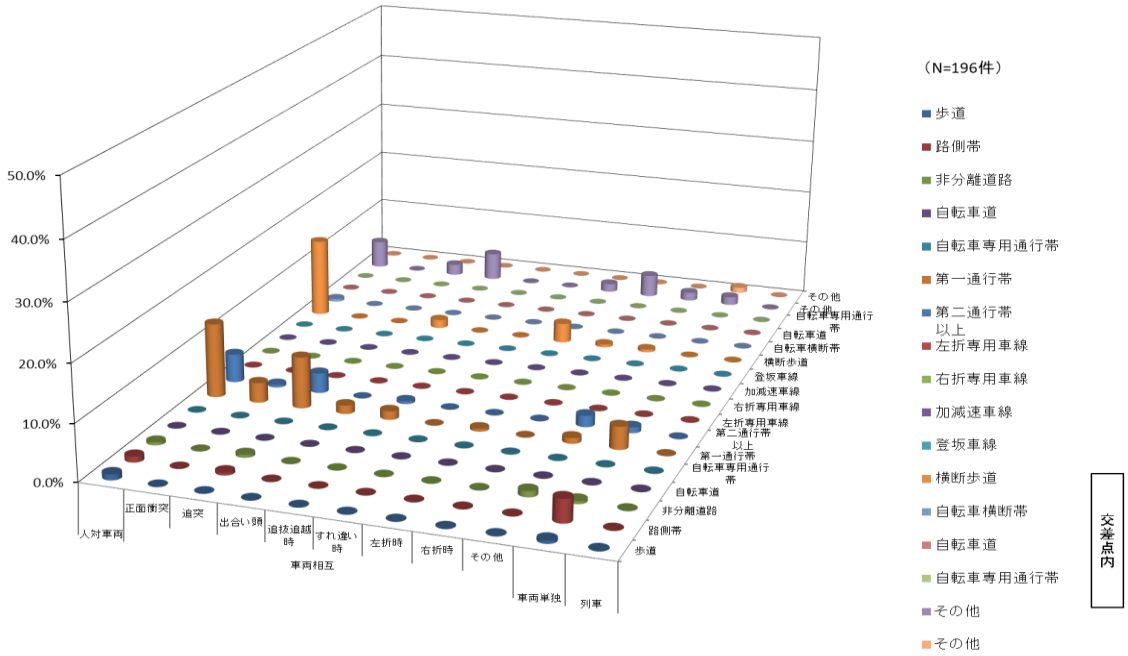
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 61〕　トラックの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

			人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
				正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）		歩道	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
		路側帯	2	0	1	0	0	0	0	0	0	8	0	11
		非分離道路	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	5
		自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第一通行帯	26	7	18	3	3	0	1	0	2	8	0	68
		第二通行帯以上	10	1	7	0	1	0	0	0	4	2	0	25
		左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内	横断歩道	28	0	0	3	0	0	7	1	1	0	0	40
		自転車横断帯	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	10	0	4	10	0	0	3	8	3	3	0	41
その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合計			80	8	31	16	4	0	11	9	12	25	0	196

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 87〕 トラックの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数の構成比（%）（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(10)　トラックの事故類型別、行動類型別交通事故件数

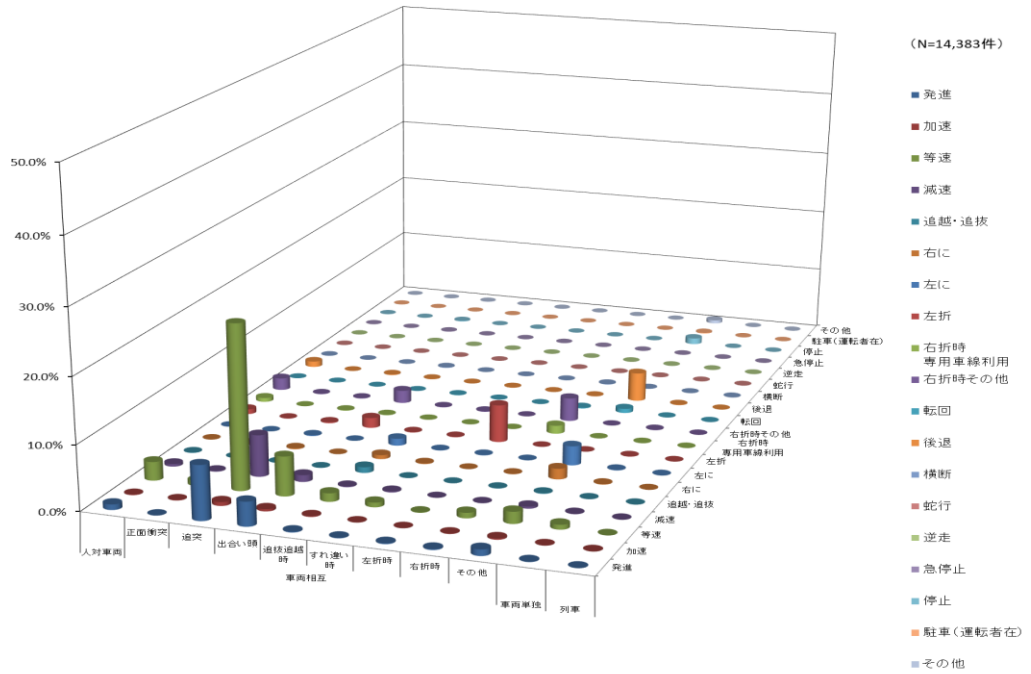
トラックの事故類型別、行動類型別交通事故件数と構成比をそれぞれ表62と図88に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表63と図89に示す。交通事故件数は、等速直進時の追突事故が最も多く3,616件（25.1%）、交通死亡事故件数は、等速直進時の人対車両事故が最も多く51件（26.0%）となっている。

〔表 62〕　トラックの事故類型別、行動類型別交通事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
発進		121	1	1,202	538	18	9	17	20	138	7	0	2,071
直進	加速	11	9	85	49	16	2	0	5	26	1	0	204
	等速	414	105	3,616	874	187	103	8	120	263	106	0	5,796
	減速	58	14	923	151	17	20	0	4	46	6	0	1,239
追越・追抜		8	3	3	2	128	1	0	5	11	1	0	162
進路変更	右に	2	20	20	0	89	13	0	5	237	9	0	395
	左に	4	0	16	0	157	5	6	1	429	6	0	624
左折		109	4	22	228	8	7	839	0	0	4	0	1,221
右折時	専用車線利用	90	1	9	7	2	1	0	183	0	2	0	295
	その他	274	8	9	287	8	10	0	526	0	6	0	1,128
転回		3	0	1	1	5	1	0	16	96	0	0	123
後退		130	1	13	5	1	3	1	4	649	7	0	814
横断		3	0	0	11	0	0	3	9	4	0	0	30
蛇行		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
急停止		0	0	5	0	0	0	0	0	2	0	0	7
停止		3	1	15	0	2	0	0	0	141	0	0	162
駐車（運転者在）		1	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	19
その他		0	2	5	0	4	0	0	0	76	1	0	88
合計		1,232	170	5,944	2,153	642	175	874	898	2,137	158	0	14,383

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 88〕　トラックの事故類型別、行動類型別交通事故件数の構成比（%）（令和４年）



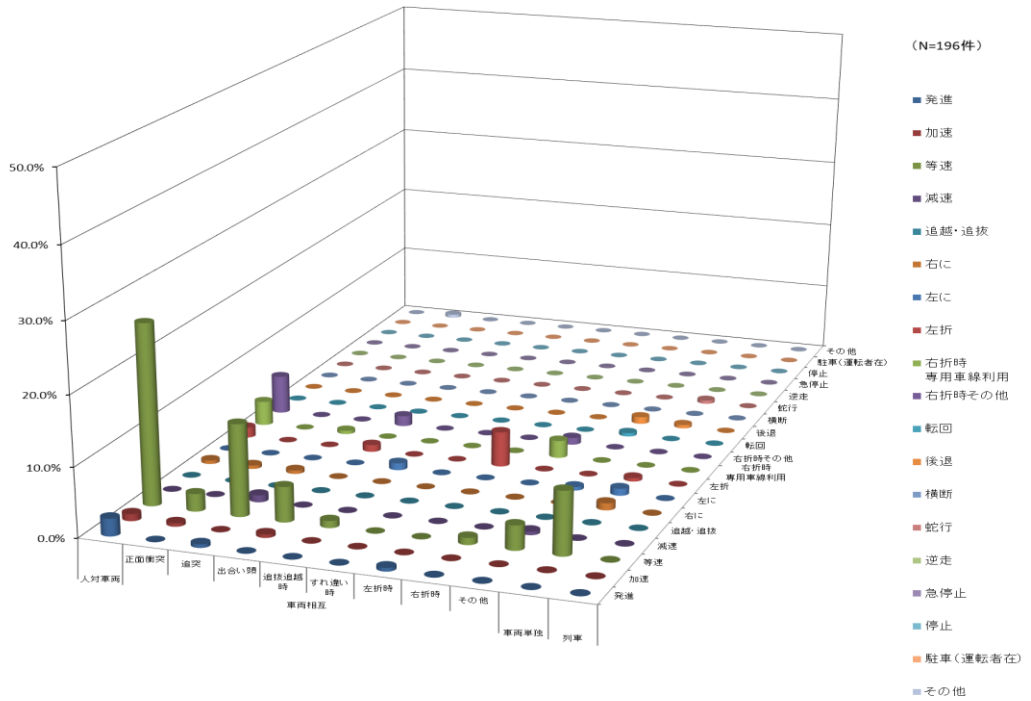
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 63〕　トラックの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出合い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
発進		5	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	7
直進	加速	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	等速	51	5	26	10	2	0	0	2	7	18	0	121
	減速	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
追越・追抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	5
	左に	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2	0	5
左折		3	0	0	2	0	0	10	0	0	1	0	16
右折時	専用車線利用	7	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	13
	その他	11	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	16
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車（運転者在）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計		80	8	31	16	4	0	11	9	12	25	0	196

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 89〕 トラックの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数の構成比（%）（令和４年）

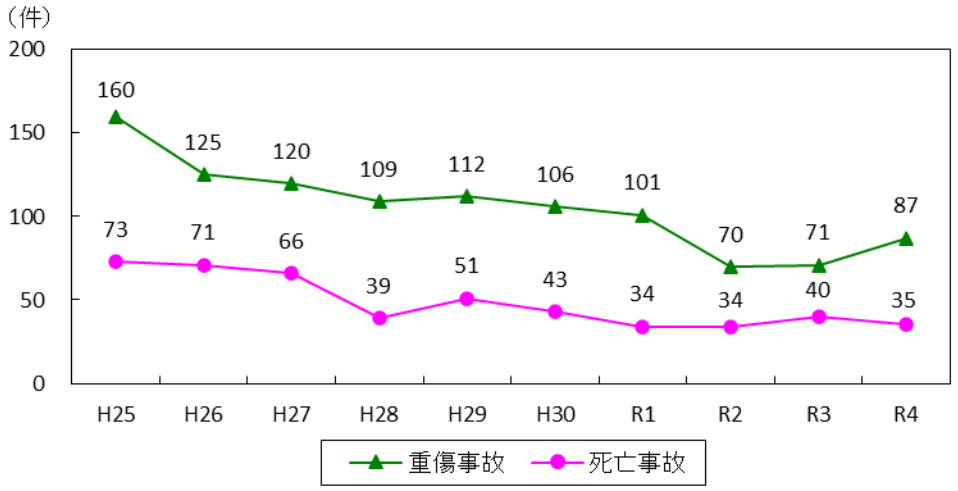


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(11)　トラックの高速道路における交通事故のうち死亡・重傷事故の件数の推移

トラックの高速道路における令和４年の交通死亡事故は35件で前年より５件減少し、重傷事故は87件で前年より16件増加した。

〔図 90〕トラックの高速道路における交通事故のうち死亡・重傷事故の件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(12)　トラックの追突事故件数、追突死亡事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布

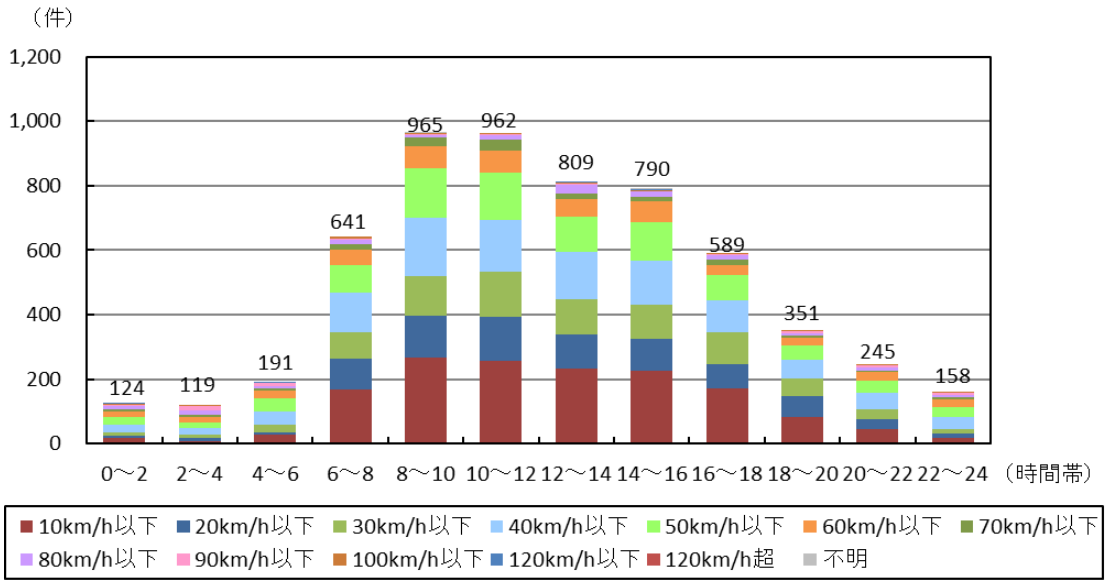
時間帯別危険認知速度別追突事故件数をみると、時間帯は８時～９時台が最も多く965件（16.2%）、次いで10時～11時台が962件(16.2%)、速度は10km/h以下が最も多く1,518件（25.5%）、次いで30km/h～40km/h以下が1,081件（18.2%）となっている。追突死亡事故件数は、時間帯は０時～５時台と12時～13時台、18時～19時台が最も多くそれぞれ４件（12.9%）、速度は70km/h～80km/h以下と80km/h～90km/h以下が最も多く７件（22.6%）となっており、追突死亡事故における危険認知速度が高めとなっている。

〔表 64〕　トラックの追突事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（件）（令和４年）

危険認知速度	時間帯												合計
	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
10km/h以下	16	8	28	168	267	258	231	225	170	83	46	18	1,518
20km/h以下	8	8	8	95	131	135	107	99	78	66	29	14	778
30km/h以下	11	12	22	84	120	140	109	106	96	52	33	13	798
40km/h以下	24	19	43	120	184	160	146	137	102	59	51	36	1,081
50km/h以下	23	20	39	86	153	149	110	120	76	45	36	33	890
60km/h以下	18	16	26	50	68	68	57	63	33	22	26	22	469
70km/h以下	6	5	5	14	26	32	14	16	14	8	5	9	154
80km/h以下	11	16	8	14	9	14	28	15	14	7	10	7	153
90km/h以下	4	12	8	6	3	5	4	3	5	8	8	4	70
100km/h以下	2	3	3	4	2	1	2	3	1	1	1	2	25
120km/h以下	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	4
合計	124	119	191	641	965	962	809	790	589	351	245	158	5,944

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 91〕　トラックの追突事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（令和４年）



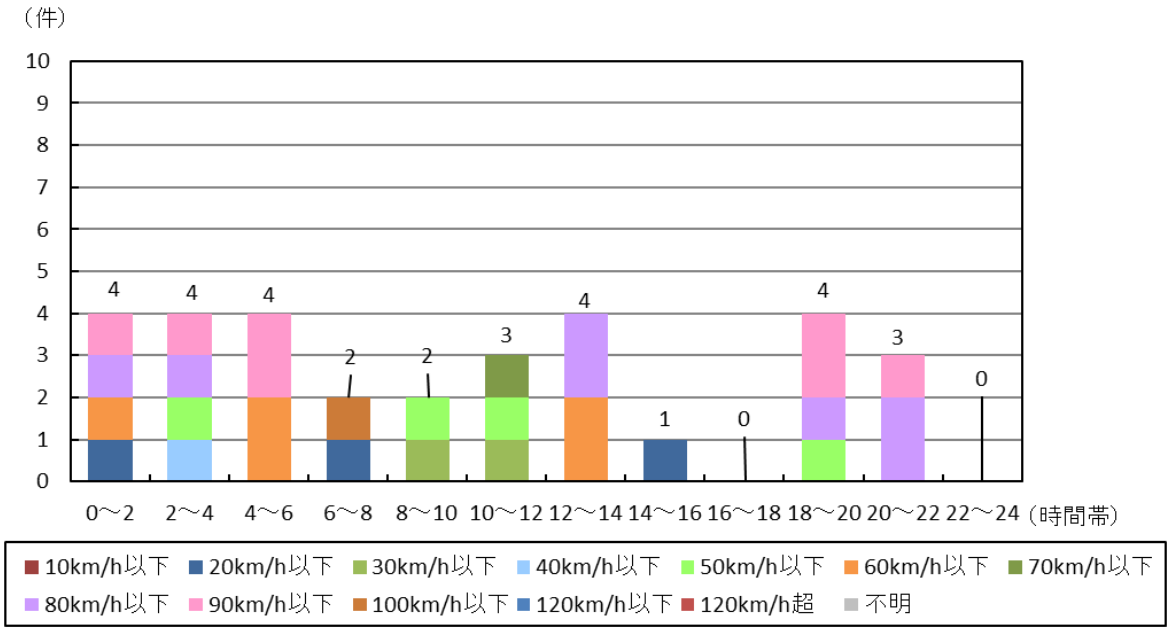
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 65〕　トラックの追突死亡事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（件）（令和４年）

	時間帯												合計
	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
10km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20km/h以下	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
30km/h以下	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
40km/h以下	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50km/h以下	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	4
60km/h以下	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5
70km/h以下	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
80km/h以下	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	7
90km/h以下	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	7
100km/h以下	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	4	4	2	2	3	4	1	0	4	3	0	31

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

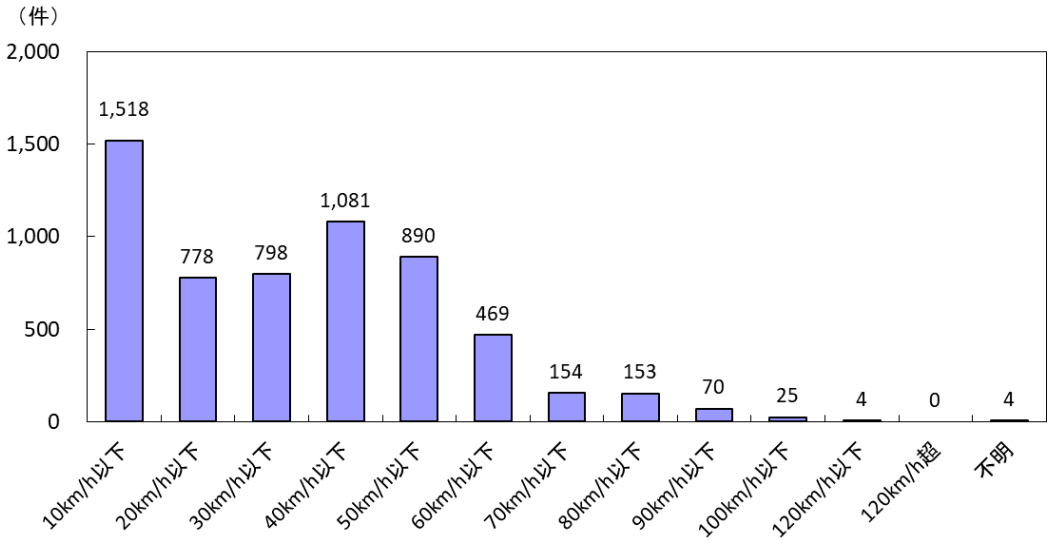
〔図 92〕　トラックの追突死亡事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

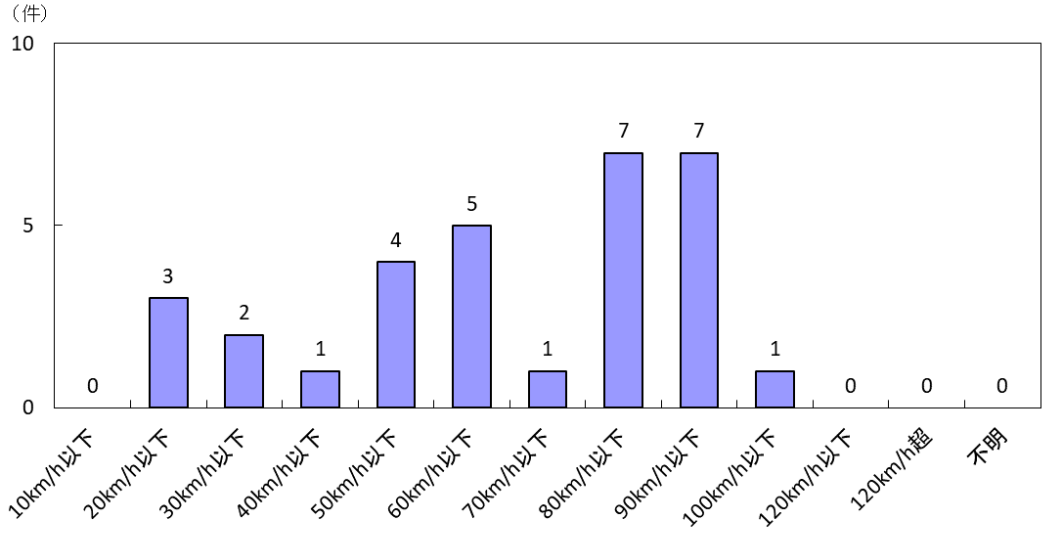
トラックの追突事故において、追突死亡事故は追突事故全体に比べて危険認知速度の分布が高速側に分布している。

〔図 93〕　トラックの危険認知速度別の追突事故件数（令和４年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 94〕　トラックの危険認知速度別の追突死亡事故件数（令和４年）



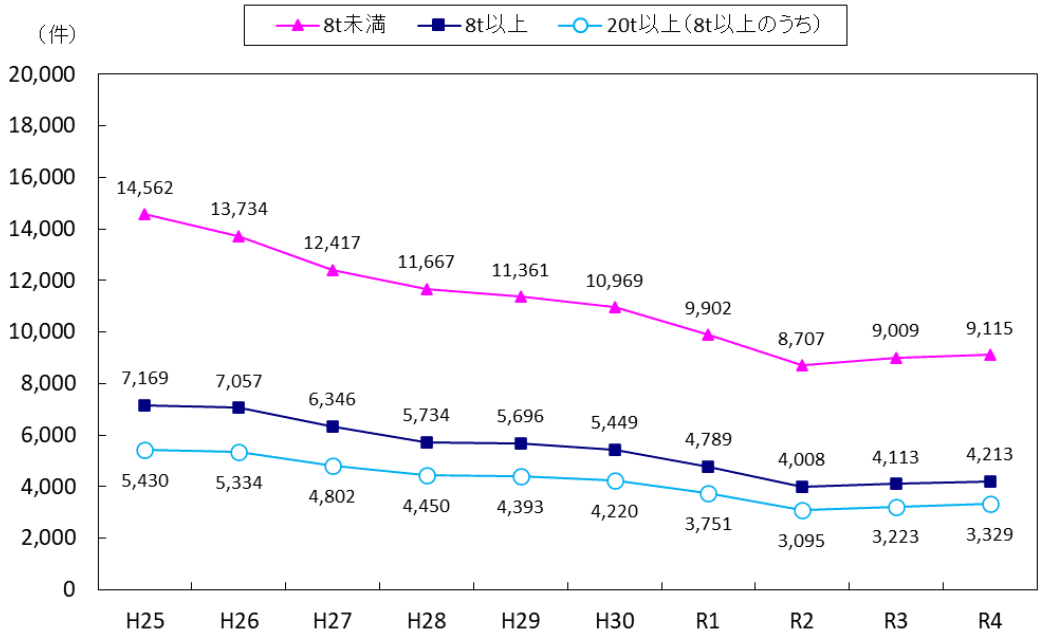
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(13) トラックの車両総重量別の交通事故件数の推移

① 交通事故件数

トラックの交通事故件数の推移を車両総重量別にみると、８トン未満、８トン以上ともに減少傾向となっているが、令和４年は前年と比べてともに増加した。

〔図 95〕　トラックの車両総重量別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 66〕　車両総重量別交通事故件数の推移（件）

区分 / 年	交通事故件数			
	8t未満	8t以上	うち20t以上	合計
H25	14,562	7,169	5,430	21,731
H26	13,734	7,057	5,334	20,791
H27	12,417	6,346	4,802	18,763
H28	11,667	5,734	4,450	17,401
H29	11,361	5,696	4,393	17,057
H30	10,969	5,449	4,220	16,418
R1	9,902	4,789	3,751	14,691
R2	8,707	4,008	3,095	12,715
R3	9,009	4,113	3,223	13,122
R4	9,115	4,213	3,329	13,328

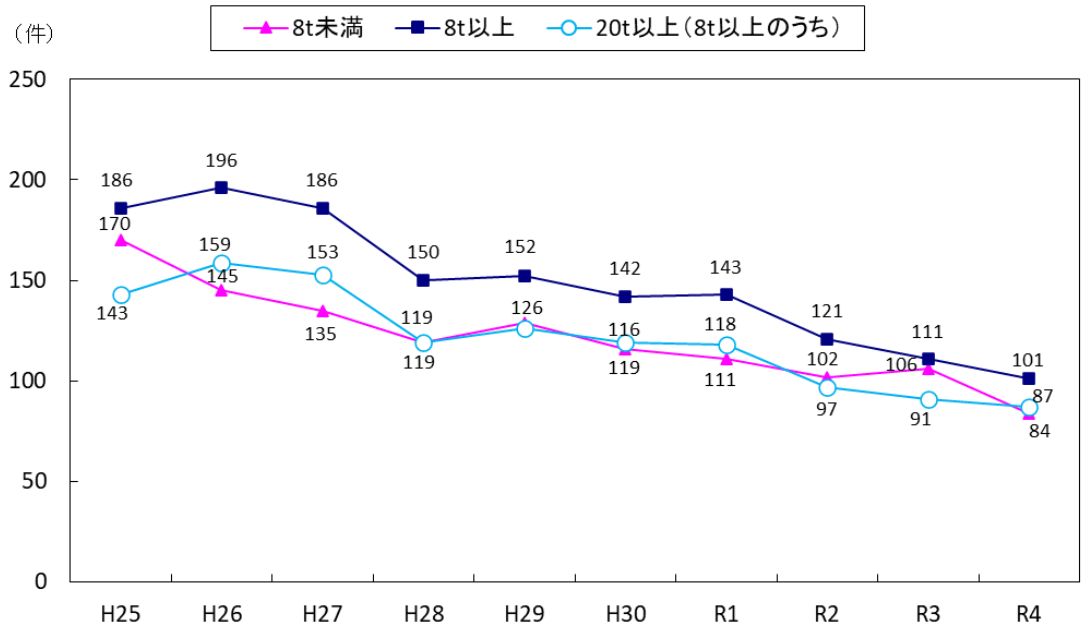
※合計は車両総重量不明を除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

② 死亡事故件数

トラックの交通死亡事故件数の推移を車両総重量別にみると、令和４年は前年に比べ８トン未満、８トン以上ともに減少した。

〔図 96〕　トラックの車両総重量別交通死亡事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 67〕　車両総重量別交通死亡事故件数の推移（件）

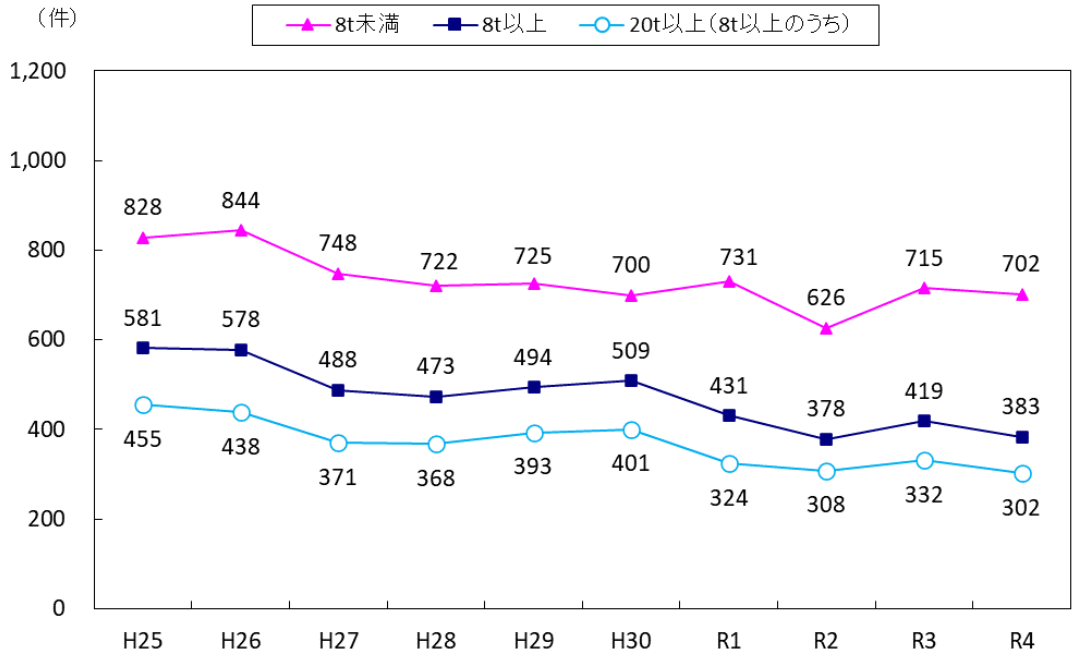
区分 / 年	交通死亡事故件数			
	8t未満	8t以上	うち20t以上	合計
H25	170	186	143	356
H26	145	196	159	341
H27	135	186	153	321
H28	119	150	119	269
H29	129	152	126	281
H30	116	142	119	258
R1	111	143	118	254
R2	102	121	97	223
R3	106	111	91	217
R4	84	101	87	185

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

③ 重傷事故件数

トラックの重傷事故件数の推移を車両総重量別にみると、８トン未満が多くなっている。令和４年は前年に比べ８トン未満、８トン以上、ともに減少した。

〔図 97〕　トラックの車両総重量別重傷事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 68〕　車両総重量別重傷事故件数の推移（件）

区分 / 年	重傷事故件数			
	8t未満	8t以上	うち20t以上	合計
H25	828	581	455	1,409
H26	844	578	438	1,422
H27	748	488	371	1,236
H28	722	473	368	1,195
H29	725	494	393	1,219
H30	700	509	401	1,209
R1	731	431	324	1,162
R2	626	378	308	1,004
R3	715	419	332	1,134
R4	702	383	302	1,085

※合計は車両総重量不明を除く

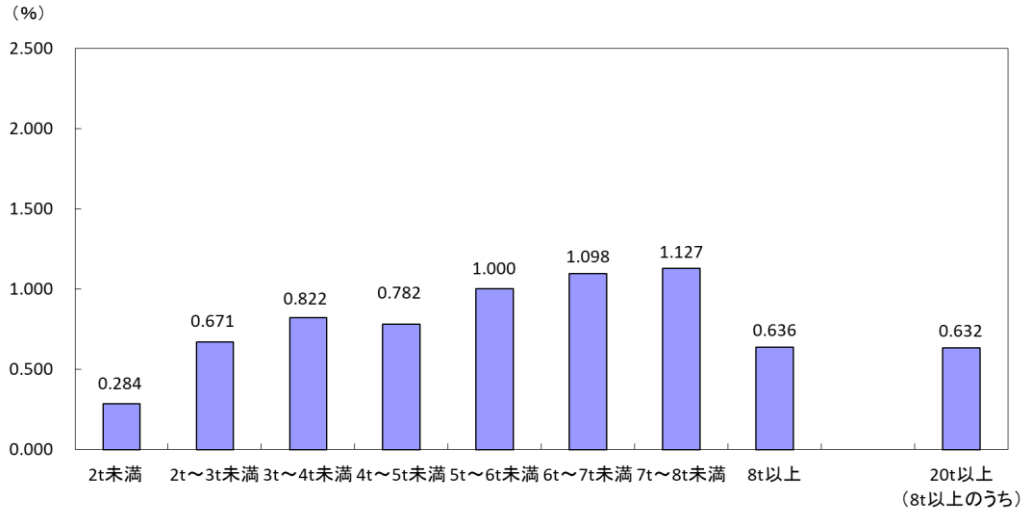
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(14) トラックの車両総重量別車両数あたりの交通事故発生率

① 交通事故発生率

トラックの車両総重量別車両数あたりの交通事故発生率は、７トン～８トン未満が最も高い。

〔図 98〕　トラックの車両総重量別車両数あたり交通事故発生率（令和４年）



※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

〔表 69〕　トラックの車両総重量別車両数あたり交通事故件数、車両数、発生率（令和４年）

	事故件数（件）	車両数（事業用）（両）	発生率
2t未満	26	9,142	0.284%
2t～3t未満	79	11,773	0.671%
3t～4t未満	318	38,687	0.822%
4t～5t未満	815	104,195	0.782%
5t～6t未満	648	64,780	1.000%
6t～7t未満	518	47,181	1.098%
7t～8t未満	2,655	235,643	1.127%
8t以上	4,213	661,998	0.636%
うち20t以上	3,329	527,033	0.632%

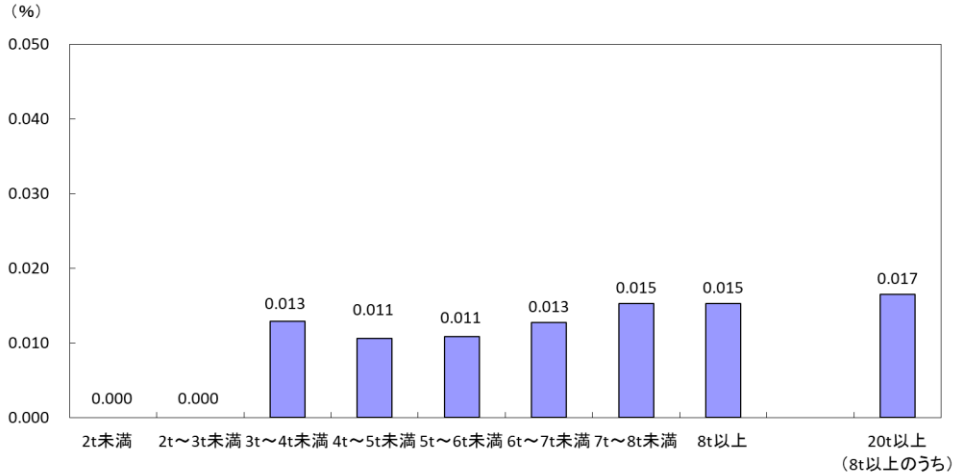
※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

② 死亡事故発生率

トラックの車両総重量別車両数あたりの交通死亡事故発生率は、２０トン以上が最も高い。

〔図 99〕　トラックの車両総重量別車両数あたり死亡事故発生率（令和４年）



※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

〔表 70〕トラックの車両総重量別車両数あたり死亡事故件数、車両数、発生率（令和４年）

	死亡事故件数	車両数（事業用）（両）	発生率
2t未満	0	9,142	0.000%
2t～3t未満	0	11,773	0.000%
3t～4t未満	5	38,687	0.013%
4t～5t未満	11	104,195	0.011%
5t～6t未満	7	64,780	0.011%
6t～7t未満	6	47,181	0.013%
7t～8t未満	36	235,643	0.015%
8t以上	101	661,998	0.015%
うち20t以上	87	527,033	0.017%

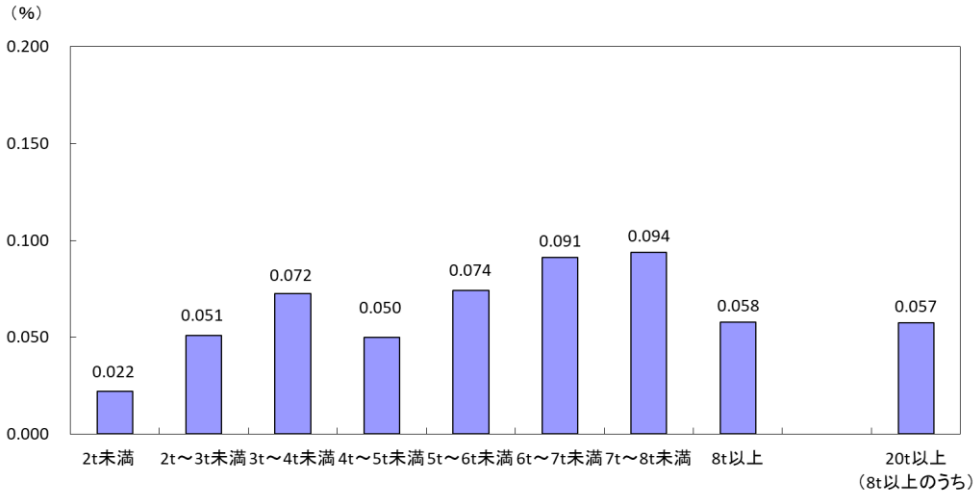
※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

③ 重傷事故発生率

トラックの車両総重量別車両数あたりの重傷事故発生率は、７トン～８トン未満が最も高い。

〔図 100〕　トラックの車両総重量別車両数あたり重傷事故発生率（令和４年）



※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

〔表 71〕 トラックの車両総重量別車両数あたり重傷事故件数、車両数、発生率（令和４年）

	重傷事故件数	車両数（事業用）（両）	発生率
2t未満	2	9,142	0.022%
2t～3t未満	6	11,773	0.051%
3t～4t未満	28	38,687	0.072%
4t～5t未満	52	104,195	0.050%
5t～6t未満	48	64,780	0.074%
6t～7t未満	43	47,181	0.091%
7t～8t未満	221	235,643	0.094%
8t以上	383	661,998	0.058%
うち20t以上	302	527,033	0.057%

※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

５．まとめ

令和４年中に全国で発生した事業用自動車の交通事故件数は 23,259 件で、そのうち交通死亡事故件数は 222 件、死者数は 228 人であり、前年と比べて交通事故件数は増加し、交通死亡事故件数は減少している。

なお、令和４年及び令和５年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響に留意する必要がある。

各業態における特徴は以下のとおり。

○乗合バス

乗合バスの交通事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は 803 件と、前年と比べて 23 件増加している。

・「他車との事故」や「単独事故」が多く、合計で 665 件と約 83%を占めている。また、「単独事故」のうち約 78%が「車内事故」である。

・乗合バスの交通事故の中で最も多い「車内事故」246 件のうち、102 件が「発進時」、66 件が「直進（加速、等速、減速）時」、59 件が「急停止時」に発生している。また、「車内事故」による負傷者は 270 人おり、半数（135 人）を高齢者（65 歳以上）が占めている。なお、男性に比べて女性の負傷者数は 4.1 倍となっている（男性 53 人、女性 217 人）。

また、乗合バスの交通死亡事故件数は、令和４年は２件と、前年と比べて６件減少している。内訳は、「人との事故」が１件、「単独事故」が１件である。

○貸切バス

貸切バスの交通事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は 118 件と、前年と比べて 26 件増加した。

・「他車との事故」が多く、103 件と約 87%を占めている。このうち、約 37%が「追突事故」である。

・貸切バスの交通事故の中で最も多い「追突事故」38 件のうち、「第一通行帯」での発生が 16 件、「第二通行帯以上」での発生が９件となっている。

また、貸切バスの交通死亡事故は、令和３年は１件であったが、令和４年は２件で、「出会い頭事故」と「車両単独事故」となっている。

○タクシー

タクシーの交通事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は 7,948 件と、前年と比べて 827 件増加した。

・「他車との事故」が多く、5,882 件と約 74%となっている。このうち、約 26%が「出合い頭衝

突事故」である。

・タクシーの交通事故の中で最も多い「出合い頭衝突事故」1,527 件のうち、「交差点内」での発生が 1,356 件となっている。

・なお、タクシーの交通事故のうち、5,896 件（74.2%）が空車時に発生している。

また、タクシーの交通死亡事故件数は近年横ばいで推移していたが、令和４年に増加に転じ、令和４年は 22 件と、前年と比べて 11 件増加している。

・「人との事故」が 14 件、「他車との事故」が５件となっている。また、「路上横臥中」での発生が８件となっている。

〇トラック

トラックの交通事故は令和３年に増加に転じ、令和４年は 14,383 件と、前年と比べて約３％増加している。

・「他車との事故」が多く、12,993 件と約 90%を占めている。このうち、約 46%が「追突事故」である。

・トラックの交通事故の中で最も多い「追突事故」を発生時間帯で分類すると、６時～17 時台が 4,756 件と約 80%を占めており、このうち８時～９時台が 965 件と最多になっている。また、危険認知速度で分類すると、10km/h 以下の低速が 1,518 件と約 26%を、30km/h～40km/h 以下の中速が 1,081 件と約 18%を占めている。発生地点で分類すると、「第一通行帯」での発生が 3,156 件と約 53%を占めている。

また、トラックの交通死亡事故は近年減少傾向となっており、令和４年は 196 件と、前年と比べて 25 件減少した。

・「人との事故」や「他車との事故」が多く、合計で 171 件と約 87%を占めている。

・「他車との事故」のうち、「追突」が 31 件、「すれ違い時衝突、左折時衝突、右折時衝突」が 20 件、「出合い頭衝突」が 16 件、となっている。

・「人との事故」を発生地点で分類すると、「交差点内」での発生が 39 件、「第一通行帯」での発生が 26 件となっている。

また、飲酒運転による事業用自動車の交通事故は、平成 25 年から横ばい傾向となっており、令和４年は 37 件と、前年と比べて２件増加した。なお、令和４年はトラックが 34 件、タクシーが３件であり、バスは０件となっている。